

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2024年 9月 4日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	スタディーサポート α タイプ、 β タイプ、 θ タイプ					
③主な対象者	主に、四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○			○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	【目的】 大学進学に向けた、国語・数学・英語の基礎学力の定着度と学習力（学習習慣・学習方略等）について把握することで学校の指導改善、生徒の学習改善・基礎学力の定着・向上に役立てていただくことを目的とする。 【概要】 ・生徒個人向けに、基礎学力の到達状況とその状況に基づいた個別の学習課題を結果として提供するとともに、課題克服に向けた教材や学習アドバイスを提供することで、受検結果を次の学習改善につなげます。学校へは学年集団の特性がわかる概況データ及びクラス担任・教科担任先生用に学習状況を踏まえた情報を提供することで、指導改善や生徒への声かけの材料として活用いただけます。 ・難易度は3タイプあり、3学年5回（1・2年は2回、3年は1回）の各回で履修進度に応じた出題範囲を設定しています。 ・各教科「マーク解答式」問題と「記述式」問題に分かれており、主に、「マーク式」問題では基礎学力の「知識・技能」を、「記述式」問題では「思考力・判断力・表現力」を測定します。					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	【特長】 ・事前にドリル問題と目標設定ワーク付き冊子を提供します。この冊子には、診断結果を見て取り組める事後ワークシートやアドバイスもついており、生徒個々人が振り返りを行うことで次の学習改善を促します。学力診断については、その結果に応じた復習問題を生徒個別に結果データとあわせて提供し、自身の改善点を自覚し復習に取り組むしくみとなっています。また、問題演習だけでなく学習の仕方や工夫にも具体的なアドバイスを提供します。 ・出題内容は実施時期に合わせた進度対応となっており、各回で異なります。問題難易は3タイプ（難度順にβ、α、θ）を用意しており、「マーク式」問題においては、β・α タイプは過年度比較用の同一問題（毎年同じ問題）、又は新作問題の選択が可能です。θ タイプは、前年度同一問題のみとなっています。 【活用例】 1年4月入学直後に実施し、入学段階での「基礎学力」と「学習力」の初期把握を行い、その結果を学年の指導計画に反映します。また、個人結果をもとにしたクラス担任先生の個別面談により生徒一人ひとりの状況把握ができます。1年9月に第2回を受けることで、4月からの学力の推移と学習力の変容を把握し、4月からの指導成果を検証することで、学年後半の指導改善につなげます。					
⑧実施期間、年間実施回数	実施期間：第1回（3月～ 5月末）：1年・2年・3年 第2回（8月～10月末）：1年・2年 計5回 お申込み時期：2月～（実施日の15日前まで）					
⑨実施方式（CBT/PBT）	PBT					
⑩試験時間（分）	国語	数学	英語			
	①「マーク式」問題：40分、50分、60分、70分、80分の設定あり。学年回及び、現／現古／現古漢と難易度タイプで異なります。 ②「記述式」問題：20分	①「マーク式」問題：50分、60分、80分、100分、120分の設定あり。学年回及び難易度タイプで異なります。 ②「記述式」問題：15分	①「マーク式」問題：50分、70分、80分、90分、100分（リーディング・リスニング）の設定あり。学年回及び難易度タイプで異なります。 ②「記述式」問題：15分（ライティング） ③学校採点のスピーキング問題：5分			
⑪受検料	3,300円（1回分） ※消費税等込					
⑫標準返却期間	1回め：「マーク式」結果＝答案到着後約1週間～10日間で返却（紙） 2回め：「記述式」結果＝答案到着後約3～4週間で返却（データ）					
⑬URL（事業者のHPにおける測定ツール紹介）	https://bhso.benesse.ne.jp/					

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生

※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプを用意しています。

学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

語彙や情報の扱い方、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論する等思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度: 「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均45～55%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2)構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%（一部短答式を含む）程度

②出題範囲

※設問数割合（「マーク式」問題には配点なし）

学年	回	義務教育範囲	必修履修科目範囲 (現代の国語、言語文化)	選択科目範囲（論理 国語、文学国語、 古典探究）	備考
高 1	1 回	100%	0%	0%	
	2 回	0%	100%	0%	
高 2	1 回	0%	100%	0%	
	2 回	0%	60%	40%	
高 3	1 回	0%	60%	40%	

※学校の指導状況に応じて、古文・漢文の受検をせずに、現代文のみの受検も可能です。

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、学習動画を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約 28 万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、「マーク式」問題においては、新作問題と同一問題（毎年同じ問題）の 2 種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

学校を通じた受検者個人への結果提供：早期結果提供を重視し、「1 回め」と「2 回め」に時期を分けて結果提供しています。

「1 回め」「マーク式」問題及びアンケート結果について紙媒体にて提供。

※答案到着後約 1 週間～10 日間で返却。

※詳細は帳票見本「個人診断レポート」（資料 3）参照。

「2 回め」記述式問題の結果を 1 回めの結果に加えて、データで提供。

※答案到着後約 3～4 週間で返却。

※イメージは帳票見本「個人診断レポート」（資料 5）参照。

「1 回め」の結果提供内容：基礎学力と学習状況に関する診断結果と、その結果に基づいた事後学習・学習改善につながるアドバイス・ドリル等の提供

<個人診断レポート>

- ・各教科の学力診断結果（正答率、校内順位、「学習到達ゾーン（以下 GTZ ※1）」、成績推移等）の提供と、課題項目及び対策ドリルの案内：診断結果とその結果に応じた事後学習教材の提供による学習改善の仕組み
- ・各教科の学習状況に関するアンケート結果と、課題項目及びアドバイス：学習行動の改善・学習意欲向上の仕組み

- ・学力・学習状況の診断結果についての過去からの推移：振り返りによる学習行動の改善の仕組み
※1：GTZ・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

「2回め」の結果提供内容：1回めの結果に「思考力・判断力・表現力」観点等を追加提供
※電子データによる返却（専用無料 Web サイト経由）。

＜個人診断レポート＞

- 1回めの提供内容に加えて、「記述式（思考力・判断力・表現力）」問題に関する各教科の得点率、レベル等の提示による生徒の資質・能力の診断結果の提示
- ・「記述式（思考力・判断力・表現力）」問題に関する各教科の全体得点率・レベル定義（段階別評価）
- ・段階別評価のレベル定義表（各レベルがどういった事ができる力かを示す）
- ・各教科の項目毎の詳細結果 ※英語に関しては技能別の結果
- ・生徒の実答案の返却

(2) 学校等への結果提供内容・方法：

早期結果提供を重視し、「1回め」と「2回め」に時期を分けて結果提供しています。

「1回め」マーク式問題及びアンケート結果について紙媒体にて提供。

※詳細は帳票見本「学年診断レポート」等（資料1・2）参照。

「2回め」記述式問題の結果を1回めの結果に加えてデータで提供。

※イメージは帳票見本「学年診断レポート」（資料4）参照。

「1回め」の結果提供内容：基礎学力と学習習慣に関する診断結果と、その結果に基づいた指導改善につながる資料の提供

学年・進路・教科担当先生への提供

紙媒体（冊子）・電子データ（専用無料 Web サイト経由）による返却

＜学年診断レポート＞学年全体の結果（教科及び学習習慣）と指導成果・課題がわかる資料等

- ・学年全体の教科診断結果（コース別・教科別）及び学習習慣に関するアンケート結果
- ・これら教科学力及び学習習慣に関する診断結果の過回推移・過年度比較結果
- ・クラス別の学力・学習習慣の結果
- ・各教科の詳細結果：教科学力に関する全体、クラス別、成績層別等
- ・各教科の学習に関するアンケート結果：クラス別、成績層別、前回からの推移等
- ・各教科の課題となる項目について振り返りができる具体的な設問イメージ

クラス担当先生への提供

紙媒体（冊子）・電子データ（専用無料 Web サイト経由）による返却

＜クラス診断レポート＞クラスごとの結果（教科及び学習習慣）と指導成果・課題がわかる資料等

- ・クラスごとの教科学力・学習習慣に関する診断結果と前回からの上昇下降
- ・生徒個人の結果一覧 各教科の GTZ、学習習慣の結果、学習をする姿勢、アンケート結果等
- ・生徒と振り返りを通じたコミュニケーション活動を目的とした生徒面談用資料

※全生徒分アセスメント・アンケートから見えてくる声がけ例

「2回め」の結果提供内容： ※イメージは帳票見本「学年診断レポート（学びの基礎診断対応版）」。（資料4）参照

電子データによる返却（専用無料 Web サイト経由）。

＜学年診断レポート＞

1回めの提供内容に加えて、

- ・「記述式（思考力・判断力・表現力）」問題に関する、各教科の得点率、校内順位、校内偏差値、レベル
- ・電子データによる返却（専用無料 Web サイト経由）。
- ・各教科の知識・思考力で分けた際の得点率の結果提供。

- ・各教科「記述式」問題の採点ポイントとその評価と模範答案の提供。
- ・上述の教師用帳票の PDF データ及びそのもととなるローデータ（エクセル・CSV データ）について、専用無料 Web サイトに搭載。エクセル・CSV データについては、学校が必要に応じて加工等行うことが可能です。

分析会の実施について

- ・実施校からの要望に応じて、各県の営業担当者中心に、結果報告会を実施。各校の結果を分析し、指導改善のためのアドバイスやプラン・情報の提供等を行います。

大学入学者選抜と関連づけた情報提供の出し分けについて

- ・お申込み時に学校の希望にて大学入学者選抜と関連づけた情報提供について、表示/非表示を学校側で選択できるようにしています。（資料 6）

(3) 試験等の結果（正答状況やスコア等）に対する評価の考え方と分析の手法

「マーク式」問題に配点はなく、正答率を算出し提供しています。この正答率をもとにベネッセの学校向け教科アセスメント共通の指標である「学習到達ゾーン（GTZ）」に紐づけています。

「記述式」問題には配点があり、この得点率をもとに各教科の「記述式問題レベル定義（段階別評価）」に紐づけています。

<GTZ 設定方法>

「GTZ」は学年・回・タイプごとに決定しており、「S1～D3」の 15 段階で示しています。

これまでの受検実績（受検母集団データより同一受検者を抽出）にもとづき、総合学力テストの「到達度指標」の設定にあわせてスタディーサポートの GTZ を設定しています。

<GTZ（学力の到達度）の目安>

総合学力テストの結果を参考に GTZ の各ゾーンについて次のような目安を設けています。

GTZ の目安は、各教科における到達度を大きく 5 段階に分けて大学等の進学先で必要とされる力を定義しています。段階ごとに、各教科の「〇〇できる」という定性評価を記載します。

<記述式問題レベル定義の設定方法と目安>

レベル定義は、5 段階で構成され、各教科問題における測定すべき力を定義しています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

・毎年新規で制作する出題については、複数名の作問スタッフが問題作成から検討を行い、そのうえで、作問を行っていないチェック者が第三者的視点で、問題の質を吟味することで、出題の客観性が保たれています。また、これまでの過去の結果データを活かしつつ、難易のチェックを含めた作問をしているため、毎回同程度の難易度を維持できています。

(2) 学校における実施方法

- ・ベネッセから学校に問題・アンケート等の資材を送り、学校で実施していただきます。マニュアル（教師用ガイド）や手引き（実施の手引き）等で迷いなく、指導・実施ができるように情報を提供しています。

- ・学校での実施にあたり教員の担うべき役割等については、実施にあたっての資材の開封、実施準備、試験監督、答案の回収、発送のための梱包といった作業があります。
- ・問い合わせ窓口を設けており質問を受け付けられるような体制を敷いています。
また、各校にベネッセの担当者が各拠点に配置されており、実施にあたっての不明点や事前・事後指導等の確認、トラブル等への対応ができるようになっています。
- ・基本的に実施可能期間内であれば、学校の都合に合わせた実施日としていますが、状況に応じて実施可能期間外の実施等にも対応ができるようにしています。また、教科については国語・数学・英語 3 教科実施を前提としていますが 2 教科のみ、1 教科のみでも受検可能です。

(3)採点の方法と体制

弊社では、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取組を実施しています。採点者は、学力と採点適性を見極めるための試験に合格し、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図ります。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。

(4)情報管理体制

セキュリティ

・ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（P マーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1) ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2) 機密(個人)情報取り扱い各種ルールへの遵守
B. 場所に関する施策	(1) ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2) 拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1) 各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

- ・緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- ・事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時

には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

1 視覚障害のある受検者への配慮

受検校のご要望をうけ、準備期間をいただき、問題の点訳、一部資料の拡大対応を予定します。弊社では従来のアセスメント実施で経験、実績のある対応です。

2 聴覚障害のある受検者への配慮

リスニング問題「聞くこと」実施に際し、音声と同じスクリプトを該当の受検者に見ていただける用意をして、解答できるよう対応します。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

- ・全生徒への配付冊子「スタディーサポート活用 BOOK」
実施にあたっての心構え・目標設定・振り返り・対策ができるドリル。
学校の状況に合わせ事前・事後で使える国語・数学・英語のドリル問題集。
- ・生徒用結果帳票
生徒の学力・課題に合わせたオンデマンドのドリルを掲載(国語・数学・英語)。

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

- ・学習状況リサーチ
生徒一人ひとりの学習習慣や学習態度・進路意識・生活状況を調査し学習状況を多面的に確認。
年度末に、当該年度内での推移と過年度での各比較をおこない、学力・学習状況・クロスの各観点で統計化したデータを WEB に掲載。

(4) 個人受検の可否

学校での指導を前提としたアセスメント教材であるため、個人受検はできません。

(5) 問題内容の情報提供

問題冊子と解答解説冊子は、受検後の振り返り等で自由に使っていただけます。

(6) その他

教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供の元となる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、弊社から直接は行えません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ

対象教科：数学

測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

主な対象者：四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生

※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。

学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力：

義務教育範囲も含み、

数学Ⅰ「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データの分析」

数学Ⅱ「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の考え」

数学A「場合の数と確率」「図形の性質」

数学B「数列」「統計的な推測」

数学C「ベクトル」

に関する資質・能力 等

□出題範囲：

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※一部選択大問や選択コースを設定しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、解答する出題範囲を選択することが可能です。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針：

計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プロセスを説明したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度：「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均45～55%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2) 構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

②出題範囲

※設問数割合(「マーク式」問題に配点なし)

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (数学Ⅰ)	選択科目範囲 (数学A)	選択科目範囲 (数学A以外)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	0%	
	2回	0%	60%	40%	0%	*1
高2	1回	0%	60%	40%	0%	*1
	2回	0%	35%	15%	50%	*1
高3	1回	0%	35%	15%	50%	*1

(※1)複数の選択問題があるため、必履修科目の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3) 難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約28万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5) その他特長

- ・出題内容については、「マーク式」問題においては、新作問題と同一問題(毎年同じ問題)の2種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2) 学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(6) その他

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生

※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。

学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力:

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章や図表等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、自分の考えを英語で記述・口述したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度:

- ・「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。
- ・「記述式」問題は、平均45～55%程度の得点率となる難易度に設定します。
- ・CEFRにおける「A1～A2」程度

(2)構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

Listening: すべて選択式(7～18問程度)、リスニングCDによる音声放送

Reading: すべて選択式(40～49問程度)

Writing: 選択式7割程度(3問程度)、記述式3割程度(2問程度、10～20語程度)

Speaking: 対面式(7問程度)。

※「話す」技能については、測定することに代えて問題、解答例及び採点基準を提供。

②出題範囲

※設問数割合（「マーク式」問題には配点がありません）

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (英語コミュニケーションⅠ)	選択科目範囲 (英語コミュニケーションⅡ)	備考
高 1	1 回	100%	0%	0%	
	2 回	30%	70%	0%	
高 2	1 回	30%	70%	0%	
	2 回	0%	60%	40%	
高 3	1 回	0%	60%	40%	

(3)難易度設定の考え方・方法

過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約 28 万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、「マーク式」問題においては、新作問題と同一問題（毎年同じ問題）の 2 種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

Ⅲ．運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(4)情報管理体制

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)個人受検の可否

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(5)問題内容の情報提供

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(6)その他

(略)※国語α タイプの申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生

※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプを用意しています。

学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

語彙や情報の扱い方、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度: 「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2)構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%（一部短答式を含む）程度

②出題範囲

※設問数割合（「マーク式」問題には配点なし）

学年	回	義務教育範囲	必修修科目範囲 (現代の国語、言語文 化)	選択科目範囲（論理 国語、文学国語、 古典探究）	備考
高 1	1 回	100%	0%	0%	
	2 回	0%	100%	0%	
高 2	1 回	0%	100%	0%	
	2 回	0%	60%	40%	
高 3	1 回	0%	60%	40%	

※学校の指導状況に応じて、古文・漢文の受検をせずに、現代文のみの受検も可能です。

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、学習動画を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約 28 万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、「マーク式」問題においては、新作問題と同一問題（毎年同じ問題）の 2 種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

(3)試験等の結果（正答状況やスコア等）に対する評価の考え方と分析の手法

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

Ⅲ．運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ

対象教科：数学

測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

主な対象者：四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生
※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力：

義務教育範囲も含み、

数学Ⅰ「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データの分析」

数学Ⅱ「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の
考え」

数学A「場合の数と確率」「図形の性質」

数学B「数列」「統計的な推測」

数学C「ベクトル」

に関する資質・能力 等

□出題範囲：

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※一部選択大問や選択コースを設定しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、解答する出題範囲を選択することが可能です。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針：

計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プロセスを説明したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度：「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2) 構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

②出題範囲

※設問数割合(「マーク式」問題に配点なし)

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (数学Ⅰ)	選択科目範囲 (数学A)	選択科目範囲 (数学A以外)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	0%	
	2回	0%	60%	40%	0%	*1
高2	1回	0%	60%	40%	0%	*1
	2回	0%	35%	15%	50%	*1
高3	1回	0%	35%	15%	50%	*1

(*1)複数の選択問題があるため、必履修科目の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約28万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、「マーク式」問題においては、新作問題と同一問題(毎年同じ問題)の2種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)情報管理体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2)事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(4)個人受検の可否

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(5)問題内容の情報提供

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(6)その他

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生

※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。

学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力:

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章や図表等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、自分の考えを英語で記述・口述したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度:

- ・「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。
- ・「記述式」問題は、平均50～60%程度の得点率となる難易度に設定します。
- ・CEFRにおける「A1～A2」程度

(2)構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

Listening: すべて選択式(7～18問程度)、リスニングCDによる音声放送

Reading: すべて選択式(45問程度)

Writing: 選択式7割程度(5問程度)、記述式3割程度(2問程度、10～20語程度)

Speaking: 対面式(7問程度)。

※「話す」技能については、測定することに代えて問題、解答例及び採点基準を提供。

②出題範囲

※設問数割合（「マーク式」問題には配点がありません）

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (英語コミュニケーションⅠ)	選択科目範囲 (英語コミュニケーションⅡ)	備考
高 1	1 回	100%	0%	0%	
	2 回	30%	70%	0%	
高 2	1 回	30%	70%	0%	
	2 回	0%	60%	40%	
高 3	1 回	0%	60%	40%	

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約 28 万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、「マーク式」問題においては、新作問題と同一問題（毎年同じ問題）の 2 種があり、学校が自校の希望に応じて、選択することができます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(4)情報管理体制

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)個人受検の可否

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(5)問題内容の情報提供

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(6)その他

(略)※国語α タイプの申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生

※学力層の幅広さに対応するため、難易度タイプを、 β 、 α 、 θ の3タイプを用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲:

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、高1の1学期までの履修範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

語彙や情報の扱い方、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度: 「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均40～50%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2)構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%（一部短答式を含む）程度

②出題範囲

※設問数割合（「マーク式」問題には配点なし）

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (現代の国語、言語文化)	選択科目範囲（論理 国語、文学国語、 古典探究）	備考
高 1	1 回	100%	0%	0%	
	2 回	0%	100%	0%	
高 2	1 回	0%	100%	0%	
	2 回	0%	60%	40%	
高 3	1 回	0%	60%	40%	

※学校の指導状況に応じて、古文・漢文の受検をせずに、現代文のみの受検も可能です。

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、学習動画を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約 28 万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、毎年同一問題であるため、過年度の比較（今年の高 1 生は、昨年度の高 1 生に比べて学力はどの程度の到達度か、など）が可能です。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

Ⅲ．運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

(4)情報管理体制

（略）※国語 α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語 α タイプの申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ
対象教科：数学
測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

主な対象者： 四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生
※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。
学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力：

義務教育範囲も含み、

数学Ⅰ「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データの分析」

数学Ⅱ「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の
考え」

数学A「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」

数学B「数列」「統計的な推測」

数学C「ベクトル」

に関する資質・能力 等

□出題範囲：

1年生第1回…高1の3月～5月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1年生第2回…高1の8月～10月での実施期間で、義務教育範囲および高1の1学期までの履修
範囲からの出題

2年生第1回…高2の3月～5月での実施期間で、高1全履修範囲からの出題

2年生第2回…高2の8月～10月での実施期間で、高2の1学期までの履修範囲からの出題

3年生第1回…高3の3月～5月での実施期間で、高1・高2全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定し
ています。

※一部選択大問や選択コースを設定しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、解答
する出題範囲を選択することが可能です。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針：

計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プ
ロセスを説明したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度：「マーク式」問題は、平均50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

「記述式」問題は、平均40～50%程度の得点率となる難易度に設定します。

(2) 構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

②出題範囲

※設問数割合(「マーク式」問題に配点なし)

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (数学Ⅰ)	選択科目範囲 (数学A)	選択科目範囲 (数学A以外)	備考
高1	1回	100%	0%	0%	0%	
	2回	30%	40%	30%	0%	*1
高2	1回	0%	60%	40%	0%	*1
	2回	0%	35%	15%	50%	*1
高3	1回	0%	35%	15%	50%	*1

(※1)複数の選択問題があるため、必履修科目の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約28万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5)その他特長

- ・出題内容については、毎年同一問題であるため、過年度の比較(今年の高1生は、昨年度の高1生に比べて学力はどの程度の到達度か、など)が可能です。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)情報管理体制

(略)※国語α タイプの申請様式参照

Ⅳ. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(6) その他

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

主な対象者：四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生

※学力層の幅広さに対応するため、難易度順に、 β 、 α 、 θ の3タイプ用意しています。

学校の成績層や履修状況に応じて、学校が難易度タイプを選択することが可能です。

□測定しようとする資質・能力

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲：

1 年生第 1 回…高 1 の 3 月～5 月での実施期間で、義務教育範囲からの出題

1 年生第 2 回…高 1 の 8 月～10 月での実施期間で、高 1 の 1 学期までの履修範囲からの出題

2 年生第 1 回…高 2 の 3 月～5 月での実施期間で、高 1 全履修範囲からの出題

2 年生第 2 回…高 2 の 8 月～10 月での実施期間で、高 2 の 1 学期までの履修範囲からの出題

3 年生第 1 回…高 3 の 3 月～5 月での実施期間で、高 1・高 2 全履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針：

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式で出題します。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針：

文章や図表等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、自分の考えを英語で記述・口述したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題します。

□難易度：

・「マーク式」問題は、平均 50～60%程度の正答率となる難易度に設定します。

・「記述式」問題は、平均 40～50%程度の得点率となる難易度に設定します。

・CEFR における「A1～A2」程度。

(2) 構成等

①出題形式

「選択式」80～90%、「記述式」10～20%(一部短答式を含む)程度

Listening：すべて選択式(5～8 問程度)、リスニングCDによる音声放送。

Reading：すべて選択式(26～28 問程度)

Writing：選択式 7 割程度(5 問程度)、記述式 3 割程度(2 問程度、10～20 語程度)

Speaking：対面式(7 問程度)。

※「話す」技能については、測定することに代えて問題、解答例及び採点基準を提供。

②出題範囲

※設問数割合(「マーク式」問題には配点がありません)

学年	回	義務教育範囲	必履修科目範囲 (英語コミュニケーションⅠ)	選択科目範囲 (英語コミュニケーションⅡ)	備考
高 1	1 回	100%	0%	0%	
	2 回	30%	70%	0%	
高 2	1 回	30%	70%	0%	
	2 回	0%	60%	40%	
高 3	1 回	0%	60%	40%	

(3) 難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にし、難易バランスを考慮した作問を行います。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・事前・事後学習教材を準備しており、テスト前後の予習・復習を通じて、基礎学力の定着を行うことができます。また、有料オプションで学習動画を付属させることができ、動画学習を通じて基礎事項の定着を図ることができます。
- ・テスト後は、個人の成績に応じて、復習問題を最大約 28 万通りの組み合わせから提供することにより、受検者が自分の弱点分野に対して重点的に振り返ることができます。

(5) その他特長

- ・出題内容については、毎年同一問題であるため、過年度の比較(今年の高 1 生は、昨年度の高 1 生に比べて学力はどの程度の到達度か、など)が可能です。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 学校等への結果提供内容・方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略)※国語 α タイプの申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1)障害のある受検者等への配慮

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(2)事前／事後学習教材の有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(3)学習状況等のアンケートの有無、内容

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(4)個人受検の可否

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(5)問題内容の情報提供

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(6)その他

(略)※国語α タイプの申請様式参照

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:スタディーサポート α タイプ、 β タイプ、 θ タイプ
対象教科:国語・数学・英語
測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)

II. 結果提供に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
帳票見本:1回め返却「マーク式」教師用	学年診断レポート クラス診断レポート ※見本は24年度版です。	資料1 資料2		○
帳票見本:1回め返却「マーク式」生徒用	個人診断レポート ※見本は24年度版です。	資料3	○	
帳票見本:2回め返却「マーク式」+「記述式」:教師用	学年診断レポート ※見本は24年度版です。	資料4		○
帳票見本:2回め返却「マーク式」+「記述式」:生徒用	個人診断レポート ※見本は24年度版です。	資料5	○	
出力見本:大学情報出し分け対応	大学入学者選抜と関連づけた情報提供の出し分けについての出力見本 ※見本は24年度版です。	資料6		○
帳票見本:英語スピーキング学校採点キット支援ツール	英語スピーキング学校採点キット支援ツール ※見本はツールを使用して出力したイメージです。24年度版です。	資料7		○

III. 運営に関すること

<提出必須の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	実施案内書1年1回	資料8
学校用実施マニュアル	実施の手引き1年1回	資料9

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
公開データ見本	スタディーサポート 学力・学習状況レポート	資料10

5 お申し込み方法・よくあるお問い合わせ

簡単!
WEBでの
お申し込み

Benesse High School Online からご利用いただけます。

URL <https://bhso.benesse.ne.jp>

※お申し込みには、学校ID・ログインコードまたは 先生個人ID・パスワードが必要です。
お申し込みに関してご不明な場合は、下記お客様サービスセンターまでお問い合わせください。

結果返却日を確認できる機能をリリースしています!
ぜひお申し込みの際にご活用ください!

※Benesse High School Onlineメンテナンス期間は入力できません。

Benesse High School Online上の
「お申込み／請求書出力」をクリック

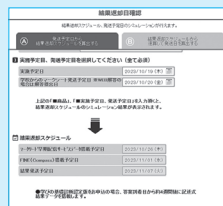
お申込み/請求書出力



結果返却日確認をクリック



必要情報を入力してください



※図版はすべてイメージです。実際のものとは異なる可能性があります。

ご送金方法

- 同封の郵便振替用紙(払込手数料弊社負担)をご利用のうえ、お申し込みと同時に郵便局よりご送金ください。郵便振替用紙ご記入の際には、今回お申し込みいただくスタディーサポートの「学年・回」も忘れずにご記入ください。また、学びの基礎診断認定版をご実施の場合には、「スタディーサポート学びの基礎診断認定版」とご記入ください。
- 郵便局がお渡しする「振替払込請求書兼受領証」は貴校の控えとなりますので、大切に保管してください。
- 請求書に「ゆうちょ銀行振込の場合のお振込み先」を記載しております。
現金利用時の手数料は、貴校のご負担をお願いします。
通帳またはキャッシュカードを利用してお支払いいただくと、現金利用時の手数料はかかりません。
- 請求書等は上記WEBからダウンロードできます。

よくあるお問い合わせ

Q1. 事前教材(スタディーサポート活用BOOK)を早めに送っていただけますか?	A1. お申込みWEBで、スタディーサポート活用BOOKの「使用開始予定日」を入力できます。「スタディーサポート活用BOOKの使用開始予定日」または「実施予定日」の早い方に合わせ、問題・実施の手引き等とともにお届けします。
Q2. 各教科・タイプの実施時間はどこで確認できますか?	A2. 本冊子P.6の「実施時間の目安」をご確認ください。
Q3. 出題範囲を生徒に教えてもいいですか?	A3. 出題範囲の取り扱い各校のご判断にお任せしています。ただし、告知をする場合は、特定のクラスだけに知らせる等がないよう、学校内で公平な対応をお願いします。
Q4. いつまでに送ったら全国集計に間に合いますか?	A4. 全国集計は複数回行っており、それぞれの締切日までに届いた分が反映されます。詳細は、本冊子P.4の最下部をご確認ください。
Q5. 結果はいつ返ってきますか?	A5. 弊社にマークシートが到着してから約2週間後に結果資料を送送します。詳細は、本冊子P.4「実施の流れと実施例・結果のご活用」をご確認ください。

よくあるご質問

Benesse High School Onlineよくあるご質問・お問い合わせ／チャットボット

WEB <https://bhso.benesse.ne.jp> 24時間

※Benesse High School Onlineのご利用には学校ID・ログインコードまたは先生個人ID・パスワードが必要です。先生個人IDは、Benesse High School Online内の「先生・生徒ID管理」から発番していただけます。

お電話でのお問い合わせ

お客様サービスセンター

TEL 0120-350455 通話料無料

受付時間／月～金 8:00～18:00 土 8:00～17:00
(祝日、年末・年始を除く)

Benesse

生徒の「基礎学力」や「学習状況」を把握する

スタディーサポート

2024年度1年生第1回のご案内

実施期間：3/1(金)～5/31(金)

先生方へお知らせ

生徒にスタディーサポートを前向きな気持ちで受検してもらうために、動画をご用意しています!



スタディーサポートの受験意義を約2分でまとめています

※生徒には「スタディーサポート活用BOOK」表紙の二次元コードからご案内しています。ぜひ生徒に受検前の様子をすすめてください。
※先生は「Benesse High School Onlineトップテスト・教材を活用する>スタディーサポート マークシート形式」ページをご覧ください。

先生方からお聞きする指導面での課題解決に向けてスタディーサポートの改定を行っています!

URL <https://bhso.benesse.ne.jp>

Benesse High School Online トップ>テスト・教材を活用する

「スタディーサポート マークシート形式」をクリック

「トピック」に掲載の「2024年度スタディーサポートのご案内」をクリック※
ポイントをまとめた動画をご用意しています

※ ご視聴には、学校ID・ログインコードまたは、先生個人ID・パスワードが必要です。
※ 2023年12月時点の情報です。変更となる場合があります。

1 2024年度スタディーサポートについて P.2

2 アイテム紹介 P.3

3 実施の流れと実施例・結果のご活用 P.4-5

4 実施概要と出題範囲 P.6-7

5 お申し込み方法・よくあるお問い合わせ P.8

1 2024年度スタディーサポートについて

新課程を機に、
生徒の気づきと振り返りをより豊かにし、
学習改善を促す教材へ進化しています。

※2022年度1年生より改定しました。

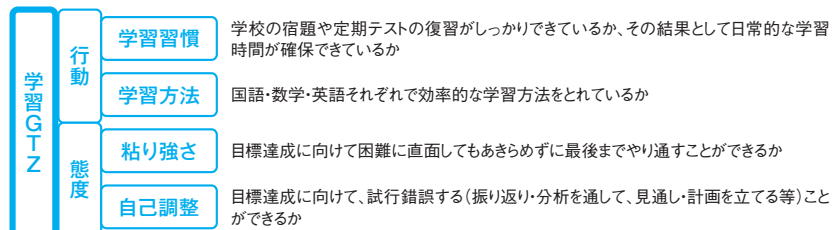
改定ポイント①

学力リサーチで、新課程で求められる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を的確に測定できる新しい問題を追加しています。

※新課程対応に際し、2022年度1年生よりθタイプの実施時間を各教科50分に変更しています。なお、国語、英語の実施時間については、古文やリスニングの選択有無によって異なります（詳細は、P6をご参照ください）。

改定ポイント②

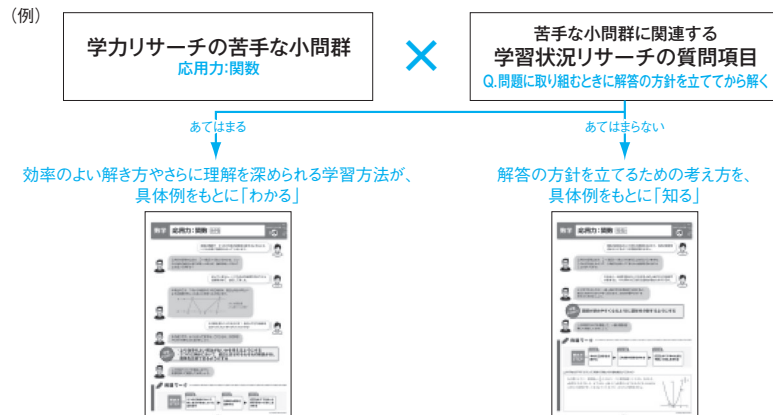
学習状況リサーチで、「主体的に学習に取り組む態度」の観点を加え、「学習GTZ」を測定します。



改定ポイント③

個人診断レポートで、生徒がよりの確に弱点の克服を行うことができます。

学力リサーチと学習状況リサーチ両方の結果から、生徒個々に最適な弱点克服ワーク・ドリルをご提供します。



2 アイテム紹介

実施前から実施後まで
「自ら学ぶ」生徒の育成をサポートします。

スタディーサポート受験に向けて、目標設定や事前学習を計画的に取り組ませられます。

< 生徒用 >



スタディーサポート活用BOOK*1

受験準備や受験後の活用
に使える記事と、事前学習
問題集(スタディーチャージ)
を掲載しています。

生徒の受験への意識を高めるための、
短尺の動画をご用意しています。



目標設定ワーク
めざす進路のレベルなどをもとに、目標を設定させ、事
前学習への取り組み意欲を向上させます。



事前学習問題集(スタディーチャージ)*2
目標正解率達成をめざして、スタディーチャージに取り
組ませます。「基本」「標準」「応用」の問題をご用意
しています。

- *1 問題発送時にお申し込み人数分をお届けします。学校のご指導に合わせて、スタディーサポート実施の事前教材としてだけでなく、事後学習としてもご利用いただけます。
- *2 スタディーサポート活用BOOK～Basic～では「応用」の出題はありません。

< 先生用 >



教師用ガイド

スタディーサポートの
活用方法について、
詳しくご説明していま
す。
これだけはガイド
担任先生向けに活用
のご案内をしていま
す。

実施前

国数英の基礎学力と、学習や進路についての生徒の学習状況を調べます。



学力リサーチ

国語、数学、英語について、生徒がつかずいているポ
イントを正確に測定し、課題と補強ポイントを明確にし
る問題を出題しています。

※記述式は、学びの基礎診断認定版をご実施の学校のみです。



学習状況リサーチ

生徒一人ひとりの進路意識・生活状
況・学習を調査するアンケートです。

学校オリジナル質問
オプション機能として、学校で独自に質問項
目を設定し、結果を集計できます。
サンプルをまとめた「学校オリジナル質問バ
ターン集」もご利用いただけます。



※問題発送時に、「実施の手引き」と一緒にお届けします。
※Benesse High School Onlineのインターネットフォルダ
にて、結果データをご確認いただけます。
※指定のフォーマットに自校のデータを貼りつけることで、全
国集計結果とも比較できます。

実施

生徒一人ひとり、クラス全体、学年全体、教科ごとの学力・学習の状況を把握できます。

< 生徒用帳票 >



個人診断レポート

今の自分に対する気づきと、
「次の一歩」を踏みだすきつ
かけを得られます。

< 先生用帳票 > マーク式結果



クラス診断レポート

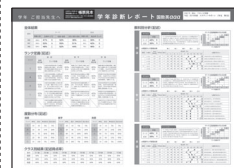
クラス結果・生徒結果をまとめてい
ます。短い面談時間にも、深い生
徒把握にもご利用いただけます。



学年診断レポート

学年団と教科担任先生で生徒の
情報を共有できるよう、「学年診断
レポート」と「教科診断レポート」を
1冊にまとめています。

< 先生用帳票 > 記述式結果



学年診断レポート

記述式の学年結果や、マーク式結果と記述式結果を
組み合わせた分析結果などを確認できます。
Benesse High School Onlineのインターネットフォル
ダに掲載します。
※記述式結果は、学びの基礎診断認定版をご実施の学校のみ
です。

実施後

3 実施の流れと実施例・結果のご活用

貴校実施日の 15日前まで

WEBにてお申し込み

→ P.8

受験番号修正サービス(P.5)についてもご確認ください。

ご請求額のご送金

→ P.8

お申し込み部数確認

問題等到着

早めに部数を確認し、不足がございましたら「お客様サービスセンター」までご連絡ください。

お届け するもの

- 実施の手引き
- マークシート冊子
- 学カリサーチ・解答解説
- 学習状況リサーチ
- 教師用ガイド
- これだけはガイド
- スタディーサポート活用BOOK・解答解説
- 英語リスニングテスト実施用CD
- 学カリサーチ（記述式）・解答解説*
- 英語スピーキング学校採点キット*
- 学校オリジナル質問パターン集

*学カリサーチ（記述式）と英語スピーキング学校採点キットは学びの基礎診断認定版をお申し込みの学校にお届けいたします。

問題等は、「スタディーサポート活用BOOK」の使用開始予定日、またはご実施予定日の早い方に合わせてお届けします。

3/1(金)～5/31(金) 実施

「Benesse High School Online トップテスト・教材を活用する>スタディーサポート マークシート形式」ページに実施前～実施後までご活用いただける資料をご用意しています。

事前準備・実施

生徒に、「スタディーサポート活用BOOK*」の事前学習用問題集（スタディーチャージ）に取り組ませます。実施にあたっての手順、注意事項などは、問題と同封されている「実施の手引き」をご確認ください。

*問題発送時にお申し込み人数分をお届けします。学校のご指導に合わせて、実施後にもご活用いただけます。

マークシートの発送

約3～4日後

マークリード早期配信サービス

マークシートの読みとり結果は、マークシート弊社到着から約3～4日後に、Benesse High School Onlineのインターネットフォルダからダウンロードできます。

約2週間後*

結果資料発送

マークシート弊社到着から約2週間後に結果資料を発送いたします。また、Benesse High School Onlineのインターネットフォルダに、結果データを搭載します。

お届け するもの

- 先生用帳票
- 生徒用帳票
- クラス診断レポート
- 学年診断レポート
- バイナダー
- 個人診断レポート

約4週間後

記述式結果データ搭載

記述式答案の弊社到着から約4週間後に、結果データを搭載します。先生向けにはBenesse High School OnlineのFINE SYSTEM・Compass・インターネットフォルダに、生徒向けにはマナビジョンの個人ページにそれぞれ搭載します。

*記述式結果は、学びの基礎診断認定版をご実施の学校のみです。

全国集計結果をFINE SYSTEM・Compassでご覧いただけます。

回ごとにマークシートの到着締切日が設定されています。締切日に間に合わなかった場合、全国集計結果は次のリリース日まで表示されませんのでご注意ください。

	1回目	2回目	3回目	4回目
マークシート 弊社到着締切日	3/18(月)	4/18(木)	5/15(水)	6/21(金)
全国集計結果 リリース予定日	4/11(木)	5/8(水)	6/1(土)	7/9(火)

※上記スケジュールは、2023年12月時点の予定です。今後変更になる可能性があります。

●受験番号修正サービスについて

新年度に切り替わる前にご実施いただいた場合のサービスとして、受験番号修正サービスがあります。

受験時のクラス・番号（受験番号）を編成後のクラス・番号（受験番号）に修正して結果をお届けする**3～4月の期間限定サービス**です。ご希望の場合には、「スタディーサポート」お申し込み時に、あわせてお申し込みが必要です。

実施後に、「**新旧受験番号対応表**」をご提出いただくことで、編成後のクラス・番号（受験番号）に並べ替えた結果資料をお届け^{※2}します。結果資料の返却方法は、次のパターンからご選択いただけます。

パターン	成績資料のご活用イメージ	結果資料	
		受験時のクラス・番号	編成後のクラス・番号
利用しない	受験時のクラス・番号で資料を活用する。 受験番号の修正は不要。	先生 生徒	
A	クラス編成後に引き継ぎ資料として活用する。 受験時のクラス・番号での資料は不要。		先生 生徒
B	受験時のクラス・番号で総括資料として活用する。 加えて、先生用帳票のみクラス編成後引き継ぎに必要。	先生 生徒	先生

*1：受験番号修正サービスをご利用の際には、マークシート弊社到着から約7～10日後に、インターネットフォルダから提供する「新旧受験番号対応表（受験時・編成後それぞれの受験番号情報）」の入力にご提出（4月22日まで）が必要です。ご提出いただけない場合には、編成後のクラス・番号（受験番号）での結果資料返却ができませんので、ご注意ください。【新旧受験番号対応表】の送受信については、Benesse High School Onlineのインターネットフォルダをご利用いただく必要があります。

*2：編成後の結果は、通常「新旧受験番号対応表」のご提出より約2週間でお届けします。

実施例① 3月下旬に実施 受験番号修正サービス：利用する(A)

高校の学習をスムーズに
スタートさせるために

3月中旬

高校入学前の総復習として、「スタ
ディーサポート活用BOOK」の問題
に取り組ませる。

3月下旬

・高校入学前の総復習として実施
・マークシート発送

マークリード早期配信サービスリリース

「新旧受験番号対応表」送信

「新旧受験番号対応表」のご提出
から約2週間後

4月上～中旬

・結果資料到着：先生用帳票・生徒用帳票
・入学式後に生徒への資料返却

課題として、「個人診断レポート」の
ワークドリルに取り組ませる。

- 学年診断レポート
学年で結果を共有する。
新入生の状況を把握する。
- クラス診断レポート
顔合わせ面談、声かけに活用する。

実施例② 4月上旬に実施 受験番号修正サービス：利用しない

新入生の実態を
把握するために

3月下旬

可能であれば、入学前の課題として、
「スタディーサポート活用BOOK」の
問題に取り組ませる。

4月上旬

・入学直後の学力テストとして実施
・マークシート発送

マークリード早期配信サービスリリース

4月下旬

・結果資料到着：先生用帳票・生徒用帳票
・生徒への資料返却

課題として、「個人診断レポート」の
ワークドリルに取り組ませる。

- 学年診断レポート
学年で結果を共有する。
新入生の状況を把握する。
- クラス診断レポート
顔合わせ面談、声かけに活用する。

実施例③ 4月中旬に実施 受験番号修正サービス：利用しない

高校生としての意識を
高めるために

4月上旬

「スタディーサポート活用BOOK」の
問題に取り組ませる。毎日の学習習
慣を身につけさせる。

4月中旬

・実施
・マークシート発送

マークリード早期配信サービスリリース

4月下旬

・結果資料到着：先生用帳票・生徒用帳票
・生徒への資料返却

ゴールデンウィークの課題として、「個
人診断レポート」のワークドリルに取
り組ませる。

- 学年診断レポート
学年で結果を共有する。
- クラス診断レポート
気になる生徒への面談、声かけに
活用する。

※上記のスケジュールは目安です。実施時期などにより、前後する可能性があります。

実施期間

3/1(金) ~ 5/31(金)

※学びの基礎診断認定版の記述式については、採点可能期間が決まっています。受付が可能なのは、**6月7日(金)**弊社到着分までです。この日を過ぎてから弊社に答案が到着した場合は、採点や成績処理ができませんのでご注意ください。

検査項目

●学力リサーチ(国語・数学・英語・記述式)

●学習状況リサーチ

※記述式以外はすべてマーク式です。

※記述式は、学びの基礎診断認定版をご実施の学校のみです。

学力リサーチ
(マーク式)
タイプ

タイプ	目標レベル (難易度目安)	測定できる GTZ(学力の到達度)
β	難関国公立大進学レベル (進研模試※偏差値: 56~)	S~D
α	国公立大進学レベル (進研模試※偏差値: 46~56)	S~D
θ	4年制大・国公立大進学レベル (進研模試※偏差値: ~46)	A~D*

※進研模試は、ベネッセ総合学力テストを含みます。 * θ タイプでは、Sゾーンは測定できません。

● $\beta \cdot \alpha$ タイプには、「同一問題」と「新作問題」があります。お申し込みの際にいずれかをご選択ください。

● θ タイプは「同一問題」のみです。

※詳細は、P.7をご確認ください。

●記述式は $\beta \cdot \alpha \cdot \theta$ タイプとも共通の問題です。

※2024年度より、同一問題のみのご提供となります。

実施時間の
目安

			β タイプ	α タイプ	θ タイプ
学習状況リサーチ			50分		
学力リサーチ	マーク式	国語	現・古	60分	50分
			現のみ	60分	40分
		数学		60分	50分
		英語	リスニング有	70分	50分
	記述式		リスニング無	60分	40分
		国数英(合冊)	50分(国語20分/数学15分/英語15分)		

※上記の実施時間は目安です。正確な診断を行うため、できるだけすべての質問・問題に取り組めるよう実施時間の設定をお願いします。

※学びの基礎診断認定版をご採用いただいた場合のみ、記述式が追加となります。

実施時間割例

8:20~8:35	8:40~9:30	9:40~10:40	10:50~11:50		13:00~14:10	14:20~15:10
受験カード 記入	学習状況 リサーチ (50分)	学力リサーチ 国語 (60分)	学力リサーチ 数学 (60分)	昼 食	学力リサーチ 英語 (70分)	学力リサーチ 記述式 国数英 (50分)

※統一実施日がありませんので、上記のような実施例のほかに、平日の授業後を利用した3~4日間の実施日設定や平日の授業後と土曜日の実施の組み合わせなども可能です。貴校のご都合に合わせて設定してください。

※記述式は、学びの基礎診断認定版をご実施の学校のみです。

2024年度
料金(税込み)

	ご請求額	標準受験料
通常版	2,800円	3,150円
学びの基礎診断認定版	3,300円	3,650円

学力リサーチ
(マーク式)
問題について

●「同一問題」とは

- ・毎年同じ問題を出題しています。
- ・設問単位での詳細な過年度(学年間)比較ができます。

●「新作問題」とは

- ・毎年新しくご用意する問題です。

●前年度と同じ問題種類(同一または新作)をご受験いただくことで、
過年度・過回で接続された成績結果をご確認いただけます。

●実施にあたってのご注意

- ①「同一問題」を受験する場合は、比較したい年度と同じタイプ($\beta \cdot \alpha \cdot \theta$)を選択してください。
異なるタイプを選択されますと、成績結果を比較できません。
×例) 昨年度は α タイプの「同一問題」を受験したが、今年度は β タイプの「同一問題」を受験。
- ②「同一問題」「新作問題」を混在させて受験することはできません。
×例) 国語・英語は「新作問題」、数学は「同一問題」を受験。
- ③「 β タイプ」「 θ タイプ」を混在させて受験することはできません。
×例) 国語・英語は「 β タイプ」、数学は「 θ タイプ」を受験。

学力リサーチ
出題範囲

記述式問題

国語と英語は出題範囲の設定はありません。数学は $\beta \cdot \alpha \cdot \theta$ タイプのマーク式で共通している範囲を出題します。

国語 $\beta \cdot \alpha$ タイプ

知識・技能	・現代文知識・技能 ^{※1} ・古文知識 (仮名遣いと音読、入門的な文法知識、単語の知識、古語の読み)
思考力・判断力・表現力	・論理的な文章読解 ^{※2} ・文学的な文章読解 ・古文読解

※1 現代文知識・技能について、 $\beta \cdot \alpha$ タイプによって出題内容が異なります。 α では、 β の出題内容に加えて現代文を読むうえで基礎的な知識問題も出題します。

※2 論理的な文章読解について、各タイプによって素材文の文章量が異なります。総字数の目安は、 β :2500字程度、 α :1500字程度、 θ :1200字程度です。

 θ タイプ

●古文は選択問題です。

知識・技能	・現代文知識・技能 ・古文知識 (仮名遣いと音読、単語の知識)
思考力・判断力・表現力	・論理的な文章読解 ^{※2} ・文学的な文章読解 ・古文読解

数学 β タイプ

知識・技能	知識利用 ・中学校の範囲 (数と式、方程式、関数、図形、確率、データの活用)
思考力・判断力・表現力	応用力 ・中学校の範囲 (関数、図形) 総合力 ・関数と図形の融合問題

 α タイプ

知識・技能	知識理解・知識利用 ・中学校の範囲 (数と式、方程式、関数、図形、確率、データの活用)
思考力・判断力・表現力	応用力 ・中学校の範囲 (関数、図形)

 θ タイプ

知識・技能	知識理解・知識利用 ・中学校の範囲 (数と式、方程式、関数、図形、確率、データの活用)
-------	---

英語 $\beta \cdot \alpha$ タイプ

●リスニングは選択問題です。

知識・技能	・知識理解 語彙 ・知識理解 文法 (文の種類、動詞の時制、助動詞、不定詞・動名詞) ・知識活用
思考力・判断力・表現力	・リーディング ・リスニング

 θ タイプ

●リスニングは選択問題です。

知識・技能	・知識理解 語彙 ・知識理解 文法 (動詞の時制、助動詞、不定詞・動名詞) ・知識活用
思考力・判断力・表現力	・リーディング ・リスニング

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、語彙 (類義語・対義語、同音異義語、 多義語、抽象語の使い方など) 及び言葉のきまり(口語文法な ど)、情報の扱い方を理解し、適 切に使うことができる。	【設問数】12問(程度) 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取ることができる。</u>	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。
論理的な文章について、 <u>筆者の主張やその主張の根拠をとらえることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力，判断力，表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 〔思考力，判断力，表現力等〕 C 読むこと ア 文章の種類を踏まえて，論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開，表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】11 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。 イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。 ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。
古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。 イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。 ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (思考力、判断力、表現力等)	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 「読むこと (思考力、判断力、表現力等)」	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (「思考力、判断力、表現力等」)	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1 年 2 回-2 年 1 回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた <u>文章に即して、漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び言葉のきまり（口語文法など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】17 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取り、要旨を把握すること</u> ができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力，判断力，表現力等〕	現代の国語 〔思考力，判断力，表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】12 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式 サンプル問題 1	B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、 <u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u>	<u>※漢文は2年1回のみとなります。</u> 【設問数】 14問（程度） 【出題形式】 選択式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。	※漢文は2年1回のみとなります。 【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C 読むこと B 書くこと 「思考力、判断力、表現力等」	現代の国語 「思考力、判断力、表現力等」 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2	C 「読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕」	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 2 年 2 回-3 年 1 回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた <u>文章に即して、漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）、及び言葉のきまり（口語文法など）を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】15 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取り、要旨を把握すること</u> ができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力，判断力，表現力等〕	現代の国語 〔思考力，判断力，表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】12 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式	A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u>	【設問数】14 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式	A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (〔思考力、判断力、表現力等〕)	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 読むこと 「思考力、判断力、表現力等」	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (「思考力、判断力、表現力等」)	現代の国語 [思考力、判断力、表現力等] B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ 1年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(1) <u>累乗の表し方を理解し、簡単な計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2A (2) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。
■知識理解(2) <u>与えられた文章を文字を用いた簡単な式で表す</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2A (2) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。
■知識理解(3) <u>展開の公式を用いて簡単な多項式の展開</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A (2) ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$

■知識理解(4) <u>平方根について理解し、簡単な計算</u>ができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A (1) 正の数の平方根について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
■知識理解(5) <u>二元一次方程式の解の意味を理解</u>することができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A (2) 連立二元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二元一次方程式とその解の意味を理解すること。
■知識理解(6) <u>簡単な連立方程式を解く</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A (2) 連立二元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 簡単な連立二元一次方程式を解くこと。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること。
■知識理解(7) <u>因数分解を利用して二次方程式を解く</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。

■知識理解(8) <u>解の公式を利用して二次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。
■知識理解(9) <u>反比例の性質を理解</u>できている。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関 数	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2C (1) 比例、反比例について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 比例、反比例について理解すること。
■知識理解(10) <u>二つの点を通る直線の切片を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2C (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
■知識理解(11) <u>関数 $y=ax^2$ の特徴について理解</u>できている。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
■知識理解(12) <u>関数 $y=ax^2$ の変化の割合について理解</u>できている。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		

■知識理解(13) <u>球の体積を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2B (1) 平面図形について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や体、球の表面積と体積を求めること。
■知識理解(14) <u>平行線の錯角や同位角について理解し、具体的な角度を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2B (1) 基本的な平面図形の性質について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 平行線や角の性質を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明すること。
■知識理解(15) <u>合同や相似な三角形となるための条件を理解することができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。
■知識理解(16) <u>三平方の定理を用いて線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B (3) 三平方の定理について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。

■知識理解(17) <u>二つのさいころを用いて、確率を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。
■知識理解(18) <u>三つの事象が起こる確率について比較ができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。
■知識理解(19) <u>箱ひげ図を読みとることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2D (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。
■知識利用(1) <u>やや複雑な文字式の計算(乗除)ができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。

■知識利用(2) <u>式を展開し、因数分解を行うことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A (2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
■知識利用(3) <u>平方根を含む式で加減乗除の計算</u>ができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A (1) 正の数の平方根について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
■知識利用(4) <u>与えられた文章をもとに一次方程式を立式し、解くこと</u>ができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2A (3) 一元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一元一次方程式を解くこと。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 一元一次方程式を具体的な場面で活用すること。

■知識利用(5) <u>与えられた文章をもとに連立方程式を立式し, 解くことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第2 学年〕 2A (2) 連立二元一次方程式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 簡単な連立二元一次方程式を解くこと。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (イ) 連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること。
■知識利用(6) <u>与えられた文章をもとに二次方程式を立式することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3 学年〕 2A (3) 二次方程式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (イ) 二次方程式を具体的な場面で活用すること。
■知識利用(7) <u>与えられた文章をもとに一次関数を立式することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関 数	中学校学習指導要領 数学〔第2 学年〕 2C (1) 一次関数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
■知識利用(8) <u>二つの直線の交点から一次関数が決定できる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第2 学年〕 2C (1) 一次関数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二元一次方程式を関数を表す式とみること。

■知識利用(9) <u>関数 $y=ax^2$ において x の変域が変化するときの y の変域を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
■知識利用(10) <u>平行な直線から相似な三角形を見出し、線分の比を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。 (イ) 平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確かめること。
■知識利用(11) <u>与えられた図で円周角の定理を用い、角度を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B (2) 円周角と中心角の関係について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。
■知識利用(12) <u>図形の相似比と体積比を理解し、与えられた図形の体積を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解すること。

■知識利用(13) 数の書かれたカードを用いて、<u>条件を満たす数となる場合の確率を求める</u>ことができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。
■知識利用(14) 標本調査について理解し、<u>袋の中の玉の個数を推定</u>することができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2D (1) 標本調査について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。
■応用力〔1〕(1) <u>与えられた条件から放物線の方程式を決定</u>することができる。 また、求めた<u>点を通る直線の方程式を求める</u>ことができる。	【設問数】2問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2C (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。

■応用力〔1〕(2) 与えられた条件を満たす三 角形となるときの点の座標 を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (イ) 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
■応用力〔1〕(3) 与えられた条件を満たす三 角形となるときの点の座標 を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■応用力〔2〕(1) 与えられた図と条件から相 似な図形を探し、その比から 線分の長さを求めることが できる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式	B 図 形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 平行線と線分の比についての性質を見いだし、それら確かめること。 (ウ) 相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。 (3) 三平方の定理について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
■応用力〔2〕(2) 与えられた図に相似条件や 三平方の定理を適用し、面積 や線分の長さを求めること ができる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式		
■数学的表現 日常的な事象において、与え られた状況を読み取り、適切 な数式を表すことができる。	【設問数】3 問 【出題形式】短答式	A 数 と 式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

■数学的表現 数学的事象において、条件から<u>文字を含む関係式をつくり予想したり、それを他の条件の場合でも成り立つかどうかを確かめたりすることを通して、考察の対象を明確に捉える</u>ことができるようにする。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式		(ウ) 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること。 (エ) 目的に応じて、簡単な式を変形すること。
--	--	--	---

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1 年 2 回-2 年 1 回（複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載）

対象教科：数学

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(1) <u>指数法則を用いて、単項式の式の積の計算ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1 (1)	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。(ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。
■知識理解(2) <u>因数分解の公式を用いて、簡単な式の因数分解ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1 (2)		
■知識理解(3) <u>根号を含む式の計算公式を用いて、簡単な根号を含む式の計算ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1 (3)		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(4) <u>絶対値の性質を用いて、簡単な絶対値を含む式の計算ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1 (4)		
■知識理解(5) <u>根号を含む式の計算公式を用いて、分母の有理化ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(6) <u>不等式の性質を利用して、簡単な一次不等式が解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(7) <u>不等式の性質を利用して、簡単な連立不等式が解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

■知識理解(8) <u>絶対値を含む簡単な方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■知識理解(9) <u>集合とその表し方を理解して、簡単な和集合や共通部分を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。
■知識理解(10) 与えられた <u>簡単な命題の真偽を判断</u> できる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(11) <u>和の法則を用いて、場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。
■知識理解(12) <u>積の法則を用いて、場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

■知識理解(13) <u>順列の考え方を</u> 用いて、 <u>簡単な場合の数を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。
■知識理解(14) <u>円順列の考え方を</u> 用いて、 <u>場合の数を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(15) <u>重複順列の考え方を</u> 用いて、 <u>場合の数を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。
■知識理解(16) <u>組合せの考え方を</u> 用いて、 <u>簡単な場合の数を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(1) 因数分解の公式を用いて、 <u>二つの文字を含む多項式の因数分解</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■知識利用(2) 展開公式や根号を含む式の計算公式を用いて、 <u>根号を含む多項式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(3) 展開公式や根号を含む式の計算公式を用い、 <u>式の展開の工夫</u> をして <u>根号を含む多項式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

■知識利用(4) <u>与えられた文章から一次不等式を立式し, 条件を満たす値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し, 一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え, 一次不等式を問題解決に活用すること。
■知識利用(5) <u>絶対値を含む不等式を解き, 条件を満たす値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■知識利用(6) <u>与えられた条件を満たす集合を求め, その条件に関する命題の真偽を判断することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し, 簡単な命題を証明すること。
■知識利用(7) <u>積の法則を用いて, 条件を満たす整数をつくることのできる場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について, 数学的活動を通して, その有用性を認識するとともに, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則, 積の法則などの数え上げの原則について理解すること。

■知識利用(8) <u>順列の考え方を</u>用いて、条件を満たす男女の並び方を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。
■知識利用(9) <u>組合せの考え方を</u>用いて、6人を3つの組に分ける場合の数を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■知識利用(10) <u>同じものを含む順列の考え方を</u>用いて、アルファベットの並べ方を求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■応用力〔1〕(1) <u>文字定数を含む等式に与えられた値を代入し、根号を含む式として計算</u>できる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

■応用力〔1〕(2) 与えられた定数をもとに<u>連立一次不等式を解き、求める値の範囲を適切に表現することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。
■応用力〔1〕(3) 与えられた<u>定数の値の範囲</u>をもとに一次不等式を解き、<u>求める値の範囲を適切に表現することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■応用力〔1〕(4) 場合分けを行いながら連立一次不等式を解き、<u>条件を満たす x の値が得られるときの定数の範囲を数直線等を用いて考察し、求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。
■応用力〔2〕(1)(2) <u>条件に合わせて取り出す球を特定し、順列・組合せの考え方を用いて場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】2 問 【出題形式】選択式	の 数 と 確 率 (2) 場 合	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

■応用力〔2〕(3) <u>条件を満たす場合を考え、順列・組合せの考え方を</u>用いて<u>場合の数を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。
■応用力〔2〕(4) <u>条件を満たすときを場合に</u>分けて考察し、<u>順列・組合せの考え方を</u>用いて<u>場合の数を</u>もれなく求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■数学的表現 数学的事象において、<u>与えられた状況を読み取り、条件にあてはまる 2 次方程式の解を</u>求めることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】短答式 サンプル問題 2 問 1	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■数学的表現 問題文で与えられた会話をもとに、<u>解法の方針を立て、式の展開やなどを利用して、無理数を 3 乗した値を</u>求めることができる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2 問 2 問 3		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。

			こと。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■数学的表現 問題文で与えられた会話をもとに，<u>複数の条件から新たな数式をつくり，思考プロセスを説明し課題を解決することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2 問 4		数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 〔課題学習〕 (1) から (4) までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け，生徒の主体的な学習を促し，数学のよさを認識させ，学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。

■数学的表現 前設問までの思考のプロセスを理解し、異なる条件の場合にも適用させることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2 問 5	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
---	--	-----------------------	--

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ 2 年 2 回-3 年 1 回 (複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(1) <u>根号を含む式の計算公式を用いて、分母の有理化ができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(2) <u>不等式の性質を利用して、簡単な一次不等式を解くことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。
■知識理解(3) <u>与えられた簡単な命題の真偽を判断</u> できる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(4) <u>二次関数のグラフが x 軸方向、y 軸方向にどのように移動したかを求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識理解(5) 平方完成を利用して、 <u>二次関数の最大値と最小値を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
■知識理解(6) 因数分解を利用して <u>二次不等式の解を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。 また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。
■知識理解(7) <u>正弦定理を利用して、三角形の辺の長さを求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
■知識理解(8) <u>余弦定理を利用して、三角形の辺の長さを求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(9) <u>三角比を利用して三角形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。
■知識理解(10) <u>分散を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(4) データの分析	数学 I (4) データの分析 データの分析について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。
■知識理解(11) <u>ヒストグラムや箱ひげ図の表し方を理解できている。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		(4) データの分析 データの分析について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。
■知識理解(12) <u>順列について理解し、簡単な場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。
■知識理解(13) <u>組合せについて理解し、簡単な場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(14) <u>簡単な事象の確率を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。
■知識理解(15) <u>角の二等分線と比の定理を利用して線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 図形の性質	数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角形に関する基本的な性質について理解すること。
■知識理解(16) <u>円の接線と弦の作る角の定理を利用して角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 円に関する基本的な性質について理解すること。
■知識利用(1) 有理化や展開の公式を利用して、 <u>根号を含む多項式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識利用(2) <u>与えられた条件を満たす集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断</u> することができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。
■知識利用(3) <u>文字定数を含む二次関数について、グラフの頂点の条件から関数を決定</u> することができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識利用(4) <u>商品の値上げ額を変化させたときの利益の最大値を求め</u> ることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。
■知識利用(5) <u>正弦定理を利用して、船の位置を求める式を立てる</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識利用(6) <u>余弦定理と三角形の性質を利用して辺の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
■知識利用(7) <u>順列の考え方を利用して、やや複雑な並び方の総数を求めることができる</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。
■知識利用(8) <u>和事象と積事象の違いを理解し、事象の確率をもれなく求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。
■知識利用(9) <u>接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 図形の性質	数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 円に関する基本的な性質について理解すること。
■知識利用(10) <u>方べきの定理を利用して、線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■応用力〔1〕(1) <u>文字定数を含む二次関数について平方完成を行い、グラフの頂点を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■応用力〔1〕(2) <u>二次関数のグラフが x 軸と共有点をもつ条件を、文字を用いて立式し、解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。
■応用力〔1〕(3) <u>二次関数の定義域内での最大値と最小値の条件から文字定数の値を決定することができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。
■応用力〔2〕(1) <u>余弦定理や三角形の面積の公式を利用して、辺の長さや三角形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■応用力〔2〕(2) <u>正弦定理や三角形の面積を利用して、辺の長さや2つの三角形の面積比を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式		イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。
■知識理解(1) <u>二次方程式の解と係数の関係が理解</u> できている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) いろいろな式	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。
■知識理解(2) <u>剰余の定理について理解</u> できている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (オ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。
■知識理解(3) <u>点と直線の距離の求め方を理解</u> することができている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と方程式	数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(4) <u>不等式の表す領域について理解</u> できている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。
■知識理解(5) <u>三角関数を含む簡単な方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(4) 三角関数	数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。
■知識理解(6) <u>三角関数を合成することが</u> できる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(7) <u>指数関数の表すグラフについて理解</u> できている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 指数関数・対数関数	数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識理解(8) <u>簡単な対数の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(9) <u>導関数と極値について理解</u> できている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(5) 微分・積分の考え	数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。
■知識理解(10) <u>関数と不定積分について理</u> <u>解</u> できている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。
■知識理解(11) <u>等差数列の和を求めること</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数列	数学B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。
■知識理解(12) <u>等比数列の定義を理解する</u> <u>ことができている。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(13) <u>いろいろな数列の和を求め</u> <u>ることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(14) <u>ベクトルの内積の値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) ベクトル	数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。
■知識理解(15) <u>二つの垂直なベクトルと内積の関係が理解できている。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(16) <u>内分点の位置ベクトルの表し方が理解できている。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。
■知識利用(1) <u>因数定理を利用して、三次方程式の解を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) いろいろな式	数学 II (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (オ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。
■知識利用(2) <u>与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と方程式	数学 II (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識利用(3) <u>三角関数のとり得る値の範囲を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択	(4) 三角関数	数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識利用(4) <u>指数関数を含む方程式の解を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 指数関数・対数関数	数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識利用(5) <u>対数を利用して、星の明るさについての関係式を立てることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	指数関数・対数関数	数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。
■知識利用(6) <u>2 つの放物線で囲まれる図形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(5) 微分・積分の考え	数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識利用(7) <u>公差が負である等差数列において和の最大を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数列	数学 B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。
■知識利用(8) <u>数列の和の式から数列の一般項を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(9) <u>ベクトルの内積の条件などをもとにベクトルの大きさを求める計算ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) ベクトル	数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。
■知識利用(10) <u>内分点の位置ベクトルの公式を利用してやや複雑なベクトルを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■応用力〔1〕(1) <u>平方完成を行い、円の中心の座標と半径を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と方程式	数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。
■応用力〔1〕(2) <u>三角形の重心の軌跡を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式		数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。
■応用力〔1〕(3) <u>円上を動く点を含む三角形の面積の最大値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■応用力〔2〕 与えられた <u>2 次関数のグラフの接線の方程式を求め、接線や放物線で囲まれた図形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】 4 問 【出題形式】 選択式	(5) 微分・積分の考え	数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■数学的表現 <u>実数解をもつような文字定数の範囲を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	(1) (1) 数と式 いろいろな式	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。
■数学的表現 <u>解と係数の関係を利用することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■数学的表現 <u>解の個数に関する条件をみたすときの文字定数の値の範囲を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式		
■数学的表現 <u>命題の真偽を判断することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学Ⅰ (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。
■数学的表現 <u>他者の考えの方針を理解して、解答を記述することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式		数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。 〔課題学習〕

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			(1)から(5)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け，生徒の主体的な学習を促し，数学のよさを認識させ，学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】10 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 10 問 【CEFR】 A1 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 ① カ 書くこと (7) 日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。
・ 文レベルで英文内容を理解し， <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】12 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 12 問 【CEFR】 A1 程度		
・ 文レベルの英文を， <u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u> することができる。	【設問数】3 問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 3 問 【CEFR】 A1 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり，その内容を表現するよう音読したりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短めのまとまりのある英文を読んで、文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度		(ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 ① カ 書くこと (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。
・短めのまとまりの説明文や会話文などを読んで、テーマや概要をとらえることができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり、その内容を表現するよう音読したりする活動。 (イ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。
・短めのまとまりの説明文、会話文、電子メール、パンフレットなどから概要や要点を読み取り、書き手の意図を把握したり、必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度		(ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある説明文，会話文，電子メール，物語などから概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 3問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】 A1 程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり，その内容を表現するよう音読したりする活動。 (イ) 日常的な話題について，簡単な表現が用いられている広告やパンフレット，予定表，手紙，電子メール，短い文章などから，自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで，イラストや写真，図表なども参考にしながら，要点を把握する活動。また，その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。
・短い会話文の内容を読み取り，会話の流れや展開を考えて再構築できる。	【設問数】 3問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】 A1 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた図表などの情報を正しく読み取り、英語で描写することができる。	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】 A1 程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 (イ) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。 (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 (エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。
・与えられた状況・情報を正しく読み取り、 <u>自分の意見を簡潔に英語で表現する</u> ことができる。	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】 A1 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて、話の概要や要点を聞き取ることができる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】 A1 程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。
・与えられた状況・情報を正しく聞き取り、書き手の意図を把握したり、必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】 A1 程度		
・まとまりのある文章を聞いて、概要や要点に加え、必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 【CEFR】 A1 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>身近な話題に関する問い</u> に即座に 応じて、 <u>「やり取り」</u> する ことができる	【設問数】4問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話 す こ と	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (7) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に 応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。 (4) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に 応答したり自ら質問し返したりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (7) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (4) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。
・ <u>身近な話題に関する英文</u> を、 発音や抑揚に注意して読みあ げ、聞き手に伝わるように「 <u>発 表</u> 」 <u>する</u> ことができる	【設問数】1問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず		
・ <u>図や表について</u> 、聞き手にそ の内容が伝わるように「 <u>発表</u> 」 <u>する</u> ことができる	【設問数】1問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず		
・ <u>図や表に関する問い</u> に即座に 応じて、「 <u>やり取り</u> 」 <u>する</u> ことが できる	【設問数】1問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1～2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し， <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 10 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3 問 英語コミュニケーション I 7 問 【CEFR】 A1 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 ① カ 書くこと (7) 日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。
・ 文レベルで英文内容を理解し， <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 12 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3 問 英語コミュニケーション I 9 問 【CEFR】 A1～A2 程度		英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルの英文を， <u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u> することができる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 英語コミュニケーションⅠ 2問 【CEFR】 A1～A2程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり，その内容を表現するよう音読したりする活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 ① カ 書くこと (ウ) 日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
・短めのまとまりのある英文を読んで，文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 英語コミュニケーションⅠ 3問 【CEFR】 A1～A2程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 短めのまとまりの説明文や会話文などを読んで，テーマや概要をとらえることができる。	【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1-(1) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3 問 【CEFR】 A1～A2 程度	読むこと	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
・ 短めのまとまりの説明文，会話文，電子メール，パンフレットなどから概要や要点を読み取り，書き手の意図を把握したり，必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1-(2) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3 問 【CEFR】 A1～A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある説明文，会話文，電子メール，物語などから概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 3 問（程度） 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1-(3) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3 問 【CEFR】 A1～A2 程度		

(様式 4)

・短い会話文や文章の内容を読み取り，会話や文章の流れや展開を考えて再構築できる。	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1-(4) 【出題数の割合】 1 年 2 回：義務教育範囲 3 問 2 年 1 回：英語コミュニケーション I 3 問 【CEFR】A1～A2 程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり，その内容を表現するよう音読したりする活動。 (イ) 日常的な話題について，簡単な表現が用いられている広告やパンフレット，予定表，手紙，電子メール，短い文章などから，自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで，イラストや写真，図表なども参考にしながら，要点を把握する活動。また，その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
---	---	-------------	--

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた図表などの情報を正しく読み取り，英語で描写することができる。	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1～A2程度	書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。
・与えられた状況・情報を正しく読み取り， <u>自分の意見を簡潔に英語で表現することができる。</u>	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1～A2程度		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて，話の概要や要点を聞き取ることができる。	【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング サンプル問題 3-(1) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3 問 【CEFR】 A1～A2 程度	聞くこと	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や放送などから必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (4) 社会的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や説明などから必要な情報を聞き取り，概要や要点を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
・与えられた状況・情報を正しく聞き取り，書き手の意図を把握したり，必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング サンプル問題 3-(2) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3 問 【CEFR】 A1～A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・ まとまりのある文章を聞いて，概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 選択式 ※リスニング サンプル問題 3-(3) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 2 問 【CEFR】 A1～A2 程度		
・ <u>身近な話題に関する問いに即座に応じて，「やり取り」することができる</u>	【設問数】 4 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4 問 【CEFR】 A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話 す こ と	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (7) 関心のある事柄について，相手からの質問に対し，その場で適切に応答したり，関連する質問をしたりして，互いに会話を継続する活動。 (4) 日常的な話題について，伝えようとする内容を整理し，自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (7) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した
・ <u>身近な話題に関する英文を，発音や抑揚に注意して読みあげ，聞き手に伝わるように「発表」することができる</u>	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1 問 【CEFR】 A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・ <u>図や表について</u> ，聞き手にその内容が伝わるように「 <u>発表</u> 」 <u>することができる</u>	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 スピーキング サンプル問題 4 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】 A1～2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		内容に基づき，読み取ったことや感じたこと，考えたことなどを伝えた上で，相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 関心のある事柄について，その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどをまと

(様式4)

・ <u>図や表に関する問いに即座に</u>応じて、「やり取り」することができる	【設問数】1問（程度） 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】A1～2程度 ※スピーキング試験は実施せず	め、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと〔やり取り〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと〔発表〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
---	---	--

(様式 4)

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 2年2回-3年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 10 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 6 問程度 英語コミュニケーションⅡ 4 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，必要に応じて，別の語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら，新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し， <u>文法を正しく使用すること</u> ができる。	【設問数】 12 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 7 問程度 英語コミュニケーションⅡ 5 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度		握する活動。また，読み取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，文章例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルの英文を， <u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u> することができる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】 A1～A2程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，必要に応じて，別の語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら，新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，文章例が示されたり，準備のための一定の時間が確保さ

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短めのまとまりのある英文を読んで，文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。	【設問数】 4 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2 問程度 英語コミュニケーションⅡ 2 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度		れたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 短めのまとまりの説明文や会話文などを読んで，テーマや概要をとらえることができる。	【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2 問程度 英語コミュニケーションⅡ 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度	読むこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，必要に応じて，別の語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら，新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，必要に応じて，別の語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら，論証文や報告文などから必要な情報を読み取り，概要や要点，詳細を把握する

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短めのまとまりの説明文，会話文，電子メール，パンフレットなどから概要や要点を読み取り，書き手の意図を把握したり，必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】 A1～A2程度		活動。また，読み取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。
・まとまりのある説明文，会話文，電子メール，物語などから概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】 A1～A2程度		英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 短い文章の内容を読み取り， 文章の流れや展開を考えて再構築できる。	【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2 問程度 英語コミュニケーションⅡ 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度		や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた図表などの情報を正しく読み取り，英語で描写することができる。	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1～A2程度	書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた状況・情報を正しく読み取り， <u>自分の意見を簡潔に英語で表現することができる。</u>	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】 A1～A2程度		英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，文章例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，文章例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，説明や討論などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて，話の概要や要点を聞き取ることができる。	【設問数】 5 問（程度） 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3 問程度 英語コミュニケーションⅡ 2 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度	聞くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や放送などから必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (4) 社会的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や説明などから必要な情報を聞き取り，概要や要点を把握する活動。また，

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・与えられた状況・情報を正しく聞き取り，書き手の意図を把握したり，必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】5問（程度） 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】A1～A2程度		聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について，必要に応じて，話される速さが調整されたり，別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら，対話やスピーチなどから必要な情報を聞き取り，話の展開や話し手の意図を把握する活動。また，聞き取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，必要に応じて，話される速さが調整されたり，別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら，説明や討論などから必要な情報を聞き取り，概要や要点，詳細を把握する活動。また，聞き取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・まとまりのある文章を聞いて，概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 5 問（程度） 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3 問程度 英語コミュニケーションⅡ 2 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度		
・身近な話題に関する問いに即座に応じて，「やり取り」することができる	【設問数】 4 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2 問程度 英語コミュニケーションⅡ 2 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で，情報や考え，気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また，やり取りした内容を整理して発表したり，文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について，使用する語句や文，やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，賛成や反対の立場から，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また，やり取りした内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して発表したり，文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表]
・身近な話題に関する英文を，発音や抑揚に注意して読みあげ，聞き手に伝わるように「発表」することができる	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式4)

・<u>図や表</u>について、聞き手にその内容が伝わるように「<u>発表</u>」<u>する</u>ことができる	【設問数】1問（程度） 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問程度 【CEFR】A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず	(ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
--	--	--

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・ <u>図や表に関する問い</u> に即座に 応じて， <u>「やり取り」</u> するこ とができる	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		(イ) 社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，発話例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，説明や討論などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 1年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、情報の扱い方を理解し、適切に使うことができる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取ることができる。</u>	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。
論理的な文章について、 <u>筆者の主張やその主張の根拠をとらえることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。
論理的な文章について、 <u>目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせたりするなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力，判断力，表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 〔思考力，判断力，表現力等〕 C 読むこと ア 文章の種類を踏まえて，論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開，表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、 <u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】 11 問（程度） 【出題形式】 選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。 イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。 ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。
古典の文章（古文）について、 <u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】 4 問（程度） 【出題形式】 選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。 イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。 ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (「思考力、判断力、表現力等」)	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 「読むこと (思考力、判断力、表現力等)」	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (思考力、判断力、表現力等)	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 1 年 2 回-2 年 1 回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>与えられた文章に即して、情報の扱い方を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の構成や論理展開を的確に把握することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
論理的な文章について、 <u>文章の内容を正確に把握することができる。また、筆者の主張やその主張の根拠をとらえることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせたりするなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】12 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式 <u>サンプル問題 1</u>	B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、 <u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u>	※漢文は 2 年 1 回のみとなります。 【設問数】14 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。	※漢文は2年1回のみとなります。 【設問数】5問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C 読むこと B 書くこと 「思考力、判断力、表現力等」	現代の国語 「思考力、判断力、表現力等」 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2	C 「読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕」	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 2 年 2 回-3 年 1 回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>与えられた文章に即して、情報の扱い方を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の構成や論理展開を的確に把握することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
論理的な文章について、 <u>文章の内容を正確に把握することができる。また、筆者の主張やその主張の根拠をとらえることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>目的や視点に応じて、複数の情報を比較・統合したり、読み取った情報を関連付け・組み合わせたりするなどして文章の主題をより深くとらえることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】12 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式	A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u>	【設問数】14 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。	【設問数】5 問（程度） 【出題形式】選択式	A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (〔思考力、判断力、表現力等〕)	現代の国語 [思考力、判断力、表現力等] B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 読むこと (思考力、判断力、表現力等)	現代の国語 [思考力、判断力、表現力等] C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (「思考力、判断力、表現力等」)	現代の国語 [思考力、判断力、表現力等] B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識利用 (1) <u>やや複雑な文字式の計算(乗除)</u> ができる。	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。
■知識利用 (2) <u>式を展開し、因数分解を行う</u> ことができる。	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A (2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
■知識利用 (3) <u>平方根を含む式で加減乗除の計算</u> ができる。	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A ((1) 正の数の平方根について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。

■知識利用 (4) <u>与えられた文章をもとに一次方程式を立式し, 解くことができる。</u>	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2A (3) 一元一次方程式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一元一次方程式を解くこと。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (イ) 一元一次方程式を具体的な場面で活用すること。
■知識利用 (5) <u>与えられた文章をもとに連立方程式を立式し, 解くことができる。</u>	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2A (2) 連立二元一次方程式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 簡単な連立二元一次方程式を解くこと。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (イ) 連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること。
■知識利用 (6) <u>与えられた文章をもとに二次方程式を立式することができる。</u>	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2A (3) 二次方程式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (イ) 二次方程式を具体的な場面で活用すること。
■知識利用 (7) <u>与えられた文章をもとに一次関数を立式することができる。</u>	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式	C 関 数	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2C (1) 一次関数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
■知識利用 (8) <u>二つの直線の交点から一次関数を決定することができる。</u>	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2C (1) 一次関数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二元一次方程式を関数を表す式とみること。

■知識利用 (9) <u>関数 $y=ax^2$ において x の変域が変化するときの y の変域を求めることができる。</u>	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2C (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
■知識利用 (10) <u>平行な直線から相似な三角形を見出し、線分の比を求めることができる。</u>	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2B (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。 (イ) 平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確かめること。
■知識利用 (11) <u>円周角の定理を用い、角度を求めることができる。</u>	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2B (2) 円周角と中心角の関係について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。
■知識利用 (12) <u>図形の相似比と体積比を理解し、図形の体積を求めることができる。</u>	【出題形式】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2B (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解すること。

■知識利用 (13) 数の書かれたカードを用いて、<u>条件を満たす場合の確率を求めることができる。</u>	【出題形式】1問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。
■知識利用 (14) 標本調査について理解し、<u>袋の中の玉の個数を推定することができる。</u>	【出題形式】1問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2D (1) 標本調査について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。
■応用力 [1] (1) <u>与えられた条件を満たすグラフを表す関数を求めることができる。</u> また、<u>求めた点を通る直線を表す関数を求めることができる。</u>	【出題形式】2問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2C (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。

■応用力〔1〕(2) 座標平面上における与えられた条件を満たす三角形の頂点の座標を求めることができる。	【出題形式】1問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 (4) 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
■応用力〔1〕(3) 座標平面上における与えられた条件を満たす三角形の頂点の座標を求めることができる。	【出題形式】1問 【出題形式】選択式		
■応用力〔2〕(1) 与えられた図と条件から相似な図形を探し、その比から線分の長さを求めることができる。	【出題形式】2問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (4) 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめること。 (ウ) 相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。 (3) 三平方の定理について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
■応用力〔2〕(2) 与えられた図に相似条件や三平方の定理を適用し、面積や線分の長さを求めることができる。	【出題形式】2問 【出題形式】選択式		

■総合力 (1) 座標平面上において与えられた条件をもとに，関数 $y=ax^2$ や三平方の定理の知識を利用して座標やグラフを表す関数を求めることができる。	【出題形式】 3 問 【出題形式】 選択式	A B C 数関と形数式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2C (1) 関数 $y=ax^2$ について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (7) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について，変化や対応の特徴を見いだし，表，式，グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2B (3) 三平方の定理について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (4) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
--	-------------------------------------	----------------------------	--

■総合力（2） <u>直線上の点を文字を用いて表し、二次方程式の解とみなして求めることができる。</u> <u>また、平行線の性質を利用して図形の面積比を求めることができる。</u>	【出題形式】3 問 【出題形式】選択式	A B C 数関と形数式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2C (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2A (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 二次方程式を具体的な場面で活用すること。 中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2B (1) 基本的な平面図形の性質について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平行線や角の性質を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらをかめ説明すること。
--	-----------------------------------	----------------------------	--

■総合力 (3) 座標平面上において<u>三角形の面積比と線分の比をもとに、点の座標を求めることができる。</u> また、<u>平行な直線によって分けられる図形の面積を、座標や線分の長さをもとに求めることができる。</u>	【出題形式】2 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2C (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。 中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2B (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (4) 基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解すること。 中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2B (1) 基本的な平面図形の性質について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 平行線や角の性質を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明すること。
--	-----------------------------------	--

■数学的表現 日常的な事象において、<u>与えられた状況を読み取り、適切な数式を表す</u>ことができる。	【設問数】 3 問 【出題形式】 短答式	A 数 と 式	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2A (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること。 (エ) 目的に応じて、簡単な式を変形すること。
■数学的表現 数学的事象において、条件から<u>文字を含む関係式をつくり予想したり、それを他の条件の場合でも成り立つかどうかを確かめたりすることを通して、考察の対象を明確に捉える</u>ことができるようにする。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1 年 2 回-2 年 1 回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識利用(1) 因数分解の公式を用いて、 <u>二つの文字を含む多項式の因数分解</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1 (1)	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■知識利用(2) 展開公式や根号を含む式の計算公式を用いて、 <u>根号を含む多項式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1 (2)		
■知識利用(3) 展開公式や根号を含む式の計算公式を用い、 <u>式の展開の工夫をして根号を含む多項式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1 (3)		
■知識利用(4) <u>与えられた文章から一次不等式を立式し、条件を満たす値を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1 (4)		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。
■知識利用(5) <u>絶対値を含む不等式を解き、条件を満たす値を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

■知識利用(6) <u>与えられた条件を満たす集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断することができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		数学Ⅰ (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。
■知識利用(7) <u>積の法則を用いて、条件を満たす整数をつくることができる場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(2) 場合の数と確率	数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。
■知識利用(8) <u>順列の考え方を用いて、条件を満たす男女の並び方を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。
■知識利用(9) <u>組合せの考え方を用いて、6人を3つの組に分ける場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		

■知識利用(10) <u>同じものを含む順列の考え方を用いて, アルファベットの並べ方を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■応用力〔1〕(1) <u>文字定数を含む等式に与えられた値を代入し, 根号を含む式として計算できる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に, 既に学習した計算の方法と関連付けて, 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■応用力〔1〕(2) <u>与えられた定数をもとに連立一次不等式を解き, 求める値の範囲を適切に表現することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。

■応用力〔1〕(3) <u>与えられた定数の値の範囲をもとに一次不等式を解き、求める値の範囲を適切に表現することができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。
■応用力〔1〕(4) <u>場合分けを行いながら連立一次不等式を解き、条件を満たす x の値が得られるときの定数の範囲を数直線等を用いて考察し、求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		数学Ⅰ (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。
■応用力〔2〕(1)(2) <u>条件に合わせて取り出す球を特定し、順列・組合せの考え方を用いて場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】2問 【出題形式】選択式	(2) 場合の数と確率	数学A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。
■応用力〔2〕(3) <u>条件を満たす場合を考え、順列・組合せの考え方を用いて場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		

■応用力〔2〕(4) <u>条件を満たすときを場合に</u> <u>分けて考察し，順列・組合せ</u> <u>の考え方をを用いて場合の数</u> <u>をもれなく求めること</u> <u>ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■総合力(1) 二つの動点の動きを把握し， <u>特定の時間において動点か</u> <u>らつくられる図形の面積を</u> <u>求めること</u> <u>ができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	$\begin{pmatrix} 3 \\ 1 \end{pmatrix}$ 二 次 関 数 と 式	数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 (イ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (イ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用すること。 (3) 二次関数 二次関数について，数学的活動を通して，その有用性を認識するとともに，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (ア) 二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。
■総合力(2) 与えられた時間の範囲にお いて， <u>二つの動点からつくら</u> <u>れる図形の面積と時間の関</u> <u>係を，一次関数や二次関数の</u> <u>式で表すこと</u> <u>ができる。</u>	【設問数】 3 問 【出題形式】 選択式		
■総合力(3) 与えられた複数の条件が，動 点のつくる図形の条件を満 たしているかどうかをもれ なく検討する。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■総合力(4) <u>導いた関数をもとに与えら</u> <u>れた条件を満たす時間を求</u> <u>める。</u> さらに，連立一次不等 式を満たす数を求めること ができる。	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式		

■数学的表現 数学的事象において、<u>与えられた状況を読み取り、条件にあてはまる 2 次方程式の解を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】短答式 サンプル問題 2 問 1	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■数学的表現 問題文で与えられた会話をもとに、解法の方針を立て、<u>式の展開やなどを利用して、無理数を 3 乗した値を求めることができる。</u>	【設問数】2 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2 問 2 問 3		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■数学的表現 問題文で与えられた会話をもとに、<u>複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する</u>	【設問数】1 問 【出題形式】記述式 サンプル問題 2 問 4		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

ことができる。		(ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 〔課題学習〕 (1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け，生徒の主体的な学習を促し，数学のよさを認識させ，学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。
■数学的表現 前設問までの思考のプロセスを理解し，異なる条件の場合にも適用させることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2 問 5	数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 2 年 2 回 - 3 年 1 回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識利用(1) 有理化や展開の公式を利用して、 <u>根号を含む多項式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■知識利用(2) <u>与えられた条件を満たす集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断</u> することができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。
■知識利用(3) <u>文字定数を含む二次関数について、グラフの頂点の条件から関数を決定</u> することができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識利用(4) <u>商品の値上げ額を変化させたときの利益の最大値を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。

■知識利用(5) <u>正弦定理を利用して、船の位置を求める式を立てることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (4) 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。
■知識利用(6) <u>余弦定理と三角形の性質を利用して辺の長さを求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
■知識利用(7) <u>順列の考え方を利用して、やや複雑な並び方の総数を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。
■知識利用(8) <u>和事象と積事象の違いを理解し、事象の確率をもれなく求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (4) 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。
■知識利用(9) <u>接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	形の性質 (1) 図	数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

■知識利用(10) <u>方べきの定理を利用して、線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 円に関する基本的な性質について理解すること。
■知識利用(1) <u>因数定理を利用して、三次方程式の解を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	な 式 (1) いろいろ	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。
■知識利用(2) <u>与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	程 式 (2) 図形と方	数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。
■知識利用(3) <u>三角関数のとり得る値の範囲を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	数 (4) 三角関	数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識利用(4) <u>指数関数を含む方程式の解を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	数 (3) ・ 対数 関数 指数関	数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

■知識利用(5) <u>対数を利用して、星の明るさについての関係式を立てることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。
■知識利用(6) <u>二つの放物線で囲まれる図形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	分 (5) の 考 え 微 分 ・ 積	数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。
■知識利用(7) <u>公差が負である等差数列において和の最大を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数 列	数学B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。
■知識利用(8) <u>数列の和の式から数列の一般項を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■知識利用(9) <u>ベクトルの内積の条件などをもとにベクトルの大きさを求める計算ができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) ベ ク ト ル	数学C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。

■知識利用(10) <u>内分点の位置ベクトルの公式を利用してやや複雑なベクトルを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。
■応用力 [1] (1) <u>余弦定理や三角形の面積の公式を利用して、辺の長さや三角形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。
■応用力 [1] (2) <u>正弦定理や三角形の面積を利用して、辺の長さや2つの三角形の面積比を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式		
■応用力 [2] (1) <u>カードを用いる組合せの確率を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。
■応用力 [2] (2) <u>カードを用いる組合せの確率を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■応用力 [2] (3) <u>与えられた条件を満たす組合せの確率を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式		

■応用力〔1〕 与えられた <u>2 次関数のグラフの接線の方程式を求め、接線や放物線で囲まれた図形の面積を求める</u>ことができる。	【設問数】4 問 【出題形式】選択式	分の 考 え 微 分 ・ 積 (5)	数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。
■応用力〔2〕(1) 与えられた条件から<u>等比数列の一般項や等差数列の公差求める</u>ことができる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式	(1) 数列	数学 B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。
■応用力〔2〕(2) <u>等差数列や等比数列を組み合わせてできる新たな数列の和</u>を求めることができる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式		数学 B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 事象から離散的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。

■総合力 <u>2 倍角の公式を利用して三角関数を 2 次関数に変形し、最大値や最小値を求めることができる。</u>	【設問数】3 問 【出題形式】選択式	(3)(2)(4) 二次関数 図形と方程式 三角関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。
■総合力(1) <u>三角関数と x 軸に平行な直線の共有点の個数や、それらの和を求めることができる。</u>	【設問数】4 問 【出題形式】選択式		数学 II (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。
■総合力(2) <u>三角関数と傾きのある直線の共有点の個数を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 II (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察すること。

■総合力(1) <u>与えられた円の方程式の中心の座標と半径と求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	$\begin{pmatrix} 2 \\ 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3 \end{pmatrix}$ 図形と方程式 二次関数	数学Ⅰ (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
■総合力(2) <u>円の半径を、a の 2 次関数として捉え、半径の最小値とそのときの a の値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■総合力(3) <u>求めた a を含む円の方方程式を a について整理し、この円が つねに通る点を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式		
■総合力(4)(5) <u>円の通過する領域を図示し、与えられた点を通るかを調べるができる。またその領域の面積を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式		
■総合力(6) <u>領域内を動く点とその他 2 点で表される線分の大きさの最小値と最大値を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式		
			数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。
			数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。

■数学的表現 <u>実数解をもつような文字定数の範囲を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	(1) いろいろな式 (1) 数と式 いろいろな式	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。
■数学的表現 <u>解と係数の関係を利用</u> することができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■数学的表現 <u>解の個数に関する条件をみたすときの文字定数の値の範囲を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式		
■数学的表現 <u>命題の真偽を判断</u> することができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学Ⅰ (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。

■数学的表現 <u>他者の考えの方針を理解して、解答を記述することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (イ) 実数の性質や等式の性質，不等式の性質などを基に，等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し，証明すること。 〔課題学習〕 (1) から (5) までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け，生徒の主体的な学習を促し，数学のよさを認識させ，学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。
--	----------------------------------	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 1年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 10問 【CEFR】A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 ① カ 書くこと (7) 日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】12問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 12問 【CEFR】A1程度		
・文レベルの英文を、 <u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u> することができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり，その内容を表現するよう音読したりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短めのまとまりのある英文を読んで，文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度		(ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 ① カ 書くこと (ウ) 日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。
・短めのまとまりの説明文や会話文などを読んで，テーマや概要をとらえることができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり，その内容を表現するよう音読したりする活動。 (イ) 日常的な話題について，簡単な表現が用いられている広告やパンフレット，予定表，手紙，電子メール，短い文章などから，自分が必要とする情報を読み取る活動。
・短めのまとまりの説明文，会話文，電子メール，パンフレットなどから概要や要点を読み取り，書き手の意図を把握したり，必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度		(ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで，イラストや写真，図表なども参考にしながら，要点を把握する活動。また，その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある説明文，会話文，電子メール，物語などから概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】 A1 程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり，その内容を表現するよう音読したりする活動。 (イ) 日常的な話題について，簡単な表現が用いられている広告やパンフレット，予定表，手紙，電子メール，短い文章などから，自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで，イラストや写真，図表なども参考にしながら，要点を把握する活動。また，その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。
・短い会話文の内容を読み取り，会話の流れや展開を考えて再構築できる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】 A1 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた <u>図表などの情報を正しく読み取り</u> ，英語で描写することができる。	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】 A1 程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 趣味や好き嫌いなど，自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 (イ) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。 (ウ) 日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 (エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき，自分の考えや気持ち，その理由などを書く活動。
・与えられた状況・情報を正しく読み取り， <u>自分の意見を簡潔に英語で表現する</u> ことができる。	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】 A1 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて，話の概要や要点を聞き取ることができる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】 A1 程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について，自然な口調で話される英語を聞いて，話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから，自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など，身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて，その内容を把握し，適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族，学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて，概要や要点を把握する活動。また，その内容を英語で説明する活動。
・与えられた状況・情報を正しく聞き取り，書き手の意図を把握したり，必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】 A1 程度		
・まとまりのある文章を聞いて，概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 【CEFR】 A1 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>身近な話題に関する問い</u> に即座に 応じて、 <u>「やり取り」</u> する ことができる	【設問数】4問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず	話す こと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと〔やり取り〕 (7) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に 応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。 (4) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に 応答したり自ら質問し返したりする活動。 ① オ 話すこと〔発表〕 (7) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (4) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。
・ <u>身近な話題に関する英文</u> を、 発音や抑揚に注意して読みあげ、 聞き手に伝わるように <u>「発表」</u> することができる	【設問数】1問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず		
・ <u>図や表について</u> 、聞き手にその 内容が伝わるように <u>「発表」</u> することができる	【設問数】1問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず		
・ <u>図や表に関する問い</u> に即座に 応じて、 <u>「やり取り」</u> する ことができる	【設問数】1問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1～2程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し， <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 10 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3 問 英語コミュニケーション I 7 問 【CEFR】 A1 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 ① カ 書くこと (7) 日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。
・ 文レベルで英文内容を理解し， <u>文法を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 12 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3 問 英語コミュニケーション I 9 問 【CEFR】 A1～A2 程度		英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルの英文を、 <u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u> することができる。	【設問数】 3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 英語コミュニケーションⅠ 2問 【CEFR】 A1～A2程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり，その内容を表現するよう音読したりする活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 ① カ 書くこと (ウ) 日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
・短めのまとまりのある英文を読んで，文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 英語コミュニケーションⅠ 3問 【CEFR】 A1～A2程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 短めのまとまりの説明文や会話文などを読んで，テーマや概要をとらえることができる。	【設問数】 4 問 (程度) 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1-(1) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 4 問 【CEFR】 A1～A2 程度	読むこと	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
・ 短めのまとまりの説明文，会話文，電子メール，パンフレットなどから概要や要点を読み取り，書き手の意図を把握したり，必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1-(2) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3 問 【CEFR】 A1～A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある説明文，会話文，電子メール，物語などから概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 3 問（程度） 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1-(3) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3 問 【CEFR】 A1～A2 程度		

(様式4)

・短い会話文や文章の内容を読み取り，会話や文章の流れや展開を考えて再構築できる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1-(4) 【出題数の割合】 1年2回：義務教育範囲 3問 2年1回：英語コミュニケーションⅠ 3問 【CEFR】A1～A2程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり，その内容を表現するよう音読したりする活動。 (イ) 日常的な話題について，簡単な表現が用いられている広告やパンフレット，予定表，手紙，電子メール，短い文章などから，自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで，イラストや写真，図表なども参考にしながら，要点を把握する活動。また，その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
---	---	-------------	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた <u>図表などの情報を正しく読み取り</u> ，英語で描写することができる。	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1～A2程度	書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。
・与えられた状況・情報を正しく読み取り， <u>自分の意見を簡潔に英語で表現する</u> ことができる。	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1～A2程度		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて，話の概要や要点を聞き取ることができる。	【設問数】 3 問（程度） 【出題形式】 選択式 ※リスニング サンプル問題 3-(1) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3 問 【CEFR】 A1～A2 程度	聞くこと	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や放送などから必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (4) 社会的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や説明などから必要な情報を聞き取り，概要や要点を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
・与えられた状況・情報を正しく聞き取り，書き手の意図を把握したり，必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】 3 問（程度） 【出題形式】 選択式 ※リスニング サンプル問題 3-(2) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 3 問 【CEFR】 A1～A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・まとまりのある文章を聞いて，概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 選択式 ※リスニング サンプル問題 3-(3) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 2 問 【CEFR】 A1～A2 程度		
・身近な話題に関する問いに即座に応じて，「やり取り」することができる	【設問数】 4 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4 問 【CEFR】 A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (7) 関心のある事柄について，相手からの質問に対し，その場で適切に応答したり，関連する質問をしたりして，互いに会話を継続する活動。
・身近な話題に関する英文を，発音や抑揚に注意して読みあげ，聞き手に伝わるように「発表」することができる	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1 問 【CEFR】 A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず		(4) 日常的な話題について，伝えようとする内容を整理し，自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (6) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき，読み取ったことや感じたこと，考えたことなどを伝えた上で，相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・<u>図や表について</u>，聞き手にその内容が伝わるように「<u>発表</u>」<u>する</u>ことができる	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 スピーキング サンプル問題 4 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】 A1～2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		し返したりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 関心のある事柄について，その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどをまとめ，簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき，自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり，自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数，出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・ <u>図や表に関する問いに即座に</u> 応じて， <u>「やり取り」</u> することができる	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】 A1～2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で，情報や考え，気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また，やり取りした内容を整理して発表したり，文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について，使用する語句や文，やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，賛成や反対の立場から，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また，やり取りした内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して発表したり，文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，発話例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について，使用する語句や文，発話例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式 4)

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート βタイプ 2年2回-3年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】 10問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 6問程度 英語コミュニケーションⅡ 4問程度 【CEFR】 A1～A2程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用すること</u> ができる。	【設問数】 12 問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 7 問程度 英語コミュニケーションⅡ 5 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度		記事や広告などから必要な情報を読み取り，文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，文章例が示されたり，準備のための一定の時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

・文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】A1～A2程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保さ
---	--	------------------	--

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短めのまとまりのある英文を読んで、文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2程度		れたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 短めのまとまりの説明文や会話文などを読んで、テーマや概要をとらえることができる。	【設問数】 5問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2程度	読むこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、論証文や報告文などから必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握する

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・短めのまとまりの説明文，会話文，電子メール，パンフレットなどから概要や要点を読み取り，書き手の意図を把握したり，必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】 3問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】 A1～A2 程度		活動。また，読み取った内容を基に考えをまとめ，話したり書いたりして伝え合う活動。
・まとまりのある説明文，会話文，電子メール，物語などから概要や要点に加え，必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 5問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2 程度		英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 短い文章の内容を読み取り、 文章の流れや展開を考えて再構築できる。	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2程度		英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた図表などの情報を正しく読み取り、 <u>英語で描写</u> することができる。	【設問数】 1 問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度	書くこと	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた状況・情報を正しく読み取り、 <u>自分の意見を簡潔に英語で表現することができる。</u>	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】 A1～A2程度		英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて、話の概要や要点を聞き取ることができる。	【設問数】 5問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2程度	聞くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
・与えられた状況・情報を正しく聞き取り、書き手の意図を把握したり、必要とする情報を推測したりすることができる。	【設問数】 5問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問程度 英語コミュニケーションⅡ 2問程度 【CEFR】 A1～A2程度		英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、話される速さが調整されたり、別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら、対話やスピーチなどから必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、話される速さが調整されたり、別の語句や文での言い換えを聞いたりしながら、説明や討論などから必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、聞き取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある文章を聞いて、概要や要点に加え、必要な細部の情報を把握することができる。	【設問数】 5 問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3 問程度 英語コミュニケーションⅡ 2 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・ <u>身近な話題に関する問いに即座に応じて、「やり取り」</u> することができる	【設問数】 4 問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2 問程度 英語コミュニケーションⅡ 2 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。
・ <u>身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように「発表」</u> することができる	【設問数】 1 問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意
・ <u>図や表について、聞き手にその内容が伝わるように「発表」</u> することができる	【設問数】 1 問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考)学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・ <u>図や表に関する問いに即座に</u>応じて、<u>「やり取り」</u>することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】A1～A2程度 ※スピーキング試験は実施せず		見や感想を伝え合ったりする活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ 1年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、語彙 (類義語・対義語、同音異義語、 多義語、抽象語の使い方など) 及び言葉のきまり(口語文法な ど)、情報の扱い方を理解し、適 切に使うことができる。	【設問数】12問(程度) 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取ることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。
論理的な文章について、 <u>筆者の主張やその主張の根拠をとらえることができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力，判断力，表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 〔思考力，判断力，表現力等〕 C 読むこと ア 文章の種類を踏まえて，論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開，表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】6 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。 イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。 ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。
古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕 〔知識及び技能〕 (3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。 イ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うこと。 ウ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (「思考力、判断力、表現力等」)	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 「思考力、判断力、表現力等」 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (思考力、判断力、表現力等)	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。 ウ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた <u>文章に即して、語彙</u> (類義語・対義語、同音異義語、 <u>多義語、抽象語の使い方など</u>) 及び <u>言葉のきまり</u> (口語文法な ど)、 <u>情報の扱い方を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】12問(程度) 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取り、要旨を把握すること</u> ができる。	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
論理的な文章について、 <u>筆者の主張やその主張の根拠をとらえること</u> ができる。	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式 <u>サンプル問題 1</u>	B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、 <u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u>	<u>※漢文は2年1回のみとなります。</u> 【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることが</u>できる。	※漢文は2年1回のみとなります。 【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C 読むこと B 書くこと (〔思考力、判断力、表現力等〕)	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2	C 「読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕」	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2	C 読むこと B 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ 2年2回-3年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた <u>文章に即して、語彙</u> (類義語・対義語、同音異義語、 <u>多義語、抽象語の使い方など</u>) 及び <u>言葉のきまり</u> (口語文法な ど)、 <u>情報の扱い方を理解し、適切に使うことができる。</u>	【設問数】12問(程度) 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、 <u>文章の内容や構成、論理展開を的確に読み取り、要旨を把握すること</u> ができる。	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。
論理的な文章について、 <u>筆者の主張やその主張の根拠をとらえることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	C 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4問（程度） 【出題形式】選択式	B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】6問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができ</u>る。	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式	A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u>	【設問数】6 問（程度） 【出題形式】選択式	〔知識及び技能〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】選択式	A 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (〔思考力、判断力、表現力等〕)	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、目的に応じて必要な情報に着目し、取捨選択して的確に取り出すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	C 読むこと (思考力、判断力、表現力等)	現代の国語 [思考力、判断力、表現力等] C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 読むこと B 書くこと (〔思考力、判断力、表現力等〕)	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1 年 1 回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(1) <u>正負の数を理解し, 簡単な計算ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2A 数と式 (1) 正の数と負の数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。 (イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。
■知識理解(2) <u>与えられた文章について文字を用いた簡単な式で表すことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2A 数と式 (2) 文字を用いた式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し, 式を用いて表したり読み取ったりすること。

■知識理解(3) <u>展開の公式を用いて簡単な多項式の展開</u>ができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A 数と式 (2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
■知識理解(4) <u>平方根について理解し、値を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A 数と式 (1) 正の数の平方根について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
■知識理解(5) <u>簡単な連立方程式を解く</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A 数と式 (2) 連立二元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 簡単な連立二元一次方程式を解くこと。

■知識理解(6) <u>因数分解を利用して二次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2A 数と式 (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。
■知識理解(7) <u>平方の形に変形して二次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2A 数と式 (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。
■知識理解(8) <u>解の公式を利用して二次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 3 学年〕 2A 数と式 (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。
■知識理解(9) <u>比例の性質が理解できている。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2C 関数 (1) 比例、反比例について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 比例、反比例について理解すること。

■知識理解(10) <u>反比例の性質が理解できている。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2C 関数 (1) 比例, 反比例について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 比例, 反比例について理解すること。
■知識理解(11) <u>二つの座標を通る直線の切片を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2C 関数 (1) 一次関数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について, 変化や対応の特徴を見いだし, 表, 式, グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
■知識理解(12) <u>関数 $y=ax^2$ のグラフについて理解</u>できている。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C 関数 (1) 関数 $y=ax^2$ について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について, 変化や対応の特徴を見いだし, 表, 式, グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
■知識理解(13) <u>球の体積を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2B 図形 (2) 空間図形について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 扇形の弧の長さや面積, 基本的な柱体や球の表面積と体積を求めること。

■知識理解(14) <u>平行線の錯角や同位角について理解し、角度を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2B 図形 (1) 基本的な平面図形の性質について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 基本的な平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明すること。
■知識理解(15) <u>合同や相似な三角形となるための条件を理解することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B 図形 (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。
■知識理解(16) <u>三平方の定理を用いて線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B 図形 (3) 三平方の定理について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (4) 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
■知識理解(17) <u>二つのさいころの出た目の数に関する確率を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D データの活用 (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (4) 簡単な場合について確率を求めること。

■知識理解(18) <u>三つの事象が起こる確率について比較</u>ができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2D データの活用 (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。
■知識理解(19) <u>箱ひげ図を読みとる</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2D データの活用 (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。
■知識理解(20) <u>複数のデータの中央値を求め</u>ることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第 1 学年〕 2D データの活用 (1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。
■知識利用(1) <u>やや複雑な文字式の計算(乗除)</u>ができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第 2 学年〕 2A 数と式 (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすること。

■知識利用(2) <u>式を展開し、因数分解を行うことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A 数と式 (2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
■知識利用(3) <u>平方根を含む式で加減乗除の計算ができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A 数と式 (1) 正の数の平方根について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。

■知識利用(4) <u>式の因数分解を用いて計算の工夫を行い、値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A 数と式 (2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
■知識利用(5) <u>与えられた文章をもとに一次方程式を立式し、解くことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2A 数と式 (3) 一元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一元一次方程式を解くこと。
■知識利用(6) <u>与えられた文章をもとに連立方程式を立式し、解くことができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A 数と式 (2) 連立二元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること。

■知識利用(7) <u>与えられた文章をもとに二次方程式を立式することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A 数と式 (3) 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 二次方程式を具体的な場面で活用すること。
■知識利用(8) <u>与えられた文章をもとに一次関数を立式することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2C 関数 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。
■知識利用(9) <u>二つの直線の交点から一次関数を決定することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2C 関数 (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二元一次方程式を関数を表す式とみること。
■知識利用(10) <u>与えられた条件から関数 $y=ax^2$ を求め、その関数上の異なる値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C 関数 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。

■知識利用(11) <u>関数 $y=ax^2$ において x の変域が変化するときの y の変域を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C 関数 (1) 関数 $y=ax^2$ について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数 $y=ax^2$ として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。
■知識利用(1) <u>平行な直線から相似な三角形を見出し、線分の比を求め</u>ることができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B 図形 (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。 (イ) 平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確かめること。
■知識利用(2) <u>与えられた図で円周角の定理を用い、角度を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2B 図形 (2) 円周角と中心角の関係について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。
■知識利用(3) <u>回転体の体積を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2B 図形 (2) 空間図形について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体や体、球の表面積と体積を求めること。

■知識利用(4) <u>くじを引く場合の確率を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D データの活用 (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な場合について確率を求めること。
■知識利用(5) 数の書かれたカードを用いて、<u>条件を満たす数となる場合の確率を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D データの活用 (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。
■知識利用(6) 標本調査について理解し、<u>袋の中の玉の個数を推定することができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式		中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2D データの活用 (1) 標本調査について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断すること。
■数学的表現 日常的な事象において、<u>与えられた状況を読み取り、適切な数式を表すことができる。</u>	【設問数】3問 【出題形式】短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A 数と式 (1) 文字を用いた式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

■数学的表現 数学的事象において、条件から<u>文字を含む関係式をつくり予想したり、それを他の条件の場合でも成り立つかどうかを確かめたりすることを通して、考察の対象を明確に捉える</u>ことができるようにする。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式		(ウ) 文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解すること。 (エ) 目的に応じて、簡単な式を変形すること。
--	--	--	---

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1 年 2 回-2 年 1 回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(1) <u>正負の数を理解し, 簡単な計算ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2A 数と式 (1) 正の数と負の数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。 (イ) 正の数と負の数の四則計算をすること。
■知識理解(2) <u>展開の公式を用いて簡単な多項式の展開ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A 数と式 (2) 簡単な多項式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
■知識理解(3) <u>展開の公式を用いて, 簡単な式の因数分解ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1(2)		
■知識理解(4) <u>平方根について理解し, 値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1(3)	数と式 (1)	数学 I (1) 数と式 数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができる

■知識理解(5) <u>根号を含む式の加法, 減法ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		よう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(6) <u>根号を含む式の計算公式を用いて, 分母の有理化ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(7) <u>不等式の性質を利用して, 簡単な一次不等式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 と。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し, 一次不等式の解を求めること。
■知識理解(8) <u>解の公式を利用して二次方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A (3) 二次方程式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 解の公式を知り, それを用いて二次方程式を解くこと。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。

■知識理解(9) <u>絶対値の性質を用いて、簡単な絶対値を含む式の計算ができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■知識理解(10) <u>集合とその表し方を理解して、簡単な和集合や共通部分が求められる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。
■知識理解(11) 与えられた<u>簡単な命題の真偽を判断できる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■知識理解(1) カードを用いて<u>条件を満たす場合の確率を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	D データの活用	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D (2) 不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解すること。
■知識理解(2) 硬貨を用いて<u>条件を満たす場合の確率を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		

■知識理解(3) さいころを用いて <u>条件を満たす場合の確率を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		(イ) 簡単な場合について確率を求めること。
■知識理解(4) 色のついた玉を用いて <u>条件を満たす場合の確率を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(5) 和の法則を用いて、 <u>場合の数を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。
■知識理解(6) 積の法則を用いて、 <u>場合の数を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(7) <u>順列の考え方と積の法則を用いて、場合の数を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(8) 組合せの考え方と <u>積の法則を用いて、場合の数を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(1) 展開の公式を用いて、 <u>二つの文字を含む多項式の展開</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	と式(1) 数	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができ

■知識利用(2) 因数分解の公式を用いて、<u>二つの文字を含む多項式の因数分解</u>ができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		るよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■知識利用(3) 展開公式や根号を含む式の計算公式を用いて、<u>根号を含む多項式の計算</u>ができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識利用(4) <u>展開公式を用いて、式の値を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

■知識利用(5) <u>与えられた式を連立一次不等式として解を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。
■知識利用(6) <u>絶対値を含む不等式を解き、条件を満たす値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■知識利用(7) <u>与えられた条件を満たす和集合や補集合に含まれる数を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■知識利用(8) <u>与えられた条件を満たす集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。

■知識利用(1) <u>積の法則を用いて, 条件を満たす整数がつくられる場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について, 数学的活動を通して, その有用性を認識するとともに, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し, 順列の総数や組合せの総数を求めること。
■知識利用(2) <u>順列の考え方をを用いて, 条件を満たす男女の並び方を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(3) <u>円順列の考え方をを用いて, 条件を満たす男女の並び方を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(4) <u>組合せの考え方をを用いて, 平行線によってつくられる平行四辺形の個数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(5) <u>組合せの考え方をを用いて, 9 人を 3 つの組に分ける場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(6) <u>同じものを含む順列の考え方をを用いて, アルファベットの並べ方を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

■数学的表現 数学的事象において、<u>与えられた状況を読み取り、条件にあてはまる 2 次方程式の解を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】短答式 サンプル問題 2 問 1	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■数学的表現 問題文で与えられた会話をもとに、解法の方針を立て、<u>式の展開やなどを利用して、無理数を 3 乗した値を求める</u>ことができる。	【設問数】2 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2 問 2 問 3	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

■数学的表現 問題文で与えられた会話をもとに、<u>複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】記述式 サンプル問題 2 問 4	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 〔課題学習〕 (1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。
■数学的表現 前設問までの思考のプロセスを理解し、<u>異なる条件の場合にも適用させることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2 問 5	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

			(イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
--	--	--	---

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 2 年 2 回 - 3 年 1 回 (複数の選択大問があるため, 受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
■知識理解(1) <u>根号を含む絶対値の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。
■知識理解(2) <u>根号を含む式の計算公式を用いて、分母の有理化</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。
■知識理解(3) <u>不等式の性質を利用して、簡単な一次不等式が解ける。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。
■知識理解(4) 与えられた <u>簡単な命題の真偽を判断</u> できる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

■知識理解(5) <u>二次関数のグラフが x 軸 y 軸方向にどのように移動したかを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識理解(6) 平方完成を利用して、 <u>二次関数の最大値と最小値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
■知識理解(7) <u>二次関数のグラフと x 軸の共有点を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。
■知識理解(8) 因数分解を利用して <u>二次不等式の解を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(9) <u>鈍角の余弦を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。

■知識理解(10) <u>正弦定理を利用して、辺の長さを求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
■知識理解(11) <u>余弦定理を利用して、辺の長さを求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■知識理解(12) <u>三角比を利用して三角形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。
■知識理解(13) <u>簡単なデータから分散を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(4) データの分析	数学 I (4) データの分析 データの分析について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。
■知識理解(14) <u>ヒストグラムや箱ひげ図の表し方を理解</u>できている。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		(4) データの分析 データの分析について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。

■知識理解(15) 順列について理解し、簡単な場合の数を求めることができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。
■知識理解(16) 組合せについて理解し、簡単な場合の数を求めることができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式		
■知識理解(17) 簡単な事象の確率を求めることができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式		(2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めること。
■知識理解(18) 色のついた玉を用いて、条件を満たす場合の確率を求めることができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式		(2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めること。
■知識理解(19) 角の二等分線と比の定理を利用して線分の長さを求めることができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(1) 図形の性質	数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 三角形に関する基本的な性質について理解すること。
■知識理解(20) メネラウスの定理を用いて、線分の長さの比を求めることができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式		

■知識理解(21) <u>円の接線と弦の作る角の定理</u> を利用して、 <u>角の大きさを求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 円に関する基本的な性質について理解すること。
■知識理解(22) <u>方べきの定理</u> を利用して、 <u>線分の長さを求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(1) 有理化や展開の公式を利用して、 <u>根号を含む多項式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。
■知識利用(2) 展開の公式を利用して、 <u>根号を含む多項式の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(3) 与えられた条件を満たす <u>集合を求め、その条件に関する命題の真偽を判断すること</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	式(1) 数と	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。
■知識利用(4) <u>文字定数を含む二次関数について、頂点の条件から関数を決定すること</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	関数(3) 二次	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

■知識利用(5) <u>文字を含む二次関数について、定義域内の最小値の条件から関数を決定することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。
■知識利用(6) <u>文字を含む二次関数について、二次方程式の二つの解の差を利用して関数を決定することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。
■知識利用(7) <u>三角形の内角の和の性質と正弦定理を利用して辺の長さを求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
■知識利用(8) <u>余弦定理と三角形の性質を利用して辺の長さを求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		

■知識利用(9) <u>公式を利用して三角形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。
■知識利用(10) <u>正弦定理と三角形の性質を利用して立体の辺の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
■知識利用(1) <u>順列の考え方を利用して、やや複雑な並び方の総数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。
■知識利用(2) <u>同じものの含む順列の総数を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(3) <u>和事象と積事象の違いを理解し、事象の確率をもれなく求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。

■知識利用(4) <u>内心の性質や角の二等分線と比の定理を用いて線分の比を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) 図形の性質	数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 三角形に関する基本的な性質について理解すること。
■知識利用(5) <u>接線と弦の作る角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学 A (1) 図形の性質 図形の性質について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 円に関する基本的な性質について理解すること。
■知識利用(6) <u>方べきの定理を利用して、線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■知識理解(1) <u>簡単な分数式の計算</u>ができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(1) いろいろな式	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること。
■知識理解(2) <u>二次方程式の解と係数の関係</u>が理解できている。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。

■知識理解(3) 剰余の定理について理解できている。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。
■知識理解(4) 公式を利用して<u>点と直線の距離を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と方程式	数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。
■知識理解(5) <u>条件を満たす円の方程式を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。
■知識理解(6) <u>不等式の表す領域について理解</u>できている。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	式(2) 図形と方程式	数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。

■知識理解(7) <u>三角関数を含む簡単な方程式を解くことができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(4) 三角関数	数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。
■知識理解(8) <u>加法定理を利用して値を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(9) <u>三角関数を合成することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(10) <u>指数関数の表すグラフについて理解できている。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(3) 指数関数・対数関数	数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識理解(11) <u>簡単な対数の計算ができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。

■知識理解(12) <u>導関数と極値について理解</u> できている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(5) 微分・積分の考え	数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。
■知識理解(13) <u>関数と不定積分について理解</u> できている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。
■知識理解(14) <u>定積分の計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(15) <u>等差数列の和を求めること</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) 数列	(1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。
■知識理解(16) <u>等比数列の和を求めること</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識理解(17) <u>いろいろな数列の和を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。
■知識理解(18) <u>階差数列の特定の項を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		

■知識理解(19) <u>ベクトルの成分表示での計算</u> ができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) ベクトル	数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。
■知識理解(20) <u>ベクトルの内積の値を求め</u> ることができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。
■知識理解(21) <u>二つの垂直なベクトルと内積の関係が理解</u> できている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。
■知識理解(22) <u>内分点の位置ベクトルの表</u> <u>し方が理解</u> できている。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 C (1) ベクトル ベクトルについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。
■知識利用(1) <u>解と係数の関係と因数分解</u> <u>の公式を利用して式の値を</u> <u>求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) いろいろな式	数学 II (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。

■知識利用(2) <u>因数定理を利用して, 三次方程式の解を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 因数定理について理解し, 簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。
■知識利用(3) <u>因数定理を利用して, 多項式の割り算の余りを求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		
■知識利用(4) <u>三点を通る円の方程式を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(2) 図形と方程式	数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について, 数学的活動を通して, その有用性を認識するとともに, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。
■知識利用(5) <u>与えられた条件を満たす点の軌跡を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について, 数学的活動を通して, その有用性を認識するとともに, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, それを方程式を用いて表現し, 図形の性質や位置関係について考察すること。
■知識利用(6) <u>三角関数のとり得る値の範囲を求める</u>ことができる。	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	数(4) 三角関	数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について, 数学的活動を通して, その有用性を認識するとともに, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。

■知識利用(7) <u>指数関数を含む方程式の解を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(3) 指数関数・対数関数	数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識利用(8) <u>対数関数を含む方程式の解を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学Ⅱ (3) 指数関数・対数関数 指数関数及び対数関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。
■知識利用(9) <u>三次関数の最大値と最小値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	(5) 微分・積分の考え	数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。
■知識利用(10) <u>2 つの放物線で囲まれた図形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式		数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え 微分と積分の考えについて、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。
■知識利用(1) <u>公差が負である等差数列において和の最大を求めることができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】選択式	列(1) 数	数学 B (1) 数列 数列について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

■知識利用(2) <u>数列の和の式から数列の一般項を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (ア) 事象から離散的な変化を見だし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。
■知識利用(3) <u>Σを利用してさまざまな数列の和を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(4) <u>ベクトルの内積の条件などをもとにベクトルの大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	(1) ベクトル	数学 C (1) ベクトル ベクトルについて，数学的活動を通して，その有用性を認識するとともに，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (ア) 実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察すること。
■知識利用(5) <u>ベクトルの垂直条件をもとにベクトルの成分を決定できる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		
■知識利用(6) <u>内分点の位置ベクトルの公式を利用してやや複雑なベクトルを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式		数学 C (1) ベクトル ベクトルについて，数学的活動を通して，その有用性を認識するとともに，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解すること。

■数学的表現 <u>実数解をもつような文字定数の範囲を求める</u>ことができる。	【設問数】1問 【出題形式】短答式	(1) いろいろな式 (1) 数と式	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。
■数学的表現 <u>解と係数の関係を利用</u>することができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式		数学Ⅰ ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。
■数学的表現 <u>解の個数に関する条件をみたすときの文字定数の値の範囲を求める</u>ことができる。	【設問数】1問 【出題形式】短答式		数学Ⅰ ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。
■数学的表現 <u>命題の真偽を判断</u>することができる。	【設問数】1問 【出題形式】選択式		数学Ⅰ (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。

■数学的表現 <u>他者の考えの方針を理解して、解答を記述することができる。</u>	【設問数】1 問 【出題形式】記述式	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。 〔課題学習〕 (1) から (5) までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。
--	----------------------------------	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年1回-1年2回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用する</u> ことができる。	【設問数】8問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 1年1回 義務教育範囲 8問 1年2回 義務教育範囲 3問 英語コミュニケーションⅠ 5問 【CEFR】A1程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 ① カ 書くこと (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (フ) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用すること</u> ができる。	【設問数】 9 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 1 年 1 回 義務教育範囲 9 問 1 年 2 回 義務教育範囲 3 問 英語 コミュニケーション I 6 問 【CEFR】 A1 程度		① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルの英文を、 <u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u> することができる。	【設問数】 3~7 問（程度） 【出題形式】 選択式（整序） 【出題数の割合】 1 年 1 回 義務教育範囲　7 問 1 年 2 回 義務教育範囲　1 問 英語コミュニケーション I　2 問 【CEFR】 A1 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領　外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①　ウ　読むこと (㍿) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ，物語などを読んで概要を把握する活動。 ①　カ　書くこと (㍿) 趣味や好き嫌いなど，自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ①　ウ　読むこと (㍿) 日常的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ①　カ　書くこと (㍿) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある会話や手紙、物語などを読んで、 <u>テーマや概要をとらえる</u> ことができる。	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 選択式 サンプル問題1 【出題数の割合】 1年1回 義務教育範囲 2問 1年2回 義務教育範囲 1問 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。
・まとまりのある説明文、会話文、電子メール、物語などから概要や要点に加え、 <u>必要な細部の情報を把握する</u> ことができる。	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 1年1回 義務教育範囲 2問 1年2回 義務教育範囲 1問 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1程度		英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた図表などの情報を正しく読み取り、英語で描写することができる。	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題2 【出題数の割合】 1年1回:義務教育範囲 1問 1年2回:英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1程度	書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (7) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 (4) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。 (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 (エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (4) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
・与えられた状況・情報を正しく読み取り、 <u>自分の意見を簡潔に英語で表現する</u> ことができる。	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 1年1回:義務教育範囲 1問 1年2回:英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・会話や説明文を聞いて、その <u>場面や状況、内容を聞き取ること</u> ができる。	【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング サンプル問題3 【出題数の割合】 1年1回：義務教育範囲 5問 1年2回：義務教育範囲 3問 英語コミュニケーションⅠ 2問 【CEFR】A1程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>身近な話題に関する問いに即座に応じて、「やり取り」することができる</u>	【設問数】4問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】義務教育範囲 4問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (7) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。 (4) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (5) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (7) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (4) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (5) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自
・ <u>身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように「発表」することができる</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】義務教育範囲 1問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず		
・ <u>図や表について、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができる</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】スピーキング <u>サンプル問題 4</u> 【出題数の割合】1年1回：義務教育範囲 1問 1年2回：英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR レベル】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>図や表に関する問い</u> に即座に応じて、「やり取り」することができる	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 1年1回：義務教育範囲 1問 1年2回：英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1程度 ※スピーキング試験は実施せず		分の考えや気持ちなどを話したりする活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 2年1回-2年2回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】8問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 2年1回 義務教育範囲2問 英語コミュニケーションⅠ 6問 2年2回 英語コミュニケーションⅠ 6問 英語コミュニケーションⅡ 2問 【CEFR】A1程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 ① カ 書くこと (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握す

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用すること</u> ができる。	【設問数】9 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 2 年 1 回 義務教育範囲 3 問 英語コミュニケーションⅠ 6 問 2 年 2 回 英語コミュニケーションⅠ 6 問 英語コミュニケーションⅡ 4 問 【CEFR】A1~A2 程度		る活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

・文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 2年1回 義務教育範囲 1問 英語コミュニケーションⅠ 2問 2年2回 英語コミュニケーションⅠ 2問 英語コミュニケーションⅡ 1問 【CEFR】A1~A2 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 ① カ 書くこと (フ) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (フ) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (フ) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
---	--	------------------	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 短めのまとまりのある英文を読んで、文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 2 年 1 回 義務教育範囲 1 問 英語コミュニケーション I 1 問 2 年 2 回 英語コミュニケーション I 1 問 英語コミュニケーション II 1 問 【CEFR】 A1～A2 程度	読むこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。 (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある会話や、文章の説明や物語などを読んで、 <u>テーマや概要をとらえること</u> ができる。	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 2年1回 義務教育範囲 1問 英語コミュニケーションⅠ 1問 2年2回 英語コミュニケーションⅠ 1問 英語コミュニケーションⅡ 1問 【CEFR】 A1~A2 程度		英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (7) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、論文や報告文などから必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。
・まとまりのある説明文、会話文、電子メール、物語などから概要や要点に加え、 <u>必要な細部の情報を把握すること</u> ができる。	【設問数】 2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 2年1回 義務教育範囲 1問 英語コミュニケーションⅠ 1問 2年2回 英語コミュニケーションⅠ 1問 英語コミュニケーションⅡ 1問 【CEFR】 A1~A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた図表などの <u>情報を正しく読み取り、英語で描写することができる。</u>	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1~A2 程度	書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
・与えられた状況・情報を正しく読み取り、 <u>自分の意見を簡潔に英語で表現することができる。</u>	【設問数】 1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】 A1~A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 会話や説明文を聞いて、その <u>場面や状況、内容を聞き取るこ とができる。</u>	【設問数】5 問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 5 問 【CEFR】A1～A2 程 度	聞くこと	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (4) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・身近な話題に関する問いに即座に応じて、「やり取り」することができる	【設問数】4問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】義務教育範囲 4問 【CEFR】A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (7) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。 (4) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (7) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (4) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。
・身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように「発表」することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】義務教育範囲 1問 【CEFR】A1 程度 ※スピーキング試験は実施せず		
・図や表について、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】英語コミュニケーション I 1問 【CEFR】A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>図や表に関する問い</u> に即座に応じて、「やり取り」することができる	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 2年2回-3年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで英文内容を理解し、 <u>英語語彙を正しく使用</u> することができる。	【設問数】8問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 6問 英語コミュニケーションⅡ 2問 【CEFR】A1程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 文レベルで英文内容を理解し、 <u>文法を正しく使用すること</u> ができる。	【設問数】9問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 6問 英語コミュニケーションⅡ 4問 【CEFR】A1~A2程度		英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

・文レベルの英文を、<u>正しい文法・語彙・語法知識から再構築</u>することができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問 英語コミュニケーションⅡ 1問 【CEFR】A1~A2 程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ｱ) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ｱ) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ｱ) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ｱ) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
---	--	------------------	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 短めのまとまりのある英文を読んで、文と文のつながりや文脈に合わせた語彙・文法を活用することができる。	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1 問 英語コミュニケーションⅡ 1 問 【CEFR】 A1～A2 程度	読むこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・まとまりのある会話や、文章の説明や物語などを読んで、 <u>テーマや概要をとらえること</u> ができる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 英語コミュニケーションⅡ 1問 【CEFR】A1～A2程度		握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、論証文や報告文などから必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。
・まとまりのある説明文、会話文、電子メール、物語などから概要や要点に加え、 <u>必要な細部の情報を把握することが</u> できる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 英語コミュニケーションⅡ 1問 【CEFR】A1～A2程度		
・与えられた図表などの <u>情報を正しく読み取り、英語で描写することが</u> できる。	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】A1～A2程度	書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた状況・情報を正しく読み取り、 <u>自分の意見を簡潔に英語で表現することができ</u> る。	【設問数】1問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1問程度 【CEFR】A1～A2 程度		想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 英語コミュニケーションⅡ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (イ) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ 会話や説明文を聞いて、その <u>場面や状況、内容を聞き取るこ とができる。</u>	【設問数】 5 問 (程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3 問 英語コミュニケーションⅡ 2 問 【CEFR】 A1～A2 程 度	聞くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (7) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (4) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>身近な話題に関する問いに即座に応じて、「やり取り」することができる</u>	【設問数】 4 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2 問程度 英語コミュニケーションⅡ 2 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (4) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。
・ <u>身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように「発表」することができる</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式 4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>図や表について</u> 、聞き手にその内容が伝わるように「 <u>発表</u> 」 <u>することができる</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		① オ 話すこと [発表] (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (4) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 英語コミュニケーション II 2 内容

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>図や表に関する問い</u> に即座に応じて、「やり取り」することができる	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1 問程度 【CEFR】 A1～A2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (4) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (7) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (4) 社会的な話題について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	言語文化																											
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情及び展開、主題・要旨などを表現に即して読み取ることができる力を測定する。																											
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○	問四		○	問五		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																										
問一		○																										
問二		○																										
問三		○																										
問四		○																										
問五		○																										
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四	○			問五	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																									
問一	○																											
問二	○																											
問三	○																											
問四	○																											
問五	○																											

古文・読解

この問題は、古文読解の方法とその内容把握について、学力を確認します。

大問番号 5 次の文章は「一休ばなし」の一節である。当時
とんちで世間に知られていた僧である一休が、行き合わせた山伏
や旅人たちと連れ立って歩いていると、向こうから大きな犬が吠
えてきた。本文はそれに続く場面である。これを読んで、後の各
問い(問一〜五)に答えよ。

山伏申すやう、「いかに御坊、あの恐ろしき犬の怒りをやめて、
ただ今これへ呼び寄する法力をあらはさんが、御僧はいかに」と
申しける。一休、「これはいとやすき事なり。先づいのりて見た
まへ。もし来らずは、我等にまかせたまへ」とのたまへば、山伏
大いらたかの赤木の数珠を、さらりさらりとおし揉んで、一いの
りこそ祈りけるが、一切犬は吠えやまず。手元へ来る念もなかり
ければ、縦さまや横さまかけて十文字、「犬の喉とめよ、あびら
うんけん、そわかそわか」と言へども、犬は吠えやまず。一休を
かしく思しめし、「そこをきたまへ。それほどのことに、あびら

もうんけんも、そわかも要る事にてはあらず。あの犬の怒りをや
め、たちまちここへ来らせん」と、横より登壇の焼き飯取り出
だし、かの犬に一目見せて「ころころころ」とのたまへば、さし
も怒れる犬なれど、焼き飯一目見てしより、くんくんくんと尾
を振りて来りければ、山伏も肝を潰す。みな人、「さても格別な
る心得かな」と、感に堪へてぞ別れけるとなり。

- 1 山伏——山中で修行をする修験道の行者
- 2 御坊——僧の敬称で「お坊様」の意。ここでは一休のこと。一
休は室町時代の臨済宗大徳寺派の僧
- 3 いらたか——そろばん玉のように、平たく角のたった玉の数珠
のこと。
- 4 念——思い。気持ち。
- 5 あびらうんけん、そわか——「阿比羅幡(あひらぼん)欠蘇婆(くそは)」。大日如来
に祈るときに真言の呪文。
- 6 焼き飯——焼きおにぎり。
- 7 ころころころ——犬を呼ぶときの呼び声。

問一 二重傍線部ア・イの動作主の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

38。

- | | | | | |
|---|---|----|---|----|
| ① | ア | 一休 | イ | 犬 |
| ② | ア | 山伏 | イ | 犬 |
| ③ | ア | 一休 | イ | 山伏 |
| ④ | ア | 山伏 | イ | 山伏 |

問二 傍線部A「御僧はいかに」とあるが、このときの山伏の心情の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は

39。

- ① 自分の方が知恵において優れているということを見せつけて、一休の鼻を明かしてやろうという思い。
- ② 一休の法力と自分が修得した法力との力比べをして、自分の法力を見せつけようという思い。
- ③ このような場面において一休なら果たしてどのような法力を使うものか、探りを入れようという思い。
- ④ 世間知られていて有名な一休の法力を、どうにかして自分も見てみたいという思い。

問三 傍線部B「一休をかくしく思しめし」とあるが、このときの

一休の心情の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 解答番号は 40。

- ① 犬を吠えやませる程度のこと、必要以上に仰々しく真言の呪文を使っている山伏の信心深さを興味深く思っている。
- ② 自分の法力が一休よりも優れているものと信じ込み、得意になって呪文を唱えている山伏を哀れに思っている。
- ③ 山伏が必死に呪文を唱えているにもかかわらず、犬がまったく耳を貸さずに吠え続けていることを不思議に思っている。
- ④ 犬を吠えやませる法力の効果が現れずやっきになり、大げさに真言の呪文まで唱える山伏の姿を滑稽に思っている。

問四 傍線部C「感に堪へてぞ別れける」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～④のうち

から一つ選べ。 解答番号は 41。

- ① 法力を使うことにこだわらず、現実的な方法で即座に犬を手なずけてしまった一休の臨機応変で柔軟な考え方に大いに感心したから。
- ② 一見焼きおにぎりによって犬を手なずけたように見えて、実際は功德くどくによって犬を降伏させた一休の徳の高さに驚きおののいたから。
- ③ 山伏に恥をかかせまいと正面から法力で勝負することを避け、あえて邪道とも思える方法をとった一休の優しさに感動したから。
- ④ 野蠻な犬にまったく気後れせず、法力が効かないことがわかるとすぐに焼きおにぎりで犬の怒りを鎮めた一休の豪胆さに感服したから。

問五 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一

つ選べ。解答番号は 42。

- ① 一休は山伏の申し出を快く受け入れるふりをして、まず先に山伏に祈禱^{きとく}をさせて犬の弱点を見定めようと考えた。
- ② 山伏は懸命に祈ったが、犬は山伏に法力のないことを知っていたので、吠えるのをまったくやめようとしなかった。
- ③ 犬は一休が取り出した焼きおにぎりを一目見るなり吠えるのをやめ、しっぽを振って一休のところに寄ってきた。
- ④ 吠え続けていた犬が一転してすっかり懐いてしまったのを見た山伏は、一休の法力の強大さを思い知って驚嘆した。

解答例

問一 4
問二 2
問三 4
問四 1
問五 3

(参考)学習指導要領 の関連項目	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力，判断力，表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価すること。
-----------------------------	--

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	現代の国語																		
出題のポイント	複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。																		
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
問一		○																	
問二		○																	
問三		○																	
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二			○	問三			○
小問番号	選択式	短答式	記述式																
問一	○																		
問二			○																
問三			○																

国語

国語の解答時間は20分です。早く終わっても他の教科を解答してはいけません。

1 大海高等学校の生徒会では、学校生活の向上につなげていくために、生徒の要望を聞く意見箱を設置している。次の【会話文】は、意見箱を開けた生徒会メンバーの会話である。後に示す【資料①】～【資料④】を踏まえて、後の各問いに答えよ。

【会話文】

秋山 遅れてごめんなさい。意見箱の投書、何通あった？

井口 全部で八二通でした。「通学」というテーマを設定していたので、投書しやすかったんだと思います。

秋山 内容の内訳は？

井口 【資料①】です。駅から学校までの通学方法にはバスと徒歩とがありますが、それぞれの悩みがあるようです。最も多かったバスの件から検討しましょう。

宇野 僕は徒歩では間に合わず遅刻しそうなときにたまにバスに乗りますが、たしかにいつも混んでいます。

江原 そうなの？ 私はいつも徒歩だからわからないけど、乗り切れないほど混んでいるの？

宇野 さすがに乘れないと遅刻になるので、何とかぎゅうぎゅうになって乗っている感じですね。一台に最大六十人くらいでしようか。

大石 私はいつもバスだけど、早めの時間に来るバスは空いてい

るよ。

秋山 実際、どれくらいの生徒がバスに乗っているのだろう。何かデータはある？

井口 以前に学校生活アンケートで調べましたよ。ありました、【資料②】です。

全員 (資料を回覧する)

江原 始業時間に間に合う時間帯の午前7時～午前8時までの間にバスは合計五本来るから、大石さんのような人だけなら、ぜんぜん混雑しないことになるね。

大石 バスを混雑させているのは、宇野さん①のような人でしょう。宇野 たしかに、そうかもしれません。

井口 「いつも混んでいる」というのはその人の勝手な思い込みで、実際にはすべてのバスが混んでいるわけではないようです。だとすると増便のお願いをするのは難しいと思います。

秋山 この件については、次の生徒会報に、バスの利用状況の説明と、「時間に余裕をもって登校しましょう」というメッセージを載せることにします。次に通学路の件はどうかな？

江原 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望もあるけど、通学路とされている幹線道路ルートを使うと五分以上余計にかかるから、近道になる住宅街ルートを通る人たちの気持ちもわかります。

大石 でも、ちゃんと「校則」(【資料③】)に書いてあるのだから、守らないと。

宇野 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望を解決するためには、そもそも現在の通学路に不満をもって近道になる住宅街ルートを通る生徒もいるという実態を踏まえる」と「登下校の通学路を変える」ということが根本的な解決になると思います。生徒の実態に沿った通学路に設定することで、通学路を守らない生徒もいなくなるのではないのでしょうか。江原 「通学路を変える」となると、通学路に関する校則を改正する必要があるのではないのでしょうか。そうすると、生徒集会を開いて投票することになりますね。

井口 いや、通学路を変更するために、^③校則を変える必要はないと思いますよ。

秋山 私も、校則を変えなくても通学路を変えられると思う。

江原 そういえば、私には十歳上の兄がいて、この高校の卒業生ですが、当時は住宅街ルートを通っちゃいけないなんて決まりはなかったって言っていましたよ。

宇野 十年以内のことなら、『大海高校新聞』のバックナンバーが電子化されているから、このパソコンですぐに調べられますよ。

秋山 そうなの？　じゃあ「通学路」で検索してみて。

宇野 あ、たぶんこれ（資料④）ですね。七年前の記事です。大石 ほんとだ。この記事を読むと「通学時間が五分短くなる」

だけでは通学路の見直しを求める正当な理由にならないのでは？　それに通学路を守らないひとたちのために通学路を変更するというのもおかしい話だと思えます。

江原 そうだね。じゃあ通学路も現状通りがよいかと思えます。通学路を守らない生徒への注意喚起を行っていくことにしましょう。次は工事の件ですね。

秋山 私も工事は気になっていたけど、あそこには何ができるの？

大石 大型商業施設。半年後に開業だそうです。

宇野 開業するのが楽しみです。

江原 でも、半年間はけっこう不便ですね。工事車両の出入りはちょうど登校時間と重なっており、この投書の人たちみたいに危ないと感じている人も多いと思います。

大石 だからって、さすがに工事の時間を変えてくださいとは言えないでしょう。

宇野 それなら工事期間中だけは、通学路を変えたほうがいいのではないのでしょうか？　これは正当な理由になると思います。

江原 そうですね、それで先生たちに提案してみませんか。

秋山 まあ、それなら説得力はありそうですね。ただ、提案は生徒の要望を代表するものだから、どのくらいの人が賛成してくれるか、投票でなくてもいいから調べる必要があるね。

井口 では、来週のホームルームでアンケートを行って、生徒の賛否を調べます。通学路の見直しに賛成する生徒が多ければ、具体的に先生方への提案書をまとめることにしましょう。

秋山 もし提案することになった場合に向けて、生徒会も生徒に対して取り組めることがないかを【資料④】の内容に基づいて話し合っておきましょう。

(意見箱 集計結果)

今月のテーマ「通学」に寄せられた意見
(同様の内容のものは同じ内容として扱い、まとめて集計してあります)

投書の内容	投書数
駅から学校までのバスがいつも混んでいてつらい。バスの便を増やしてほしい。	27
学校から指定された通学路が遠回りで不便。近道(住宅街を通り抜けるルート)も認めてほしい。	23
通学路のそばで工事が始まったが、工事用車両の出入り口などで危険や不便を感じている。対策を考えてほしい。	17
通学路がわかりにくい。入学時にプリントを配布するだけでは忘れてしまう。ポスターや看板で掲示してほしい。	5
通学路を守らない人がたまにいますが、注意する人がいない。通学路を守るよう指導を徹底してほしい。	3
その他(「通学」以外に対する意見)	7

(大海高校 学校生活アンケートより)

質問：駅から学校までの通学手段は何ですか？(全校生徒を対象)

	1年生	2年生	3年生	合計
a いつも徒歩	110	98	92	300
b 徒歩が多いが、たまにバス	20	24	22	66
c 徒歩・バス同じ程度使う	15	18	16	49
d バスが多いが、たまに徒歩	15	14	22	51
e いつもバス	20	26	28	74
合計	180	180	180	540

質問：バスを利用する理由は何ですか？(b～eを選んだ生徒が対象)

〔自由回答。()内の数字は同様の内容を回答した生徒の人数〕

徒歩だと間に合わない(56) ・ 通学路が不便(24)
 天気の悪い日だけバスを利用(32) ・ 友達もバス通学(15)
 病気、けが(13) ・ その他(7)

【資料③】

校則より

〔登下校について〕

- ・生徒は登校時刻・下校時刻を厳守すること。
- ・駅から本校までの自転車通学は認めない。ただし、自宅から最寄り駅までの自転車利用は差し支えない。自動車・オートバイなどの利用はいずれも禁止する。
- ・登下校の際は制服をきちんと着用し、地域の方の迷惑にならないようにするなど、本校生徒としての品位を保つよう心がけること。
- ・登下校の際は指定された通学路を利用し、正当な理由なく通学路から外れないこと。
- ・登下校の途中、喫茶店・飲食店・ゲームセンター等に立ち寄ってはいけない。

〔改正について〕

- ・生徒集会で全校生徒の三分の二の賛成を得、かつ職員会議の承認が得られた場合は、本校則を改正することができる。

【資料④】

通学路改定

住宅街ルートは通行禁止

二月末に行われた職員会議で通学路の改定が話し合われ、住宅街を通り抜けるルートの利用は今後禁止し、幹線道路沿いのルートのみを認めることが決定された。変更は四月の新学期から適用される。

住宅街ルートでは生徒の通学マナーの悪さ（大声で騒ぐ、広がって歩道を塞ぐ・ゴミをポイ捨てする）などが以前から問題視されており、住民の苦情が無視できないレベルに達したためという。

幹線道路ルートは住宅街ルートに比べ五〇％ほど遠回りになるため、生徒には不満の声が広がっている。

【川内先生（生徒指導部長）のコメント】

「学校には地域の信頼が不可欠なので、理解してほしい。今後、住宅街を通る生徒は校則違反として指導する。幹線道路ルートは交通量が多く、信号無視などは極めて危険なので、通学ルール順守も同時に求めていく。」

（相川）

国語

問一 傍線部①「宇野さんのような人」とはどのような人か。【会話文】と【資料②】からわかることとして、最も適当なものを次の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

ア

- 1 バスに乗ることが多く、歩くことをめんどろがる人。
- 2 いつもバスに乗っていて、徒歩の通学路を知らない人。
- 3 ふだんは徒歩なので、バスの利用方法を知らない人。
- 4 ふだんは徒歩だが、遅れそうときだけバスに乗る人。

問二 傍線部②「校則を変える必要はないと思いますよ」とあるが、そのように考える理由を【会話文】と【資料③】に基づいて二〇字以内で書け。

【記述】あ

※解答欄には、設問で指定された文字数に従って解答を記入してください。句読点も一字に数えます。

20	
	10

問三 この会話の後で全校生徒にアンケートを行ったところ通学

路の変更について賛成の意見が多かったので、生徒会は提案書を提出することにした。その提案書はどのような内容で書くのがよいか。次の条件を満たすように書け。

【記述】い

〔条件1〕【会話文】と【資料④】を参考にして、二文に分けて六〇字以内で書くこと。

(条件2) 一文目は提案の主旨を述べ、末尾は「～てほしい。」とする。二文目にはそのために生徒会がどのような努力をするかを書くこと。

(条件3) 宛名やあいさつの言葉などは不要。提案の内容を簡潔に書くこと。

※解答欄には、設問で指定された文字数に従って解答を記入してください。句読点も一字に数えます。

[illegible]

これで国語の問題は終わりです。数学の解答は先生の指示に従って開始してください。

解答例	問一 4 問二 (例) 具体的な通学路は校則に書いていないから。(20 字) 問三 (例) 安全のため、工事の終了までの間、住宅街を通る道を通学路として認めてほしい。生徒会でも生徒に通学マナーの向上を呼びかける。(60 字)
(参考) 学 習 指 導 要 領 の 関 連 項 目	現代の国語 〔思考力, 判断力, 表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう, 論理の展開, 情報の分量や重要度などを考えて, 文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう, 根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに, 文章の種類や, 文体, 語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めること。

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	数学 I																							
出題のポイント	定理・公式や数学的性質などの知識・技能の理解を測定する。																							
主として問う能力	<table><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td></tr></table>				番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○		(3)	○		(4)	○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
(4)	○																							
出題形式	<table><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○			(4)	○		
番号	選択式	短答式	記述式																					
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
(4)	○																							
サンプル問題	(1) $xy^3(x^3y)^2 = \boxed{\text{ア}}$ である。 ① x^6y^6 ② x^7y^5 ③ x^9y^6 ④ $x^{10}y^5$ (2) $3x^2 - 5x - 12 = \boxed{\text{イ}}$ である。 ① $(x - 3)(3x + 4)$ ② $(x + 3)(3x - 4)$ ③ $(x - 6)(3x + 2)$ ④ $(x + 6)(3x - 2)$ (3) $\sqrt{(-9)^2} = \boxed{\text{ウ}}$ である。 ① -9 ② 9 ③ ± 9 ④ 81 (4) $3 - \sqrt{10} = \boxed{\text{エ}}$ である。 ① $-3 - \sqrt{10}$ ② $3 - \sqrt{10}$ ③ $-3 + \sqrt{10}$ ④ $3 + \sqrt{10}$																							

解答例	(1) 指数法則 (数と式) $a^m a^n = a^{m+n}, (a^m)^n = a^{mn}, (ab)^n = a^n b^n$ (ただし, m, n は正の整数) (2) 因数分解 (数と式) $acx^2 + (ad+bc)x + bd = (ax+b)(cx+d)$ a, b, c, d をつけるためには, $\begin{array}{ccc} a & & b \\ c & \times & d \\ \hline ac & bd & ad+bc \end{array}$ (x^2 の係数) (定数項) (x の係数) たすきがけを利用するとよい。 (3) 平方根 (数と式) a を実数とする。 $\begin{cases} a \geq 0 \text{ のとき, } \sqrt{a^2} = a \\ a < 0 \text{ のとき, } \sqrt{a^2} = -a \end{cases}$ まとめると, $\sqrt{a^2} = a$ (4) 絶対値 (数と式) a を実数とする。 $\begin{cases} a \geq 0 \text{ のとき, } a = a \\ a < 0 \text{ のとき, } a = -a \end{cases}$
------------	--

(1) ②

$$\begin{aligned} & xy^3(x^3y)^2 \\ &= xy^3(x^3)^2y^2 \\ &= xy^3x^{3 \times 2}y^2 \\ &= x^{1+6}y^{3+2} = x^7y^5 \end{aligned}$$

(2) ①

$$\begin{aligned} & 3x^2 - 5x - 12 \\ &= (x-3)(3x+4) \end{aligned}$$

$$\begin{array}{ccc} 1 & & -3 \\ 3 & \times & 4 \\ \hline 3 & -12 & -9 \end{array}$$

(x^2 の係数) (定数項) (x の係数)

(3) ②

$$\sqrt{(-9)^2} = -(-9) = 9$$

または,

$$\sqrt{(-9)^2} = |-9| = 9$$

としてもよい。

(4) ③

$$\begin{aligned} 3 &= \sqrt{3^2} = \sqrt{9} \\ \sqrt{9} &< \sqrt{10} \text{ より,} \\ 3 - \sqrt{10} &< 0 \end{aligned}$$

よって,

$$\begin{aligned} & |3 - \sqrt{10}| \\ &= -(3 - \sqrt{10}) \\ &= -3 + \sqrt{10} \end{aligned}$$

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回
対象教科:数学
測定内容の区分:標準タイプ
サンプル問題番号:2

出題科目	数学 I																											
出題のポイント	日常的な事象において、複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する力を測定する。																											
主として問う能力	<table><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 4</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td></tr></table>				番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問 1		○	問 2		○	問 3		○	問 4		○	問 5		○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																										
問 1		○																										
問 2		○																										
問 3		○																										
問 4		○																										
問 5		○																										
出題形式	<table><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 4</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				番号	選択式	短答式	記述式	問 1		○		問 2		○		問 3		○		問 4			○	問 5		○	
番号	選択式	短答式	記述式																									
問 1		○																										
問 2		○																										
問 3		○																										
問 4			○																									
問 5		○																										
サンプル問題	ある日、太郎さん、花子さんのクラスでは、次のような宿題が出された。 【宿題】 2 次方程式 $x^2-2x-1=0$ の大きい方の解を a とするとき、a^3 の値を求めよ。 この宿題についての 2 人の会話を読み、下の各問いに答えよ。 太郎：$x^2-2x-1=0$ だから、解の公式を用いればいいね。大きい方の解だから、 $a = \boxed{\text{ア}}$ だね。 花子：a^3 の値を求めるためには $a = \boxed{\text{ア}}$ を 3 乗すればいいね。$(x+y)^3$ を展開すると $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y) = (x^2+2xy+y^2)(x+y) = \boxed{\text{イ}}$ となるね。この式を利用すると、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$ だね。 太郎：これで答えは出るけれども、先生が次のような解き方を教えて下さったのを覚えているよ。 【解き方】 ----- a は $x^2-2x-1=0$ の解であるから、$a^2-2a-1=0$ が成り立つ。 $a^2=2a+1$ となるので $a^3=a^2 \cdot a$ $= (2a+1) \cdot a$ $= 2a^2+a$ $= 2(2a+1)+a$ $= 5a+2$ よって、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$ 花子：そうか、この解き方を使えば a の次数が高くなっても計算は複雑にならないね。																											

	先生と同じように解けば、$a =$ ア のとき、例えば a^5 は あ と、a の 1 次式の形で表されるから、a^5 の値も簡単に求めることができるね。 太郎：【宿題】は、$x^2-2x-1=0$ の大きい方の解の累乗の値について考えたけど、 ①小さい方の解の累乗の値についてはどうなるのかな？ 問 1 ア に当てはまる数を答えよ。 問 2 イ に当てはまる式を答えよ。 問 3 ウ に当てはまる数を答えよ。 問 4 あ に、a^5 を a の 1 次式で表す過程を記述せよ。 問 5 下線部①について、2 次方程式 $x^2-2x-1=0$ の小さい方の解を b とおくと、b^5 の値を求めよ。 エ
解答例	問 1 2 次方程式 $x^2-2x-1=0$ について、解の公式により $x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 1 \cdot (-1)}}{1} = 1 \pm \sqrt{2}$ 2 つの解のうち、大きい方が a であるから $a = 1 + \sqrt{2}$ 問 2 $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y)$ $= (x^2 + 2xy + y^2)(x+y)$ $= x^3 + x^2y + 2x^2y + 2xy^2 + xy^2 + y^3$ $= x^3 + 3x^2y + 3xy^2 + y^3$ 問 3 $a = 1 + \sqrt{2}$ のとき、a^3 の値は、問 2 の式で、$x = 1$, $y = \sqrt{2}$ として $(1 + \sqrt{2})^3 = 1^3 + 3 \times 1^2 \times \sqrt{2} + 3 \times 1 \times (\sqrt{2})^2 + (\sqrt{2})^3$ $= 1 + 3\sqrt{2} + 6 + 2\sqrt{2}$ $= 7 + 5\sqrt{2}$ 問 4 a は 2 次方程式 $x^2-2x-1=0$ の解であるから、 $a^2-2a-1=0$ が成り立つ。 したがって、a は $a^2=2a+1$ を満たす。 また、【解き方】の計算から、$a^3=5a+2$ と表されることに着目すると $a^5 = a^3 \times a^2$ $= (5a+2)(2a+1)$ $= 10a^2 + 9a + 2$ $= 10(2a+1) + 9a + 2$ $= 29a + 12$ したがって、a^5 も a の 1 次式で表すことができる。 〔問 4 の別解〕 $a^4 = a^3 \times a$ $= (5a+2) \times a$ $= 5a^2 + 2a$ $= 5(2a+1) + 2a$ $= 12a + 5$ $a^5 = a^4 \times a$ $= (12a+5) \times a$ $= 12a^2 + 5a$ $= 12(2a+1) + 5a$ $= 29a + 12$ ポイント 2 次方程式 $ax^2+2b'x+c=0$ の解は $x = \frac{-b' \pm \sqrt{b'^2 - ac}}{a}$ ねらい 与えられた考え方を理解し、他の場合にも活用できるかどうかを問うた。 ポイント a^3 を a の 1 次式で表したものを 用いることで、効率よく計算ができる。 a^2 が現れたら $2a+1$ に置き換えて計算をする。

	問5 $x^2-2x-1=0$ の小さい方の解を b とおくと、問1の解答の計算から $b=1-\sqrt{2}$ b は $b^2-2b-1=0$ を満たすから、問4と同様にして $b^5=29b+12$ と、b^5 を b の1次式で表すことができる。 よって、$b=1-\sqrt{2}$ のとき、b^5 の値は $\begin{aligned} b^5 &= 29b+12 \\ &= 29(1-\sqrt{2})+12 \\ &= 41-29\sqrt{2} \end{aligned}$	ポイント b も $x^2-2x-1=0$ の解であるから、a と同じ関係式を満たすことに着目する。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 〔課題学習〕 (1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。	

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	英語コミュニケーション I																												
出題のポイント	ある程度の長さの説明文、会話文、電子メール、パンフレットなどを読み、そのポイントが理解できているか、要旨をまとめることができるかを測定する。																												
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(1)</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>(2)</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>(3)</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>(4)</td><td></td><td>○</td></tr> </tbody> </table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)		○	(2)		○	(3)		○	(4)		○										
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																											
(1)		○																											
(2)		○																											
(3)		○																											
(4)		○																											
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○			(4)	○							
小問番号	選択式	短答式	記述式																										
(1)	○																												
(2)	○																												
(3)	○																												
(4)	○																												
主として問う技能 (英語のみ)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>(1)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(2)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(3)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>(4)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)		○			(2)		○			(3)		○			(4)		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く																									
(1)		○																											
(2)		○																											
(3)		○																											
(4)		○																											
サンプル問題	(1) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。 Do you know *cricket is popular in the UK? You may be surprised to find that the sport is more popular there than baseball. It is often said that the first cricket game was played in Kent, England, in 1301. Cricket became popular in southeastern England during the 17th century. In the 18th century, it became a national sport of the UK. In 1975, the first cricket World Cup was held, and now it is played by a great number of people in a lot of countries in the world. 注) *cricket=クリケット(11人のチーム2組でバットとボールを用いる戸外の球技) Which is the best *title for this *passage? 10 注) *title=タイトル *passage=文の1節 ① The History of Cricket ② Cricket Is Popular in the UK ③ Many People Play Cricket ④ Cricket Is More Popular than Baseball																												

(2) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

To: Kathy Winston

From: Anne Christopher

Subject: Surprise birthday party

Dear Kathy,

How have you been ? I want to tell you about the surprise birthday party for my older sister. We are going to decorate her room like a forest. Can you come dressed as some kind of animal? There is no need to make too much effort. Something simple will be fine. For example, use a mask to cover your face or make animal ears.

What does Anne ask Kathy to do?

- ① Wear an animal accessory. ② Bring her pet to the party.
③ Learn about an animal. ④ Perform as an animal in a contest.

(3) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

In Japan, there are a lot of ideas about books. Some people believe that they have to read many books, and others believe they don't have to. The first type of person thinks, through reading, we grow wise and clever. The second type thinks we can learn everything using the Internet, so we don't have to read books.

Do you know there are three types of reading? The first one is done to grow wise and clever. By reading books written by wise people or leaders, we can think about a lot of things. Through this activity, we grow wise and clever.

The second one is done to learn a lot of things. If you want to know something, you can open a book about it. The book will tell you about it, but you may think you don't have to read the book to know that. You can use a smartphone or a computer to do the same thing.

The last one is done to have fun through reading. Picture books and fiction stories can show you interesting, funny, and exciting things. The fun we get through reading is different from the fun we get over the Internet.

According to the passage, which is true about reading and books?

- ① If you want to know about something, you have to read some books.
② Through reading books, you can grow wise and clever.
③ The Internet will help you find some information, but it may not be true.
④ You have the same fun on the Internet as the fun you get through reading.

	(4) 次の A～D は並べかえると二人の交互の会話になる。以下の①～⑥のうちから正しい並べ方を一つ選べ。 A: I called you several times this morning. B: That's OK. What time do we have to meet tomorrow morning? C: The meeting time is at eight. Don't be late. D: Sorry, I was watching TV. ① A→B→D→C ② A→C→B→D ③ A→D→B→C ④ C→A→B→D ⑤ C→B→A→D ⑥ C→D→A→B
解答例	(1) 1 (2) 1 (3) 2 (4) 3 文章の概要・要点を把握できているか、書き手の意図を読み取れているか、文章の詳細や展開を把握できているかがポイント。
(参考) 学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	英語コミュニケーション I													
出題のポイント	立場を明確にして、英語で自分の意見を理由とともに述べることを測定する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	—		○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	—			○					
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—			○											
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	—				○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—				○										
サンプル問題	あなたは映画を映画館で見るのと家で見るのでは、どちらが好きですか。理由とともに 20 語程度の英語で答えなさい。													
解答例	・ I go to the movie theater rather than watch movies at home because the screen is wider and the sound system is better.(23 words) ・ I prefer watching movies at home to going to the theater because I can watch movies whenever I want to.(20 words) 自分の意見を立案し、意見と理由の整合性も考えて書くことがポイント。													
(参考) 学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。													

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：英語

測定内容の区分：標準タイプ

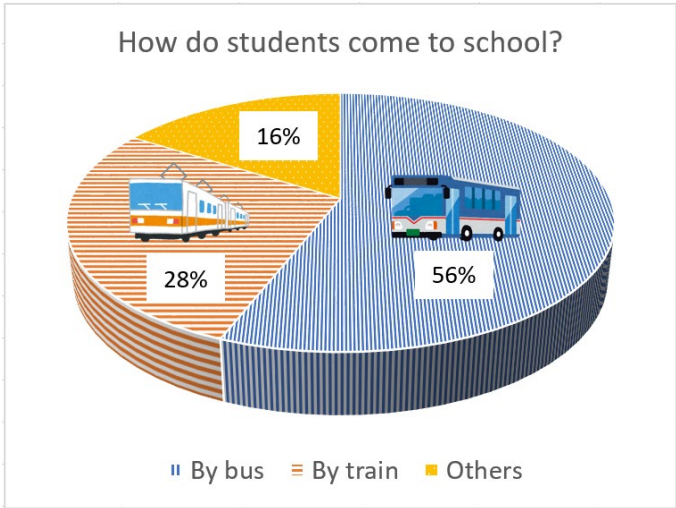
サンプル問題番号：3

出題科目	英語コミュニケーション I																								
出題のポイント	英文を聞いて状況を理解し、会話文または説明文の流れを把握できるかを測定する。																								
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="3">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td colspan="3"></td></tr></table>					小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			(1)	○				(2)	○				(3)	○			
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																							
(1)	○																								
(2)	○																								
(3)	○																								
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td colspan="2">記述式</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>					小問番号	選択式	短答式	記述式		(1)	○				(2)	○				(3)	○			
小問番号	選択式	短答式	記述式																						
(1)	○																								
(2)	○																								
(3)	○																								
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)	○				(2)	○				(3)	○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く																					
(1)	○																								
(2)	○																								
(3)	○																								
サンプル問題	それぞれの問いについて英文を聞き、答えとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つずつ選べ。なお、英文は一回ずつ読まれる。 (1) Where is the speaker now ? (2) How does the speaker feel about the culture of bookstores in Japan? ① Happy ② Sad ③ Shocked ④ Angry (3) What time should you be at the circus? ① 3:45 p.m. ② 3:50 p.m. ③ 4:00 p.m. ④ 4:15 p.m.																								

	【放送文】 (1) This hotel is huge! I just want to go back to my room but I've got lost. From reception, I went straight with the tennis court on my left. I saw a pond and turned right. Now I can see a garden on my left. (2) When I travel abroad, I wonder why some cities have no large bookstores. Even in big cities, like London or New York, it is difficult to find big ones. There may be a few small ones, but they don't have a lot of books. It's great that there are always large bookstores in Japan, and it shows that Japanese people understand the importance of books. I like Japan's bookstore culture. Japanese people can get a lot of books anywhere. (3) Here is your ticket for the circus. All the information you need is written here, but just to remind you, the show starts at 4 p.m. I recommend coming 15 minutes before that as it gets crowded. Your seat is 17A and you enter at gate B.
解答例	(1) ④ (2) ① (3) ① 必要な情報を正確に聞き取ることがポイント。
(参考) 学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や放送などから必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や説明などから必要な情報を聞き取り，概要や要点を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名：スタディーサポート α タイプ 1年2回-2年1回
 対象教科：英語
 測定内容の区分：標準タイプ
 サンプル問題番号：4

出題科目	英語コミュニケーション I			
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。			
主として問う能力	小問番号 —	知識・技能	思考力・判断力・表現力等 ○	
出題形式	小問番号 —	選択式	短答式	記述式 ○
主として問う技能（英語のみ）	小問番号 —	聞く	読む	話す ○
サンプル問題	（下記の問題は、「話すこと」（発表）に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。） 以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは 30 秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。  How do students come to school? 56% 28% 16% By bus By train Others			
解答例	解答例：At this school, students come to school more by bus than train. 解説：グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。			
（参考）学習指導要	英語コミュニケーション I 2 内容			

領の関連 項目	(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① オ 話すこと〔発表〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，発話例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。
--------------------	---

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	言語文化																											
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情及び展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。																											
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○	問四		○	問五		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																										
問一		○																										
問二		○																										
問三		○																										
問四		○																										
問五		○																										
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四	○			問五	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																									
問一	○																											
問二	○																											
問三	○																											
問四	○																											
問五	○																											

古文・読解

この問題は、古文読解の方法とその内容把握について、学力を確認します。

大問番号 **5** 次の文章を読んで、後の各問い(問一〜五)に答えよ。

(注1) 一休和尚いっしゅうおしょうの庵いは近きあたりに、四十雀(注2)を愛して飼ひける者ありしが、生ある者なれば、死する期ありて、籠の内にむなしくなれり。朝夕手馴れし可愛かあひさに、ことのほか不憫ふびんにおぼえ、いとかなしくて、子に別れたる思ひをなせり。

「およそ非情無心の物だにも、おのおの仏性(注3)を具せり。まして、いはんや生ある物をや。死出の山、三途さんづの河、冥途めいづの闇いかが有らん。しかるべき智者ちしやをたのみて、引導渡さばや」と思ひ、一休の庵にたづね入りて、然々の事、頼み申したき由嘆きければ、折ふし和尚の弟子出で会ひ、「いとやすき事なり。いでいで成仏得させん」とて、仏前に向かはせ、足下に引導渡しける。

むかし釈尊(注5)八十三、跋提河(注6)に於いて涅槃(注7)に入る。今なんぢ

四十から、むらさきの野(注8)に成仏を遂ぐと高らかにこそ授けける。かの者頼もしく思ひ、やがて葬りて帰りぬ。

これを一休物ごしに聞こしめし、「ただ今の引導は、よくでかしたる小僧かな。風骨(注9)による」と思しめし、大きに喜ばせ給ひ、機嫌の良き事なのめならず。

(「一休ばなし」による)

- (注) 1 一休和尚——一休宗純。室町時代の臨済宗大徳寺派の僧。知恵や見識のある僧として有名。
- 2 四十雀——スズメ目シジュウカラ科の鳥。
- 3 仏性——死んでこの世に未練を残さず仏となる(成仏する)ことのできる性質。
- 4 引導——死者を葬る前に仏教の教えなどを説き、迷うことのないように極楽浄土へ導くこと。
- 5 釈尊——釈迦の尊称。
- 6 跋提河——古代インドの川の名前。釈迦がこの川の西岸で入滅した(亡くなった)ことで知られる。
- 7 涅槃——釈迦が入滅する(亡くなる)こと。
- 8 むらさきの野——紫野のこと。紫野は大徳寺のある京都の地名。
- 9 風骨——姿や様子や精神などの独特の趣。風格。

サンプル問題

■設問

問一 二重傍線部ア～ウの主語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 解答番号は 38。

- ① ア 四十雀 イ 一休の弟子 ウ 四十雀の飼い主
- ② ア 四十雀の飼い主 イ 一休和尚 ウ 一休和尚
- ③ ア 四十雀 イ 一休の弟子 ウ 一休和尚
- ④ ア 四十雀の飼い主 イ 一休和尚 ウ 四十雀の飼い主

問二 傍線部 A 「いはんや生ある物をや」とあるが、どういうことを言っているのか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 解答番号は 39。

- ① 情緒を解さない人や動物でさえも成仏はできるが、命があっても四十雀のような感情のない動物は果たして成仏できるのだろうかということ。
- ② 人らしい感情などなくても無欲の者であれば成仏することができるのならば、籠で飼われていた四十雀はもちろん成仏できるはずだということ。
- ③ 心というものをもたない器物などは成仏できるはずもないが、命ある生き物である四十雀ならば場合によっては成仏することもあるだろうということ。
- ④ 心を解さず生き物ではないようなものであっても成仏することができるのだから、命のある四十雀ならば当然成仏することができるということ。

問三 傍線部B「一休の庵にたづね入りて」とあるが、なぜその

ようにしたのか。その理由として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 40。

① 四十雀の靈魂が成仏できないようではかわいそうなので、高名な一休に頼んで十分な供養^{くよう}をしてやるため。

② 死んで成仏できずに迷ってしまっている四十雀の苦しみを感じ、一休に頼んで引導を渡してもらうため。

③ 四十雀のように人の心を解さないものにも引導を渡すことができるという、一休の弟子のところに連れて行くため。

④ 四十雀のことを飼い主同様とてもかわいがっていた一休に、浄土に導いて靈魂を慰めてもらうため。

問四 傍線部C「機嫌の良き事なのめならず」とあるが、それは

なぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～④の

うちから一つ選べ。解答番号は 41。

① 弟子が四十雀の飼い主を口先でうまく丸め込んで満足させたことを小気味よく思ったから。

② 弟子が要領よく立ち回ったことで自分が四十雀の飼い主の相手をしなくてすんで安心したから。

③ その場で得意即妙な言い回しを考えて四十雀に立派に引導を渡した弟子の機転に感心したから。

④ 四十雀にまるで人間に対するかのように立派に引導を渡した弟子の優しさを好ましく思ったから。

問五 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 42。

① 四十雀の飼い主は、ふさわしい人脈を頼って一休に引導を渡すことを頼みたいと願ったが、実際に一休と会うことはできなかった。

② 我が子同然にかわいがっていた四十雀に死なれた飼い主は、何とか成仏させてやろうと思い、高名な一休に引導を渡してもらおうと考えた。

③ 弟子思いの一休は、四十雀に引導を渡すというのはなかなか難しいことだがよい修行になると思い、その役割を弟子に譲ることにした。

④ 一休は、弟子が四十雀に引導を渡す場面を物陰から見ていて、その弟子の引導の内容が風雅であることを大いに褒めて飼い主を喜ばせた。

解答例

問一 1
問二 4
問三 1
問四 3
問五 2

(参考)学習指導要領 の関連項目	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力，判断力，表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価すること。
-----------------------------	--

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出 題 科 目	現代の国語			
出題のポイント	複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。			
主として問う能力				
	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	
	問一		○	
	問二		○	
出 題 形 式				
	小問番号	選択式	短答式	記述式
	問一	○		
	問二			○
	問三			○

国語

国語の解答時間は20分です。早く終わっても他の教科を解答してはいけません。

1 大海高等学校の生徒会では、学校生活の向上につなげていくために、生徒の要望を聞く意見箱を設置している。次の【会話文】は、意見箱を開けた生徒会メンバーの会話である。後に示す【資料①】～【資料④】を踏まえて、後の各問いに答えよ。

【会話文】

秋山 遅れてごめんなさい。意見箱の投書、何通あった？

井口 全部で八二通でした。「通学」というテーマを設定していたので、投書しやすかったんだと思います。

秋山 内容の内訳は？

井口 【資料①】です。駅から学校までの通学方法にはバスと徒歩とがありますが、それぞれの悩みがあるようです。最も多かったバスの件から検討しましょう。

宇野 僕は徒歩では間に合わず遅刻しそうなときにたまにバスに乗りますが、たしかにいつも混んでいます。

江原 そうなの？ 私はいつも徒歩だからわからないけど、乗り切れないほど混んでいるの？

宇野 さすがに乘れないと遅刻になるので、何とかぎゅうぎゅうになって乗っている感じですね。一台に最大六十人くらいでしょうか。

大石 私はいつもバスだけど、早めの時間に来るバスは空いてい

るよ。

秋山 実際、どれくらいの生徒がバスに乗っているのだろう。何かデータはある？

井口 以前に学校生活アンケートで調べましたよ。ありました、【資料②】です。

全員（資料を回覧する）

江原 始業時間に間に合う時間帯の午前7時～午前8時までの間にバスは合計五本来るから、大石さんのような人だけなら、ぜんぜん混雑しないことになるね。

大石 バスを混雑させているのは、宇野さんのような人でしょう。宇野 たしかに、そうかもしれません。

井口 「いつも混んでいる」というのはその人の勝手な思い込みで、実際にはすべてのバスが混んでいるわけではないようです。そうですね。だとすると増便のお願いをするのは難しいと思います。

秋山 この件については、次の生徒会報に、バスの利用状況の説明と、「時間に余裕をもって登校しましょう」というメッセージを載せることにします。次に通学路の件はどうか？

江原 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望もあるけど、通学路とされている幹線道路ルートを使うと五分钟左右の余計にかかるから、近道になる住宅街ルートを通る人たちの気持ちもわかります。

大石 でも、ちゃんと「校則」（資料③）に書いてあるのだから、守らないと。

サンプル
問題

■設問

宇野 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望を解決するためには、そもそも現在の通学路に不満をもって近道になる住宅街ルートを通る生徒もいるという実態を踏まえる」と「登下校の通学路を変える」ということが根本的な解決になると思います。生徒の実態に沿った通学路に設定することで、通学路を守らない生徒もいなくなるのではないのでしょうか。江原 「通学路を変える」となると、通学路に関する校則を改正する必要があるのではないのでしょうか。そうすると、生徒集会を開いて投票することになりますね。

井口 いや、通学路を変更するために、校則を変える必要はないと思いますよ。

秋山 私も、校則を変えなくても通学路を変えられると思う。

江原 そういえば、私には十歳上の兄がいて、この高校の卒業生ですが、当時は住宅街ルートを通っちゃいけないなんて決まりはなかったって言っていましたよ。

宇野 十年以内のことなら、『大海高校新聞』のバックナンバーが電子化されているから、このパソコンですぐに調べられますよ。

秋山 そうなの？　じゃあ「通学路」で検索してみて。

宇野 あ、たぶんこれ（資料④）ですね。七年前の記事です。大石 ほんとだ。この記事を読むと「通学時間が五分短くなる」

だけでは通学路の見直しを求める正当な理由にならないのでは？　それに通学路を守らないひとたちのために通学路を変更するというのもおかしい話だと思います。

江原 そうだね。じゃあ通学路も現状通りがよいかと思えます。通学路を守らない生徒への注意喚起を行っていくことにしましょう。次は工事の件ですね。

秋山 私も工事は気になってはいたけど、あそこには何ができるの？

大石 大型商業施設。半年後に開業だそうです。

宇野 開業するのが楽しみです。

江原 でも、半年間はけっこう不便ですね。工事車両の出入りはちょうど登校時間と重なっており、この投書の人たちみたいに危ないと感じている人も多いと思います。

大石 だからって、さすがに工事の時間を変えてくださいとは言えないでしょう。

宇野 それなら工事期間中だけは、通学路を変えたほうがいいのではないのでしょうか？　これは正当な理由になると思います。

江原 そうですね、それで先生たちに提案してみませんか。

秋山 まあ、それなら説得力はありそうですね。ただ、提案は生徒の要望を代表するものだから、どのくらいの人が賛成してくれるか、投票でなくてもいいから調べる必要があるね。

井口 では、来週のホームルームでアンケートを行って、生徒の賛否を調べます。通学路の見直しに賛成する生徒が多ければ、具体的に先生方への提案書をまとめることにしましょう。

秋山 もし提案することになった場合に向けて、生徒会も生徒に対して取り組めることがないかを【資料④】の内容に基づいて話し合っておきましょう。

(意見箱 集計結果)

今月のテーマ「通学」に寄せられた意見
(同様の内容のものは同じ内容として扱い、まとめて集計してあります)

投書の内容	投書数
駅から学校までのバスがいつも混んでいてつらい。バスの便を増やしてほしい。	27
学校から指定された通学路が遠回りで不便。近道(住宅街を通り抜けるルート)も認めてほしい。	23
通学路のそばで工事が始まったが、工事用車両の出入り口などで危険や不便を感じている。対策を考えてほしい。	17
通学路がわかりにくい。入学時にプリントを配布するだけでは忘れてしまう。ポスターや看板で掲示してほしい。	5
通学路を守らない人がたまにいますが、注意する人がいない。通学路を守るよう指導を徹底してほしい。	3
その他(「通学」以外に対する意見)	7

(大海高校 学校生活アンケートより)

質問：駅から学校までの通学手段は何ですか？(全校生徒を対象)

	1年生	2年生	3年生	合計
a いつも徒歩	110	98	92	300
b 徒歩が多いが、たまにバス	20	24	22	66
c 徒歩・バス同じ程度使う	15	18	16	49
d バスが多いが、たまに徒歩	15	14	22	51
e いつもバス	20	26	28	74
合計	180	180	180	540

質問：バスを利用する理由は何ですか？(b～eを選んだ生徒が対象)

〔自由回答。()内の数字は同様の内容を回答した生徒の人数〕

徒歩だと間に合わない(56) ・ 通学路が不便(24)
 天気の悪い日だけバスを利用(32) ・ 友達もバス通学(15)
 病気、けが(13) ・ その他(7)

【資料③】

校則より

〔登下校について〕

- ・生徒は登校時刻・下校時刻を厳守すること。
- ・駅から本校までの自転車通学は認めない。ただし、自宅から最寄り駅までの自転車利用は差し支えない。自動車・オートバイなどの利用はいずれも禁止する。
- ・登下校の際は制服をきちんと着用し、地域の方の迷惑にならないようにするなど、本校生徒としての品位を保つよう心がけること。
- ・登下校の際は指定された通学路を利用し、正当な理由なく通学路から外れないこと。
- ・登下校の途中、喫茶店・飲食店・ゲームセンター等に立ち寄りてはいけない。

〔改正について〕

- ・生徒集会で全校生徒の三分の二の賛成を得、かつ職員会議の承認が得られた場合は、本校則を改正することができる。

【資料④】

通学路改定

住宅街ルートは通行禁止

二月末に行われた職員会議で通学路の改定が話し合われ、住宅街を通り抜けるルートの利用は今後禁止し、幹線道路沿いのルートのみを認めることが決定された。変更は四月の新学期から適用される。

住宅街ルートでは生徒の通学マナーの悪さ（大声で騒ぐ、広がって歩道を塞ぐ・ゴミをポイ捨てする）などが以前から問題視されており、住民の苦情が無視できないレベルに達したためという。

幹線道路ルートは住宅街ルートに比べ五〇％ほど遠回りになるため、生徒には不満の声が広がっている。
【川内先生（生徒指導部長）のコメント】

「学校には地域の信頼が不可欠なので、理解してほしい。今後、住宅街を通る生徒は校則違反として指導する。幹線道路ルートは交通量が多く、信号無視などは極めて危険なので、通学ルール順守も同時に求めていく」。
（相川）

国語

問一 傍線部①「宇野さんのような人」とはどのような人か。【会話文】と【資料②】からわかることとして、最も適当なものを次の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

ア

- 1 バスに乗ることが多く、歩くことをめんどろがる人。
- 2 いつもバスに乗っていて、徒歩の通学路を知らない人。
- 3 ふだんは徒歩なので、バスの利用方法を知らない人。
- 4 ふだんは徒歩だが、遅れそうときだけバスに乗る人。

問二 傍線部②「校則を変える必要はないと思いますよ」とあるが、そのように考える理由を【会話文】と【資料③】に基づいて二〇字以内で書け。

【記述】あ

※解答欄には、設問で指定された文字数に従って解答を記入してください。句読点も一字に数えます。

20	
	10

問三 この会話の後で全校生徒にアンケートを行ったところ通学

路の変更について賛成の意見が多かったので、生徒会は提案書を提出することにした。その提案書はどのような内容で書くのがよいか。次の条件を満たすように書け。

【記述】い

〔条件1〕【会話文】と【資料④】を参考にして、二文に分けて六〇字以内で書くこと。

(条件2)一文目は提案の主旨を述べ、末尾は「一てほしい。」とする。二文目にはそのために生徒会がどのような努力をするかを書くこと。

(条件3) 宛名やあいさつの言葉などは不要。提案の内容を簡潔に書くこと。

※解答欄には、設問で指定された字数に従って解答を記入してください。句読点も一字に数えます。

[illegible]

これで国語の問題は終わりです。数学の解答は先生の指示に従って開始してください。

解答例

問一 4

問二 (例) 具体的な通学路は校則に書いていないから。(20 字)

問三 (例) 安全のため、工事の終了までの間、住宅街を通る道を通学路として認めてほしい。生徒会でも生徒に通学マナーの向上を呼びかける。(60 字)

(参考) 学習指導要領の関連項目	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。
--------------------------------	---

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	数学 I																							
出題の ポイント	習得した数学の知識・技能を活用できるかを測定する。																							
主として 問う能力	<table><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td></tr></table>				番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○		(3)	○		(4)	○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
(4)	○																							
出題形式	<table><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○			(4)	○		
番号	選択式	短答式	記述式																					
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
(4)	○																							
サンプル 問題	(1) $x^2+16x+64-49y^2=(x+\boxed{\text{ア}}y+\boxed{\text{イ}})(x-\boxed{\text{ウ}}y+\boxed{\text{エ}})$ である。 (2) $x=\sqrt{3}+2\sqrt{2}$, $y=\sqrt{3}-2\sqrt{2}$ のとき, $x^2-xy+y^2=\boxed{\text{オカ}}$ である。 (3) $(\sqrt{6}+\sqrt{3}+2)(\sqrt{6}-\sqrt{3}+2)=\boxed{\text{キ}}+\boxed{\text{ク}}\sqrt{\boxed{\text{ケ}}}$ である。 (4) ある整数 x を 3 倍した数に, x から 5 を引いて 8 倍した数を加えた数が, 0 以上 50 以下であるような整数 x は全部で $\boxed{\text{コ}}$ 個ある。																							

解答例	(1) 因数分解 (数と式) $\begin{aligned} & x^2+16x+64-49y^2 \\ &= (x+8)^2-(7y)^2 \\ &= (x+8+7y)(x+8-7y) \\ &= (x+7y+8)(x-7y+8) \end{aligned}$ (2) 対称式の計算 (数と式) $\begin{aligned} x+y &= (\sqrt{3}+2\sqrt{2})+(\sqrt{3}-2\sqrt{2}) \\ &= 2\sqrt{3} \\ xy &= (\sqrt{3}+2\sqrt{2})(\sqrt{3}-2\sqrt{2}) \\ &= (\sqrt{3})^2-(2\sqrt{2})^2 \\ &= 3-8 \\ &= -5 \end{aligned}$ よって $\begin{aligned} x^2-xy+y^2 &= (x+y)^2-3xy \\ &= (2\sqrt{3})^2-3\cdot(-5) \\ &= 12+15=27 \end{aligned}$ (3) 無理数の計算 (数と式) $\begin{aligned} & (\sqrt{6}+\sqrt{3}+2)(\sqrt{6}-\sqrt{3}+2) \\ &= \{(\sqrt{6}+2)+\sqrt{3}\}\{(\sqrt{6}+2)-\sqrt{3}\} \\ &= (\sqrt{6}+2)^2-(\sqrt{3})^2 \\ &= (\sqrt{6})^2+2\cdot\sqrt{6}\cdot 2+2^2-3 \\ &= 7+4\sqrt{6} \end{aligned}$ (4) 1次不等式 (数と式) $\begin{aligned} 0 &\leq 3x+8(x-5) \leq 50 \\ 0 &\leq 11x-40 \leq 50 \\ 40 &\leq 11x \leq 90 \\ \frac{40}{11} &\leq x \leq \frac{90}{11} \end{aligned}$ ここで, $\frac{40}{11}=3.63\cdots$, $\frac{90}{11}=8.18\cdots$ であるから, これを満たす整数 x は, 4, 5, 6, 7, 8 の全部で5個ある。	◀ $x+8=A$, $7y=B$ とおくと, A^2-B^2 の形になっている。 ◀ x^2-xy+y^2 を和 $x+y$ と積 xy だけで表す。 $x^2+y^2=(x+y)^2-2xy$ ◀ $A=\sqrt{6}+2$, $B=\sqrt{3}$ とおくと, $(A+B)(A-B)$ の形になっている。 ◀ $A \leq B$ ならば $A+C \leq B+C$ であるから, $0+40 \leq 11x-40+40 \leq 50+40$
(参考)学習指導要領の関連項目	(1), (2), (3) 数学 I (1) 数と式 数と式について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 ㇿ 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。 ㇾ 問題を解決する際に, 既に学習した計算の方法と関連付けて, 式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 (4) 数学 I (1) 数と式	

	数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，一次不等式を問題解決に活用すること。
--	--

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回
対象教科:数学
測定内容の区分:標準タイプ
サンプル問題番号:2

出題科目	数学 I																											
出題のポイント	日常的な事象において、複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する力を測定する。																											
主として問う能力	<table><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 4</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td></tr></table>				番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問 1		○	問 2		○	問 3		○	問 4		○	問 5		○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																										
問 1		○																										
問 2		○																										
問 3		○																										
問 4		○																										
問 5		○																										
出題形式	<table><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 4</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				番号	選択式	短答式	記述式	問 1		○		問 2		○		問 3		○		問 4			○	問 5		○	
番号	選択式	短答式	記述式																									
問 1		○																										
問 2		○																										
問 3		○																										
問 4			○																									
問 5		○																										
サンプル問題	ある日、太郎さん、花子さんのクラスでは、次のような宿題が出された。 【宿題】 2次方程式 $x^2-2x-1=0$ の大きい方の解を a とするとき、a^3 の値を求めよ。 この宿題についての2人の会話を読み、下の各問いに答えよ。 太郎：$x^2-2x-1=0$ だから、解の公式を用いればいいね。大きい方の解だから、 $a = \boxed{\text{ア}}$ だね。 花子：a^3 の値を求めるためには $a = \boxed{\text{ア}}$ を3乗すればいいね。$(x+y)^3$ を展開すると $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y) = (x^2+2xy+y^2)(x+y) = \boxed{\text{イ}}$ となるね。この式を利用すると、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$ だね。 太郎：これで答えは出るけれども、先生が次のような解き方を教えて下さったのを覚えているよ。 【解き方】 ----- a は $x^2-2x-1=0$ の解であるから、$a^2-2a-1=0$ が成り立つ。 $a^2 = 2a+1$ となるので $a^3 = a^2 \cdot a$ $= (2a+1) \cdot a$ $= 2a^2 + a$ $= 2(2a+1) + a$ $= 5a+2$ よって、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$ 花子：そうか、この解き方を使えば a の次数が高くなっても計算は複雑にならないね。																											

先生と同じように解けば、 $a = \boxed{\text{ア}}$ のとき、例えば a^5 は

$\boxed{\text{あ}}$

と、 a の 1 次式の形で表されるから、 a^5 の値も簡単に求めることができるね。

太郎：【宿題】は、 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の大きい方の解の累乗の値について考えたけど、

① 小さい方の解の累乗の値についてはどうなるのかな？

問 1 $\boxed{\text{ア}}$ に当てはまる数を答えよ。

問 2 $\boxed{\text{イ}}$ に当てはまる式を答えよ。

問 3 $\boxed{\text{ウ}}$ に当てはまる数を答えよ。

問 4 $\boxed{\text{あ}}$ に、 a^5 を a の 1 次式で表す過程を記述せよ。

問 5 下線部①について、2 次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の小さい方の解を b とおくと、 b^5 の値を求めよ。 $\boxed{\text{エ}}$

解答例

問 1 2 次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ について、解の公式により

$$x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 1 \cdot (-1)}}{1} = 1 \pm \sqrt{2}$$

2 つの解のうち、大きい方が a であるから $a = 1 + \sqrt{2}$

問 2 $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y)$

$$= (x^2 + 2xy + y^2)(x+y)$$

$$= x^3 + x^2y + 2x^2y + 2xy^2 + xy^2 + y^3$$

$$= x^3 + 3x^2y + 3xy^2 + y^3$$

問 3 $a = 1 + \sqrt{2}$ のとき、 a^3 の値は、問 2 の式で、 $x = 1$ 、 $y = \sqrt{2}$ として

$$(1 + \sqrt{2})^3 = 1^3 + 3 \times 1^2 \times \sqrt{2} + 3 \times 1 \times (\sqrt{2})^2 + (\sqrt{2})^3$$

$$= 1 + 3\sqrt{2} + 6 + 2\sqrt{2}$$

$$= 7 + 5\sqrt{2}$$

問 4 a は 2 次方程式 $x^2 - 2x - 1 = 0$ の解であるから、

$$a^2 - 2a - 1 = 0 \text{ が成り立つ。}$$

したがって、 a は $a^2 = 2a + 1$ を満たす。

また、【解き方】の計算から、 $a^3 = 5a + 2$ と表されることに着目すると

$$a^5 = a^3 \times a^2$$

$$= (5a + 2)(2a + 1)$$

$$= 10a^2 + 9a + 2$$

$$= 10(2a + 1) + 9a + 2$$

$$= 29a + 12$$

したがって、 a^5 も a の 1 次式で表すことができる。

〔問 4 の別解〕

$$a^4 = a^3 \times a$$

$$= (5a + 2) \times a$$

$$= 5a^2 + 2a$$

$$= 5(2a + 1) + 2a$$

$$= 12a + 5$$

$$a^5 = a^4 \times a$$

$$= (12a + 5) \times a$$

$$= 12a^2 + 5a$$

$$= 12(2a + 1) + 5a$$

$$= 29a + 12$$

ポイント

2 次方程式 $ax^2 + 2bx + c = 0$ の解は

$$x = \frac{-b' \pm \sqrt{b'^2 - ac}}{a}$$

ねらい

与えられた考え方を理解し、他の場合にも活用できるかどうかを問うた。

ポイント

a^3 を a の 1 次式で表したものをを用いることで、効率よく計算ができる。 a^2 が現れたら $2a + 1$ に置き換えて計算をする。

	問5 $x^2-2x-1=0$ の小さい方の解を b とおくと、問1の解答の計算から $b=1-\sqrt{2}$ b は $b^2-2b-1=0$ を満たすから、問4と同様にして $b^5=29b+12$ と、b^5 を b の1次式で表すことができる。 よって、$b=1-\sqrt{2}$ のとき、b^5 の値は $\begin{aligned} b^5 &= 29b+12 \\ &= 29(1-\sqrt{2})+12 \\ &= 41-29\sqrt{2} \end{aligned}$ ポイント b も $x^2-2x-1=0$ の解であるから、a と同じ関係式を満たすことに着目する。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 〔課題学習〕 (1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	英語コミュニケーション I																									
出題のポイント	ある程度の長さの説明文、会話文、電子メール、パンフレットなどを読み、そのポイントが理解できているか、要旨をまとめることができるかを測定する。																									
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td>(2)</td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td>(3)</td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td>(4)</td><td></td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)		○	(2)		○	(3)		○	(4)		○										
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																								
(1)		○																								
(2)		○																								
(3)		○																								
(4)		○																								
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>(4)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○			(4)	○							
小問番号	選択式	短答式	記述式																							
(1)	○																									
(2)	○																									
(3)	○																									
(4)	○																									
主として問う技能 (英語のみ)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>(2)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>(3)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>(4)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)		○			(2)		○			(3)		○			(4)		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く																						
(1)		○																								
(2)		○																								
(3)		○																								
(4)		○																								
サンプル問題	(1) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。 Do you know *cricket is popular in the UK? You may be surprised to find that the sport is more popular there than baseball. It is often said that the first cricket game was played in Kent, England, in 1301. Cricket became popular in southeastern England during the 17th century. In the 18th century, it became a national sport of the UK. In 1975, the first cricket World Cup was held, and now it is played by a great number of people in a lot of countries in the world. 注) *cricket=クリケット(11人のチーム2組でバットとボールを用いる戸外の球技) Which is the best *title for this *passage? 10 注) *title=タイトル *passage=文の1節 ① The History of Cricket ② Cricket Is Popular in the UK ③ Many People Play Cricket ④ Cricket Is More Popular than Baseball																									

(2) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

To: Kathy Winston

From: Anne Christopher

Subject: Surprise birthday party

Dear Kathy,

How have you been ? I want to tell you about the surprise birthday party for my older sister. We are going to decorate her room like a forest. Can you come dressed as some kind of animal? There is no need to make too much effort. Something simple will be fine. For example, use a mask to cover your face or make animal ears.

What does Anne ask Kathy to do?

13

- ① Wear an animal accessory.
- ② Bring her pet to the party.
- ③ Learn about an animal.
- ④ Perform as an animal in a contest.

(3) 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

The history of elevators begins as early as the 3rd century B.C. These early elevators were powered by people or animals. It was not until the mid-19th century that elevators powered by steam or water were introduced.

But throughout much of its long history, elevators were mostly used to bring things – not people – up and down. Riding in an elevator was dangerous because the ropes they used for the elevators could break.

A safety system was invented in 1852, so people could ride in an elevator safely. The first elevator designed for people to ride in was installed in a department store in New York City in 1857 and this soon changed the world. They were able to build tall buildings with many floors, changing how cities were built and how people lived in a city environment.

According to the passage, which of the following is correct?

- ① The early elevators were used to bring people and animals up and down.
- ② The invention of the steam-power elevator changed the use of elevators.
- ③ The safety of elevators improved in 1852 when a safety system was invented.
- ④ The department store in New York City was the first tall building in the world.

	(4) 次の A～D は並べかえると二人の交互の会話になる。以下の①～⑥のうちから正しい並べ方を一つ選べ。 A: Not her. The one next to her in the gray pants. B: I see. I think she is Kate's cousin. C: That woman over there is pretty. Do you know who she is? D: The woman in the purple dress? ① C→A→B→D ② C→B→D→A ③ C→D→A→B ④ D→A→C→B ⑤ D→B→C→A ⑥ D→C→A→B
解答例	(1) 1 (2) 1 (3) 3 (4) 3 文章の概要・要点を把握できているか、書き手の意図を読み取れているか、文章の詳細や展開を把握できているかがポイント。
(参考)学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	英語コミュニケーションⅠ													
出題のポイント	立場を明確にして、英語で自分の意見を理由とともに述べるかを測定する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	—		○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	—			○					
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—			○											
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	—				○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—				○										
サンプル問題	あなたは1年に2つ以上のクラブ活動に参加するべきだという意見に対して賛成ですか，反対ですか。理由とともに15語程度の英語で答えなさい													
解答例	・ I agree with this idea because I can make a lot of friends. （13 words） ・ I disagree with this idea because I won't have enough time for either of them. （15 words） 自分の意見を立案し、意見と理由の整合性も考えて書くことがポイント。													
（参考）学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。													

サンプル問題について

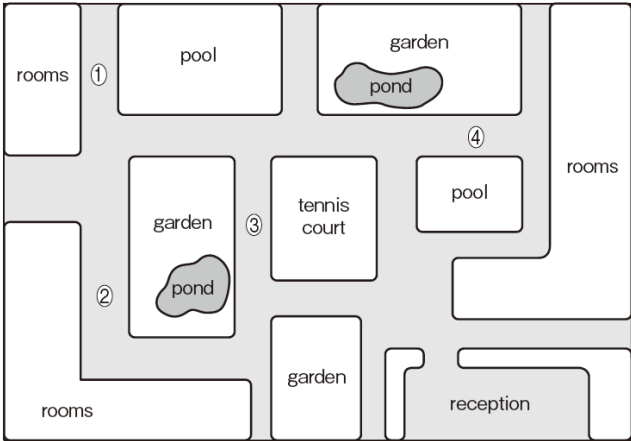
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:3

出題科目	英語コミュニケーション I																							
出題のポイント	英文を聞いて状況を理解し、会話文または説明文の流れを把握するかを測定する。																							
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		(1)	○			(2)	○			(3)	○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○						
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)	○				(2)	○				(3)	○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く																				
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
サンプル問題	それぞれの問いについて英文を聞き、答えとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つずつ選べ。なお、英文は一回ずつ読まれる。 (1) Where is the speaker now ?  (2) How does the speaker feel about the culture of bookstores in Japan? ① Happy ② Sad ③ Shocked ④ Angry (3) What time should you be at the circus? ① 3:45 p.m. ② 3:50 p.m. ③ 4:00 p.m. ④ 4:15 p.m.																							

	【放送文】 (1) This hotel is huge! I just want to go back to my room but I've got lost. From reception, I went straight with the tennis court on my left. I saw a pond and turned right. Now I can see a garden on my left. (2) When I travel abroad, I wonder why some cities have no large bookstores. Even in big cities, like London or New York, it is difficult to find big ones. There may be a few small ones, but they don't have a lot of books. It's great that there are always large bookstores in Japan, and it shows that Japanese people understand the importance of books. I like Japan's bookstore culture. Japanese people can get a lot of books anywhere. (3) Here is your ticket for the circus. All the information you need is written here, but just to remind you, the show starts at 4 p.m. I recommend coming 15 minutes before that as it gets crowded. Your seat is 17A and you enter at gate B.
解答例	(1) ④ (2) ① (3) ① 必要な情報を正確に聞き取ることがポイント。
(参考)学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート β タイプ 1年2回-2年1回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:4

出題科目	英語コミュニケーションⅠ													
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		—		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	—			○					
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—			○											
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	—			○				
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—			○											
サンプル問題	（下記の問題は、「話すこと」（発表）に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。） 以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは 30 秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。 How do students come to school? ■ By bus ■ By train ■ Others													
解答例	解答例：At this school, students come to school more by bus than train. 解説：グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。													
（参考）学習指導要	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項													

領の関連 項目	① オ 話すこと〔発表〕 (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
--------------------	--

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	言語文化																											
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情及び展開、主題・要旨などを表現に即して読み取ることができる力を測定する。																											
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>問一</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		問一		○		問二		○		問三		○		問四		○		問五		○	
	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																									
	問一		○																									
	問二		○																									
	問三		○																									
	問四		○																									
	問五		○																									
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四	○			問五	○		
	小問番号	選択式	短答式	記述式																								
	問一	○																										
	問二	○																										
	問三	○																										
	問四	○																										
	問五	○																										

古文・読解

この問題は、古文読解の方法とその内容把握について、学力を確認します。

大問番号 5 次の文章を読んで、後の各問い(問一〜五)に答えよ。

百喻經に云はく、「昔、愚かなる俗あつて、人の婿になりて行きぬ。さまさまにもてなされけれども、なまこざしくよしばみて、いと物も食はで飢ゑて覚えけるまに、妻があからさまに出でたる隙に、米をひと頬うちくみて食はむとする所に、妻帰りたりければ、恥かしさに面うち赤めてゐたり。『頬の腫れ給ふと見え給ふをばいかにや』と問へば音もせず、いよいよ顔赤みければ、腫れ物の大事にて、ものも云はぬにやと驚き、父母にかくと云へば、父母来たりて、『いかにいかに』と云ふ。いよいよ色赤くなるを見て、隣りの者の集まりて、『婿殿の腫れ物の大事におはすなる、あさまし』とて訪ふ。さるほどに、『医師呼べ』とて、蔽医師の近々にありけるを呼びて見すれば、『ゆゆしき御大事のものなり。とくとく療治し参らせん』とて、大きな火針を赤く

焼きて、頬を通したれば、米ぼろぼろとこぼれてけり。頬は破られ恥がましかりけり。

よくよく発露懺悔の心をおこして、冥途の恥を逃るるはかりごとをすべきものをや。

〔沙石集〕による

- (注)
- 1 百喻經——約百編から成る、比喻譚を収録した仏典。
 - 2 俗——俗人。
 - 3 よしばみて——気取つて。
 - 4 うちくみて——口中いっぱいに含んで。
 - 5 発露懺悔の心——犯した罪を告白して許しを請う心。
 - 6 冥途——あの世。

問一 二重傍線部ア・イの主語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 解答番号は 38。

- | | | | | |
|---|---|----|---|----|
| ① | ア | 婿 | イ | 妻 |
| ② | ア | 妻 | イ | 妻 |
| ③ | ア | 妻 | イ | 父母 |
| ④ | ア | 父母 | イ | 婿 |

問二 傍線部 A「さまざまにもてなされけれども、なまござしくよしばみて」の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 解答番号は 39。

- ① 婿は妻の父母に対して誠意を尽くしたが、父母は婿に対して冷たく、十分な食事を与えることもしなかった。
- ② 妻は様々な方法で婿をもてなしたが、婿は愚かにも妻の愛情を疑い、出された食事にも手を付けなかった。
- ③ 婿は妻やその父母に精一杯仕えたが、恥をかかぬように、実際の自分よりもよく見せようと無理をしていた。
- ④ 妻の家では婿を大切にして色々世話を焼いたが、婿は小生意気に気取っていて、その心遣いに応えなかった。

問三 傍線部B「恥かしさに面うち赤めてゐたり」とあるが、婿

がこのようになった理由の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 解答番号は 40。

- ① 妻が出かけている間に自分の顔にできてしまった醜い腫れ物を見られてしまって、恥ずかしかったから。
- ② 本心から妻の家族に尽くしていたのではなかったということが恥ずかしく、取り繕うのに必死だったから。
- ③ 妻の外出のすきを突いて腹を満たそうとした卑しさが明らかになってしまったと思い、体裁が悪かったから。
- ④ 実は飢えていたということが露見してしまい、小食なふりをしていたことがばれて窮地に陥ったから。

問四 傍線部C「大きな火針を赤く焼きて、頬を通したれば」

とあるが、医者はなぜそのようなことをしたのか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 41。

- ① 婿の頬が膨らんでいるのをたちの悪い腫れ物であると勘違いしたため、それを突いて治療しようと思ったから。
- ② 婿の周りに近所の者まで集まる騒ぎになっていたため、何らかの対処をせずにはいられなくなってしまったから。
- ③ 婿が頬にひどい腫れ物ができたふりをしたため、口の中に米を隠していることに気付くことができなかったから。
- ④ 婿が自分を変な重症であるように見せかけて、妻や周囲をだまそうとしているのを阻止しようと考えたから。

問五 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 解答番号は 42。

- ① 妻は、ほんの少し外出していた間に婿が米をほおぼっているのを見て、婿の奇行に驚いて父母を呼んだ。
- ② 婿を心配する妻や父母をよそに、近所の者や医者には婿の頬を見て心配するどころか面白がっていた。
- ③ 婿は口中に米をほおぼっていたので、頬を針で突かれるとそこから米がこぼれ出てしまった。
- ④ 婿の頬の腫れ物は病気ではなかったのに、慌てて見当違いな治療をした医者は恥をかった。

解答例

問一 2
問二 4
問三 3
問四 1
問五 3

(参考)学習指導要領の関連項目	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために, 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり, 古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め, 古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力, 判断力, 表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方, 感じ方, 考え方を捉え, 内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開, 表現の仕方, 表現の特色について評価すること。
------------------------	--

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	現代の国語																		
出題のポイント	複数のテキストの内容を読み取り、その内容を比較したうえで、論拠を示しながら考えを形成して説明することができる。																		
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一		○	問二		○	問三		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
問一		○																	
問二		○																	
問三		○																	
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二			○	問三			○
小問番号	選択式	短答式	記述式																
問一	○																		
問二			○																
問三			○																

国語

国語の解答時間は20分です。早く終わっても他の教科を解答してはいけません。

1 大海高等学校の生徒会では、学校生活の向上につなげていくために、生徒の要望を聞く意見箱を設置している。次の「会話文」は、意見箱を開けた生徒会メンバーの会話である。後に示す【資料①】～【資料④】を踏まえて、後の各問いに答えよ。

【会話文】

秋山 遅れてごめんなさい。意見箱の投書、何通あった？

井口 全部で八二通でした。「通学」というテーマを設定していたので、投書しやすかったんだと思います。

秋山 内容の内訳は？

井口 【資料①】です。駅から学校までの通学方法にはバスと徒歩とがありますが、それぞれの悩みがあるようです。最も多かったバスの件から検討しましょう。

宇野 僕は徒歩では間に合わず遅刻しそうときにたまにバスに乗りますが、たしかにいつも混んでいます。

江原 そうなの？ 私はいつも徒歩だからわからないけど、乗り切れないほど混んでいるの？

宇野 さすがに乘れないと遅刻になるので、何とかぎゅうぎゅうになって乗っている感じですね。一台に最大六十人くらいでしょうか。

大石 私はいつもバスだけど、早めの時間に来るバスは空いてい

るよ。

秋山 実際、どれくらいの生徒がバスに乗っているのだろう。何かデータはある？

井口 以前に学校生活アンケートで調べましたよ。ありました、【資料②】です。

全員 (資料を回覧する)

江原 始業時間に間に合う時間帯の午前7時～午前8時までの間にバスは合計五本来るから、大石さんのような人だけなら、ぜんぜん混雑しないことになるね。

大石 バスを混雑させているのは、宇野さん^①のような人でしょう。宇野 たしかに、そうかもしれません。

井口 「いつも混んでいる」というのはその人の勝手な思い込みで、実際にはすべてのバスが混んでいるわけではないようです。だとすると増便のお願いをするのは難しいと思います。

秋山 この件については、次の生徒会報に、バスの利用状況の説明と、「時間に余裕をもって登校しましょう」というメッセージを載せることにします。次に通学路の件はどうかな？

江原 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望もあるけど、通学路とされている幹線道路ルートを使うと五分以上余計にかかるから、近道になる住宅街ルートを通る人たちの気持ちもわかります。

大石 でも、ちゃんと「校則」(【資料③】)に書いてあるのだから、守らないと。

宇野 「通学路を守るよう指導を徹底してほしい」という要望を解決するためには、そもそも現在の通学路に不満をもって近道になる住宅街ルートを通る生徒もいるという実態を踏まえる」と「登下校の通学路を変える」ということが根本的な解決になると思います。生徒の実態に沿った通学路に設定することで、通学路を守らない生徒もいなくなるのではないのでしょうか。江原 「通学路を変える」となると、通学路に関する校則を改正する必要があるのではないのでしょうか。そうすると、生徒集会を開いて投票することになりますね。

井口 いや、通学路を変更するために、校則を変える必要はないと思いますよ。

秋山 私も、校則を変えなくても通学路を変えられると思う。

江原 そういえば、私には十歳上の兄がいて、この高校の卒業生ですが、当時は住宅街ルートを通っちゃいけないなんて決まりはなかったって言っていましたよ。

宇野 十年以内のことなら、『大海高校新聞』のバックナンバーが電子化されているから、このパソコンですぐに調べられますよ。

秋山 そうなの？　じゃあ「通学路」で検索してみて。

宇野 あ、たぶんこれ（資料④）ですね。七年前の記事です。大石 ほんとだ。この記事を読むと「通学時間が五分短くなる」

だけでは通学路の見直しを求める正当な理由にならないのでは？　それに通学路を守らないひとたちのために通学路を変更するというのもおかしい話だと思います。

江原 そうだね。じゃあ通学路も現状通りがよいかと思えます。通学路を守らない生徒への注意喚起を行っていくことにしましょう。次は工事の件ですね。

秋山 私も工事は気になっていたけど、あそこには何ができるの？

大石 大型商業施設。半年後に開業だそうです。

宇野 開業するのが楽しみです。

江原 でも、半年間はけっこう不便ですね。工事車両の出入りはちょうど登校時間と重なっており、この投書の人たちみたいに危ないと感じている人も多いと思います。

大石 だからって、さすがに工事の時間を変えてくださいとは言えないでしょう。

宇野 それなら工事期間中だけは、通学路を変えたほうがいいのではないのでしょうか？　これは正当な理由になると思います。

江原 そうですね、それで先生たちに提案してみませんか。

秋山 まあ、それなら説得力はありそうですね。ただ、提案は生徒の要望を代表するものだから、どのくらいの人が賛成してくれるか、投票でなくてもいいから調べる必要があるね。

井口 では、来週のホームルームでアンケートを行って、生徒の賛否を調べます。通学路の見直しに賛成する生徒が多ければ、具体的に先生方への提案書をまとめることにしましょう。

秋山 もし提案することになった場合に向けて、生徒会も生徒に対して取り組めることがないかを【資料④】の内容に基づいて話し合っておきましょう。

(意見箱 集計結果)

今月のテーマ「通学」に寄せられた意見
(同様の内容のものは同じ内容として扱い、まとめて集計してあります)

投書の内容	投書数
駅から学校までのバスがいつも混んでいてつらい。バスの便を増やしてほしい。	27
学校から指定された通学路が遠回りで不便。近道(住宅街を通り抜けるルート)も認めてほしい。	23
通学路のそばで工事が始まったが、工事用車両の出入り口などで危険や不便を感じている。対策を考えてほしい。	17
通学路がわかりにくい。入学時にプリントを配布するだけでは忘れてしまう。ポスターや看板で掲示してほしい。	5
通学路を守らない人がたまにいますが、注意する人がいない。通学路を守るよう指導を徹底してほしい。	3
その他(「通学」以外に対する意見)	7

(大海高校 学校生活アンケートより)

質問：駅から学校までの通学手段は何ですか？(全校生徒を対象)

	1年生	2年生	3年生	合計
a いつも徒歩	110	98	92	300
b 徒歩が多いが、たまにバス	20	24	22	66
c 徒歩・バス同じ程度使う	15	18	16	49
d バスが多いが、たまに徒歩	15	14	22	51
e いつもバス	20	26	28	74
合計	180	180	180	540

質問：バスを利用する理由は何ですか？(b～eを選んだ生徒が対象)

〔自由回答。()内の数字は同様の内容を回答した生徒の人数〕

徒歩だと間に合わない(56) ・ 通学路が不便(24)
 天気の悪い日だけバスを利用(32) ・ 友達もバス通学(15)
 病気、けが(13) ・ その他(7)

【資料③】

校則より

〔登下校について〕

- ・生徒は登校時刻・下校時刻を厳守すること。
- ・駅から本校までの自転車通学は認めない。ただし、自宅から最寄り駅までの自転車利用は差し支えない。自動車・オートバイなどの利用はいずれも禁止する。
- ・登下校の際は制服をきちんと着用し、地域の方の迷惑にならないようにするなど、本校生徒としての品位を保つよう心がけること。
- ・登下校の際は指定された通学路を利用し、正当な理由なく通学路から外れないこと。
- ・登下校の途中、喫茶店・飲食店・ゲームセンター等に立ち寄りてはいけない。

〔改正について〕

- ・生徒集会で全校生徒の三分の二の賛成を得、かつ職員会議の承認が得られた場合は、本校則を改正することができる。

【資料④】

通学路改定

住宅街ルートは通行禁止

二月末に行われた職員会議で通学路の改定が話し合われ、住宅街を通り抜けるルートへの利用は今後禁止し、幹線道路沿いのルートのみを認めることが決定された。変更は四月の新学期から適用される。

住宅街ルートでは生徒の通学マナーの悪さ（大声で騒ぐ、広がって歩道を塞ぐ・ゴミをポイ捨てする）などが以前から問題視されており、住民の苦情が無視できないレベルに達したためという。

幹線道路ルートは住宅街ルートに比べ五〇％ほど遠回りになるため、生徒には不満の声が広がっている。
【川内先生（生徒指導部長）のコメント】

「学校には地域の信頼が不可欠なので、理解してほしい。今後、住宅街を通る生徒は校則違反として指導する。幹線道路ルートは交通量が多く、信号無視などは極めて危険なので、通学ルール順守も同時に求めていく。」
（相川）

国語

問一 傍線部①「宇野さんのような人」とはどのような人か。【会話文】と【資料②】からわかることとして、最も適当なものを次の1～4から一つ選び、番号で答えよ。

ア

ア

- 1 バスに乗ることが多く、歩くことをめんどろがる人。
- 2 いつもバスに乗っていて、徒歩の通学路を知らない人。
- 3 ふだんは徒歩なので、バスの利用方法を知らない人。
- 4 ふだんは徒歩だが、遅れそうときだけバスに乗る人。

問二 傍線部②「校則を変える必要はないと思いますよ」とあるが、そのように考える理由を【会話文】と【資料③】に基づいて二〇字以内で書け。

【記述】あ

【記述】あ

※解答欄には、設問で指定された文字数に従って解答を記入してください。句読点も一字に数えます。

20	
	10

問三 この会話の後で全校生徒にアンケートを行ったところ通学路の変更について賛成の意見が多かったので、生徒会は提案書を提出することにした。その提案書はどのような内容で書くのがよいか。次の条件を満たすように書け。

【記述】い

【記述】
い

（条件１）【会話文】と【資料④】を参考にして、二文に分け、六〇字以内で書くこと。

(条件2)「文目は提案の主旨を述べ、末尾は「――てほしい。」とする。二文目にはそのために生徒会がどのような努力をするかを書くこと。

(条件3) 宛名やあいさつの言葉などは不要。提案の内容を簡潔に書くこと。

※解答欄には、設問で指定された文字数に従って解答を記入してください。句読点も一字に数えます。

[illegible]

これで国語の問題は終わりです。数学の解答は先生の指示に従って開始してください。

解答例	問一 4 問二 (例) 具体的な通学路は校則に書いていないから。(20 字) 問三 (例) 安全のため、工事の終了までの間、住宅街を通る道を通学路として認めてほしい。生徒会でも生徒に通学マナーの向上を呼びかける。(60 字)
(参考) 学習指導要領の関連項目	現代の国語 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	(2) 数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。（ウ）二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 (3) 数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。
---------------------------------------	--

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年2回-2年1回
対象教科:数学
測定内容の区分:標準タイプ
サンプル問題番号:2

出題科目	数学 I																											
出題のポイント	日常的な事象において、複数の条件から新たな数式をつくり、思考プロセスを説明し課題を解決する力を測定する。																											
主として問う能力	<table><tr><th>番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 4</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td></tr></table>				番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問 1		○	問 2		○	問 3		○	問 4		○	問 5		○						
番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																										
問 1		○																										
問 2		○																										
問 3		○																										
問 4		○																										
問 5		○																										
出題形式	<table><tr><th>番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 4</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				番号	選択式	短答式	記述式	問 1		○		問 2		○		問 3		○		問 4			○	問 5		○	
番号	選択式	短答式	記述式																									
問 1		○																										
問 2		○																										
問 3		○																										
問 4			○																									
問 5		○																										
サンプル問題	ある日、太郎さん、花子さんのクラスでは、次のような宿題が出された。 【宿題】 2次方程式 $x^2-2x-1=0$ の大きい方の解を a とするとき、a^3 の値を求めよ。 この宿題についての2人の会話を読み、下の各問いに答えよ。 太郎：$x^2-2x-1=0$ だから、解の公式を用いればいいね。大きい方の解だから、 $a = \boxed{\text{ア}}$ だね。 花子：a^3 の値を求めるためには $a = \boxed{\text{ア}}$ を3乗すればいいね。$(x+y)^3$ を展開すると $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y) = (x^2+2xy+y^2)(x+y) = \boxed{\text{イ}}$ となるね。この式を利用すると、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$ だね。 太郎：これで答えは出るけれども、先生が次のような解き方を教えて下さったのを覚えているよ。 【解き方】 ----- a は $x^2-2x-1=0$ の解であるから、$a^2-2a-1=0$ が成り立つ。 $a^2=2a+1$ となるので $a^3=a^2 \cdot a$ $= (2a+1) \cdot a$ $= 2a^2+a$ $= 2(2a+1)+a$ $= 5a+2$ よって、$a^3 = \boxed{\text{ウ}}$ 花子：そうか、この解き方を使えば a の次数が高くなっても計算は複雑にならないね。																											

	先生と同じように解けば、$a =$ ア のとき、例えば a^5 は あ と、a の 1 次式の形で表されるから、a^5 の値も簡単に求めることができるね。 太郎：【宿題】は、$x^2-2x-1=0$ の大きい方の解の累乗の値について考えたけど、 ①小さい方の解の累乗の値についてはどうなるのかな？ 問 1 ア に当てはまる数を答えよ。 問 2 イ に当てはまる式を答えよ。 問 3 ウ に当てはまる数を答えよ。 問 4 あ に、a^5 を a の 1 次式で表す過程を記述せよ。 問 5 下線部①について、2 次方程式 $x^2-2x-1=0$ の小さい方の解を b とおくと、b^5 の値を求めよ。 エ
解答例	問 1 2 次方程式 $x^2-2x-1=0$ について、解の公式により $x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 1 \cdot (-1)}}{1} = 1 \pm \sqrt{2}$ 2 つの解のうち、大きい方が a であるから $a = 1 + \sqrt{2}$ 問 2 $(x+y)^3 = (x+y)^2(x+y)$ $= (x^2 + 2xy + y^2)(x+y)$ $= x^3 + x^2y + 2x^2y + 2xy^2 + xy^2 + y^3$ $= x^3 + 3x^2y + 3xy^2 + y^3$ 問 3 $a = 1 + \sqrt{2}$ のとき、a^3 の値は、問 2 の式で、$x = 1$、$y = \sqrt{2}$ として $(1 + \sqrt{2})^3 = 1^3 + 3 \times 1^2 \times \sqrt{2} + 3 \times 1 \times (\sqrt{2})^2 + (\sqrt{2})^3$ $= 1 + 3\sqrt{2} + 6 + 2\sqrt{2}$ $= 7 + 5\sqrt{2}$ 問 4 a は 2 次方程式 $x^2-2x-1=0$ の解であるから、 $a^2-2a-1=0$ が成り立つ。 したがって、a は $a^2 = 2a + 1$ を満たす。 また、【解き方】の計算から、$a^3 = 5a + 2$ と表されることに着目すると $a^5 = a^3 \times a^2$ $= (5a + 2)(2a + 1)$ $= 10a^2 + 9a + 2$ $= 10(2a + 1) + 9a + 2$ $= 29a + 12$ したがって、a^5 も a の 1 次式で表すことができる。 〔問 4 の別解〕 $a^4 = a^3 \times a$ $= (5a + 2) \times a$ $= 5a^2 + 2a$ $= 5(2a + 1) + 2a$ $= 12a + 5$ $a^5 = a^4 \times a$ $= (12a + 5) \times a$ $= 12a^2 + 5a$ $= 12(2a + 1) + 5a$ $= 29a + 12$ ポイント 2 次方程式 $ax^2+2b'x+c=0$ の解は $x = \frac{-b' \pm \sqrt{b'^2 - ac}}{a}$ ねらい 与えられた考え方を理解し、他の場合にも活用できるかどうかを問うた。 ポイント a^3 を a の 1 次式で表したものを 用いることで、効率よく計算ができる。 a^2 が現れたら $2a+1$ に置き換えて計算をする。

	問5 $x^2-2x-1=0$ の小さい方の解を b とおくと、問1の解答の計算から $b=1-\sqrt{2}$ b は $b^2-2b-1=0$ を満たすから、問4と同様にして $b^5=29b+12$ と、b^5 を b の1次式で表すことができる。 よって、$b=1-\sqrt{2}$ のとき、b^5 の値は $\begin{aligned} b^5 &= 29b+12 \\ &= 29(1-\sqrt{2})+12 \\ &= 41-29\sqrt{2} \end{aligned}$ ポイント b も $x^2-2x-1=0$ の解であるから、a と同じ関係式を満たすことに着目する。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 〔課題学習〕 (1)から(4)までの内容又はそれらを相互に関連付けた内容を生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題を設け、生徒の主体的な学習を促し、数学のよさを認識させ、学習意欲を含めた数学的に考える資質・能力を高めるようにする。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年1回-1年2回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	英語コミュニケーション I																		
出題のポイント	ある程度の長さの会話文を読み、状況や会話の流れが理解できているかを測定する。																		
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		(1)	○			(2)	○					
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
(1)	○																		
(2)	○																		
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○					
小問番号	選択式	短答式	記述式																
(1)	○																		
(2)	○																		
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>(1)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)		○			(2)		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く															
(1)		○																	
(2)		○																	
サンプル問題	次の会話文の空所（ 1 ） ， （ 2 ） に入れるのに最も適当な文を、それぞれ下の 1 ～ 4 のうちから一つずつ選べ。 Grandmother： Thank you so much for coming to help in my garden today. Emily： You're welcome, Grandma. These flowers are so cute. Where did you get them ? Grandmother： From a flower shop near my house. They're in season now. Emily： I like them very much. （ 1 ） Grandmother： You don't have to do that. Just take some from here and plant them in your garden. Emily： That sounds good. Grandmother： Once you plant them, be careful that you don't water them too much. Emily： （ 2 ） Grandmother： Only when the ground is dry. Emily： I will take care to check for that. Thank you ! (1) 1 I want to buy some for my garden. 2 I've never seen them there. 3 Do I have to plant them ? 4 Should I come here tomorrow ? (2) 1 How long can I keep them ? 2 How often is best to water them ? 3 Where do I need to plant them ? 4 When can you come to check them ?																		

解答例	(1) 1 (2) 2 会話の前後の文脈から、最適な発言を選択するのがポイント。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年1回-1年2回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	英語コミュニケーション I													
出題のポイント	与えられた図表などの情報を正しく読み取り、英語で説明できるかを測定する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	—		○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	—			○					
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—			○											
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	—				○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—				○										
サンプル問題	次のイラストは、フルヤ駅から博物館まで行く方法と所要時間を示しています。次の空所に15語程度の英語を補い、フルヤ駅から博物館まで行く方法と所要時間を説明しなさい。ただし、複数の文になってもよい。 Furuya Station  You're here.  Train Takami Station  Walk  The museum 25 min If you want to go to the museum, (													

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年1回-1年2回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:3

出題科目	英語コミュニケーション I																																	
出題のポイント	放送文を聞いて、場面や状況を想像できるかを測定する。																																	
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		(1)	○			(2)	○																				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																																
(1)	○																																	
(2)	○																																	
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○																				
小問番号	選択式	短答式	記述式																															
(1)	○																																	
(2)	○																																	
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)	○				(2)	○																		
小問番号	聞く	読む	話す	書く																														
(1)	○																																	
(2)	○																																	
サンプル問題	それぞれの問いについて英文を聞き、答えとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つずつ選べ。なお、英文は一回ずつ読まれる。 (1) Where is the post office ? 4 + <table><tr><td>①</td><td></td><td></td><td>③</td><td>super-market</td><td>④</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr><tr><td>super-market</td><td>②</td><td></td><td>movie theater</td><td colspan="2">park</td></tr><tr><td></td><td>music store</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table>  You're here. (2) Which picture shows the park on the day the speaker visited it ?				①			③	super-market	④							super-market	②		movie theater	park			music store										
①			③	super-market	④																													
super-market	②		movie theater	park																														
	music store																																	

	【放送文】 (1) The post office is easy to find. From here, walk north up the street. Pass the music store on your left and then turn right. Walk down that street and you'll see the post office on your left, just past the supermarket. (2) The park I went to is famous for cherry trees and a beautiful lake. I was unlucky and didn't see any flowers there. There were two benches under the cherry trees, but I didn't sit on either. I enjoyed eating lunch on the ground by the lake.
解答例	(1) ④ (2) ③ モノログから必要なキーワードを聞きとり、情景を頭の中で描くことができるかがポイント。
(参考)学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:スタディーサポート θ タイプ 1年1回-1年2回

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:4

出題科目	英語コミュニケーションⅠ													
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		—		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	—			○					
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—			○											
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	—			○				
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—			○											
サンプル問題	（下記の問題は、「話すこと」（発表）に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。） 以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは 30 秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。 How do students come to school? ■ By bus ■ By train ■ Others													
解答例	解答例：At this school, students come to school more by bus than train. 解説：グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。													
（参考）学習指導要	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項													

領の関連 項目	① オ 話すこと〔発表〕 (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，発話例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また，発表した内容について，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。
--------------------	--